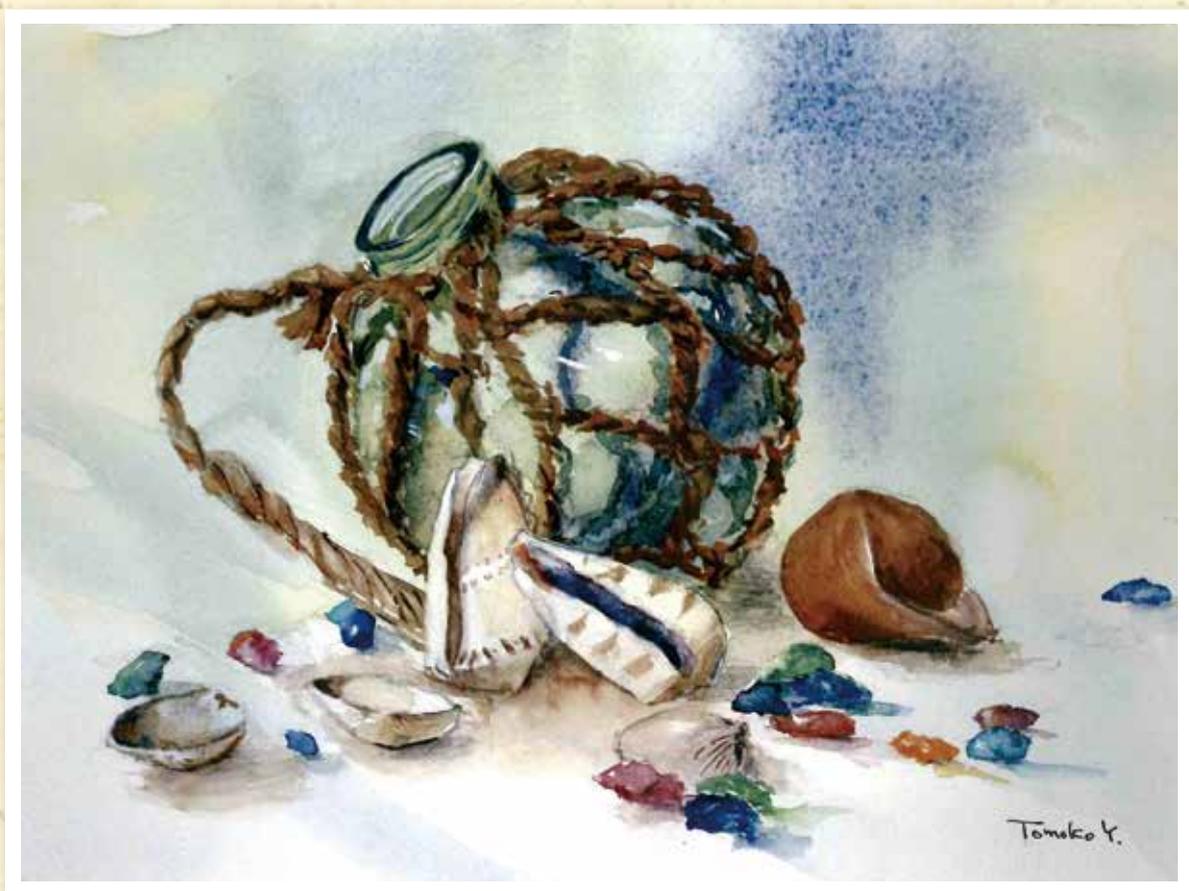




沖縄県薬剤師会報

No.328. 2025(令和7年) 5・6・7月号



沖縄県薬剤師会

～沖縄県で就職を考えている薬剤師の皆様へ～

奨学金の返還を

最大

72万円

(※2年間沖縄県で
就業した場合)

助成します!

奨学金返還助成制度 令和7年度対象者募集

募集期間：令和7年6月1日(日)～令和7年8月31日(日)

募集定員20名程度 (北部・中部・南部地区で各5名程、宮古・八重山地区で計5名程)

対象者：次の(1)～(5)の全ての要件を満たす方を対象とします。

(1) 次の(ア)～(ウ)の全てに該当している者であること。

詳しくは
こちらへ



(ア) 薬剤師免許を有している者であること。

(イ) 県内に住所を有している者であること(助成対象年度に、薬剤師名簿に登録された者に限る。)又は、令和7年3月1日において県外に住所を有し、令和7年8月31日までに県内に転入し、県内に住所を有していること。

(ウ) 令和7年8月31日までに、沖縄県内の薬局又は病院で就業している者であること。

(2) 奨学金の貸与を受けていた者で、自ら奨学金を返還中であるか又は返還を開始する予定の者であること。※予定の者は、令和7年度中に奨学金の返還を開始することが必要となる。

(3) 奨学金の返還残額がある者であること。

(4) 奨学金の返還を滞納していない者であること。

(5) 一定の県内就業を助成要件とするその他の公的な返還助成制度を受けていない者であること。



よみがえれ!首里城

お問合せ・書類提出先

一般社団法人 沖縄県薬剤師会 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10

TEL.098-963-8930 / FAX.098-963-8932

沖縄県薬剤師会



／目／次／

役員紹介	新理事・新監事紹介……………	(3)
第92回 総会	第92回定時総会会長演述…………… 前濱 朋子	(6)
	第92回定時総会開催…………… 大城 喜仁・玉寄 博之・川平 真央	(9)
	第92回定時総会に係る資料……………	(43)
	第92回定時総会懇親会…………… 川平 真央	(49)
地域医療提供	令和6年度訪問薬剤管理指導推進事業 在宅訪問薬剤師連携講習会 …… 齋藤 譲二	(50)
	健康サポート薬局研修会…………… 具志堅 咲	(52)
実務実習	令和7年度第I期薬学生実務実習…………… 上間 秀子	(54)
災害対策	令和6年度沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修…………… 喜久山 有沙	(58)
	令和6年度BLS (Basic Life Support : 一次救命処置) 講習会 …… 坂本 政文	(60)
その他会務報告	沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊…………… 大城 喜仁	(61)
青年部会	自衛隊那覇病院等見学…………… 池間 記世	(62)
卸薬部会	日本医薬品卸勤務薬剤師2025年度「研修会」…………… 奈良本 清佳	(65)
地区だより	令和6年度中部地区薬剤師会総会…………… 知名 博樹	(68)
	令和7年度宮古地区薬剤師総会…………… 下地 睦夫	(70)
月例相談会	第199回健康とおくすり相談会 …… 仲西 有希子	(71)
試験検査センター	試験検査センターからのお知らせ……………	(72)
D I	薬事情報おきなわNo. 285…………… 薬事情報センター	(73)
学術研修	第38回沖縄県薬剤師会学術大会の演題募集について……………	(89)
リレー随筆	魔法のことば…………… 知名 博樹	(91)
薬草学	身近な薬草を知ろう 第70回暮らしの中の薬草学 コーヒーノキ(コーヒーの木)… 狩俣 イソ	(92)
薬連だより	第27回参議院議員通常選挙結果報告「本田あきこ」当選しました! …… 前濱 朋子	(94)
	本田あきこ街宣車出発式、本田あきこ決起集会…………… 川平 真央	(95)
	本田あきこ参議院議員との意見交換会…………… 草壁 瑞恵	(99)
	令和7年度沖縄県薬剤師連盟定時評議員会…………… 大城 喜仁・玉寄 博之・川平 真央	(100)
	オレンジ日記「節目」 「近況～薬機法改正法案を巡るコラボ～」 「6月4日 先勝 事務所開き」 「真夏の体調管理」 …… 本田 顕子	(103)
	政幸だより「薬機法改正について」 「紅麹サプリメント問題のその後」 「医薬品提供体制の構築と後発医薬品調剤体制加算について」 「医療用麻薬の流通と指定濫用防止医薬品の見直しについて」 …… 神谷 政幸	(107)
災害対策	災害時における薬剤師の役割 その3 災害と向き合うきっかけ…………… 仲地 剛	(110)
転載記事	薬剤師や歯科医師体験 県内高校生31人豊見城で 北海道医療大OB協力……………	(67)

・表紙

題字：豊平峰雲 とよひらほううん

「浮玉」水彩画 by 與那嶺 朝子 (宮城薬房)

「葉月会」について

與那嶺氏がメンバーとして活躍した葉月会について紹介。沖縄県女子薬剤師部会（現在の女性薬剤師部会）の初代部会長を務め、県内の女性美術家の草分けとしても活躍した画家、故 久場トヨ氏が薬剤師を中心とする絵画サークルを開いたことをきっかけに、「葉月会」として45年間にわたり活動。惜しまれつつも同会の集大成となる最後の展示会を今年4月に開催し、多くの来場者で賑わった。

転載記事	与那国と南大東閉局薬局で運営…………… (69)
	薬学新設「財源確保・支援」国に要請へ 沖縄県、琉球大との協議取りまとめを公表 (111)
	第9回健康経営シンポジウム 受動喫煙も疾病リスク …………… (112)
	うちなー健康経営宣言クガニ(黄金) 認定取得 …… 一般社団法人ぎのわん健康支援センター (113)
	論壇 乱用防止教育 再考の余地 若者に広がる薬物 …………… 糸嶺 達 (114)
	論壇 教員働き方改革「那覇市モデル」課題に対し休職者減少…………… 古謝 玄太 (115)
日薬通達	日本薬剤師会雑誌の完全電子化に向けた対応 紙冊子の郵送希望の受付開始日について … (116)
会務報告	令和7年4月～6月分…………… (121)
会員作品	誌上ギャラリー(裏表紙)について…………… (126)
編集後記	…………… (126)
訃報	田場節子先生、神山康喜先生、嘉陽孝雄先生、新城光枝先生、ご冥福をお祈り申し上げます。 … (127)
お知らせ	沖縄県薬剤師会Facebookをご覧ください! …………… (36)
	保険薬局におけるBCP(業務継続計画)の策定について …………… (59)
	地区・部会からの原稿をお寄せ下さい! …………… (67)
	沖縄県薬剤師連盟の各SNSをご覧ください! …………… (98)
	日薬雑誌アプリのご案内…………… (119)
	会報原稿募集のご案内…………… 広報委員会 (125)
	会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について…………… (127)

薬剤師綱領

一 薬剤師は国から付託された資格に基き、
 医薬品の製造、調剤、供給において、その固有
 の任務を遂行することにより、医薬水準の向
 上に資することを本領とする

一 薬剤師は広く薬事衛生をつかさどる専門職
 としてその職能を發揮し、国民の健康増進に
 寄与する社会的責務を担う

一 薬剤師はその業務が人の生命健康にかかわる
 ことに深く思いを致し、絶えず薬学、医学の
 成果を吸収して、人類の福祉に貢献するよう
 努める。

日本薬剤師会

新 理 事 紹 介

①生年月 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務、地区・職種部会代表



- ①昭和38年9月
- ②名城大
- ③つる薬局

会 長 マエハマ トモコ
前濱 朋子



- ①昭和44年7月
- ②北海道大
- ③琉球大学病院
- ④学術研修

副会長 ナカムラ カツノリ
中村 克徳



- ①昭和47年8月
- ②北陸大
- ③ミント薬局
- ④財務

副会長 カワミツ ナオキ
川満 直紀



- ①昭和58年10月
- ②東京大
- ③那覇市役所
- ④行政薬剤師部会代表、薬学部創設推進

副会長 コジマ ゲンタ
古謝 玄太



- ①昭和32年10月
- ②昭和薬科大
- ③沖縄県薬剤師会
- ④統括、法務対策、薬学部創設推進

専務理事 アベ ヨシノリ
阿部 義則



- ①昭和38年10月
- ②第一薬科大
- ③(株)薬正堂・すこやか薬局グループ
- ④薬学生実務実習受入

常務理事 サトウ マサミ
佐藤 雅美



- ①昭和38年9月
- ②名城大
- ③(株)沖縄健康企画
- ④医療保険

常務理事 ミヤギ ユキエ
宮城 幸枝



- ①昭和40年9月
- ②第一薬科大
- ③大浜第一病院
- ④病院薬剤師部会代表、災害対策

常務理事 ヒメノ コウイチ
姫野 耕一



- ①昭和53年6月
- ②名城大
- ③サンアイ薬品
- ④学校薬剤師部会代表、試験検査センター

常務理事 チナ ヒロキ
知名 博樹



- ①昭和59年8月
- ②日本薬科大
- ③はれ薬局
- ④青年薬剤師部会代表、在宅医療推進

常務理事 キユナ トモフミ
喜友名 朝史

新 理 事 紹 介

①生年月 ②出身校 ③勤務先 ④担当職務、地区・職種部会代表



理事 アサヌマ ケンイチ
浅沼 健一

- ①昭和51年4月
- ②北海道医療大
- ③病院前薬局
- ④北部地区代表

(新)



理事 キヤン ヨシミ
喜屋武 芳美

- ①昭和44年5月
- ②福山大
- ③(株)薬正堂・すこやか薬局グループ
- ④中部地区代表

(新)



理事 モリモト ナオヤ
盛本 直也

- ①昭和45年9月
- ②第一薬科大
- ③ヴァインドラッグあがり浜薬局
- ④那覇地区代表、地域医薬品提供体制対策



理事 ナカ ノリカツ
名嘉 紀勝

- ①昭和52年9月
- ②第一薬科大
- ③西崎病院
- ④南部地区代表



理事 コジマ マサキ
古謝 真己

- ①昭和45年12月
- ②北海道医療大
- ③コジヤ薬局東店
- ④宮古地区代表



理事 コウチ ヨシノブ
幸地 良信

- ①昭和36年10月
- ②第一薬科大
- ③幸地薬局
- ④八重山地区代表



理事 ムラタ ミチコ
村田 美智子

- ①昭和25年8月
- ②九州大
- ③うちどまり薬局
- ④女性薬剤師部会代表、保健福祉



理事 スズカ レイコ
鈴鹿 玲子

- ①昭和48年9月
- ②摂南大
- ③沖縄東邦(株)
- ④卸勤務薬剤師部会代表



理事 チネン ダイスケ
知念 大輔

- ①昭和51年5月
- ②九州保健福祉大
- ③あおぞら薬局
- ④災害対策



理事 ヨシダ ノリコ
吉田 典子

- ①昭和38年2月
- ②名城大
- ③沖縄県薬剤師会薬事情報センター
- ④薬事情報

新 監 事 紹 介

①生年月 ②出身校 ③勤務先



エナツ キョウコ
江夏 京子

- ①昭和23年2月
- ②名城大
- ③あかみち薬局
あげな店



ヤマザト イサム
山里 勇

- ①昭和24年5月
- ②名城大
- ③(株)沖縄三和
メディカル



令和5・6年度役員

ご退任されました役員の先生方、お疲れ様でした！



退任役員
又吉智賀子理事、石川恵市理事

第92回総会

第92回定時総会 会長演述

沖縄県薬剤師会第92回定時総会の開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

令和6年度は診療報酬・介護報酬・障害者福祉サービスのトリプル改定が行われました。これを受け日本薬剤師会では、医療分野における賃上げ、物価高騰に対応した適切な財源を引き続き政府に要望しているところです。

この改定では、令和6年度からの第8次医療計画等を踏まえた、医薬品提供体制の確立、医療安全の確保・医療の質の向上を目指した医療DXの推進に向け、薬剤師・薬局のさらなる取り組みが期待された内容となっています。

薬剤師に期待がかかる一方で、薬剤師の偏在は未だ解消せず、当県においても薬剤師不足は依然として解決には至っておりません。

当会としては、県と連携して薬剤師確保事業を進めるとともに、県内国公立大学への薬学部設置の実現に向けた、国や県への働きかけを継続していきます。

また、国が進める医療DXについては、日本薬剤師会も立場を同じくしていることから、当会においても日本薬剤師会の掲げる取り組みを引き続き推進していきます。

さて、当会では、琉球大学病院の普天間への移転に伴い、会営薬局うえはらを閉局しておりますが、他の2会営薬局では、新規事業も含めた新たな発展に向けた取り組みを進めています。

医薬品の安定供給等さまざまな課題に対し、当会では日本薬剤師会を通して国政に働きかけを行って来ましたが、課題解決には、やはり、我々薬剤師職能から選出された国会議員による国政への政策関与が欠かせません。会員の皆様には、御理解と御協力をお願いいたします。

本日は、令和6年度の事業報告、決算報告を予定していますのでよろしくご挨拶申し上げます。

令和7年6月22日
会長 前濱 朋子



< 第92回定時総会次第 >

- 物故会員への黙祷
- 開会の辞
副会長 中村 克徳
- 議長・副議長登壇挨拶
議長 新垣 慶朗
(点呼・宣告)
副議長 川上 雄一朗
- 日程説明
理事 又吉 智賀子
- 会長あいさつ
会長 前濱 朋子
- 議案 第1号 令和6年度収支決算書の件
副会長 川満 直紀
第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙の件
選挙管理委員会 下地 睦夫
- 第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出承認の件
会長 前濱 朋子
- 報告 第1号 令和6年度事業報告（会務並びに事業経過報告）書の件
常務理事 喜友名 朝史
第2号 令和6年度事業報告書及び収支決算書に関する監事監査の件
監事 山里 勇
- 地区薬剤師会代表質問
順番：①南部地区 ②八重山地区 ③北部地区 ④宮古地区 ⑤那覇地区 ⑥中部地区
- 一般関連質問
- 採決（議案第1号、第2号、第3号）
- 閉会の辞
副会長 古謝 玄太



物故会員への黙祷



役員席側

[第92回定時総会スナップ写真]



開会の辞
中村克徳副会長



議長
新垣慶朗代議員



副議長
川上雄一朗代議員



日程説明
又吉智賀子



司会
知名博樹常務理事



議案第1号
川満直紀副会長



議案第2号
下地睦夫選挙管理委員



議案第3号
前濱朋子会長



報告第1号
喜友名朝史常務理事

地区薬剤師会代表質問



更屋元気代議員
(南部地区薬剤師会代表)



新嵩由香代議員
(八重山地区薬剤師会代表)



屋嘉比康作代議員
(北部地区薬剤師会代表)



報告第2号
山里勇監事



閉会の辞
古謝玄太副会長



下地仁代議員
(宮古地区薬剤師会)



中尾滋久代議員
(那覇地区薬剤師会代表)



渡慶次憲彦代議員
(中部地区薬剤師会代表)



新理事の紹介
左から盛本直也理事、喜屋武芳美理事

第92回総会**第92回定時総会開催**

日時：令和7年6月22日（日）13:30～15:55

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

司会の知名博樹常務理事の進行で、定時総会を開催する旨の案内が定刻の午後1時30分にアナウンスされ、開会した。

開会挨拶の前に、物故会員7名（安里健、田場節子、玉城仙子、長嶺義仁、仲村將順、野崎真敏、山崎今日太）の冥福を祈るため、起立黙祷した。

中村克徳副会長が、「医薬品や石油関連の物流が多い中東諸国を中心に国際情勢が急に慌ただしくなっており、国内への影響も考えられることから、情報収集・共有しながら対応していくことも有り得る。」と、開会の辞で述べた。

定款第15条により、議長に宜野湾支部の新垣慶朗代議員、副議長に南風原支部の川上雄一朗代議員が選出された。

又吉智賀子理事が定時総会の日程及び議題の審議方法について説明し、そして、前濱朋子会長が挨拶した。

議題は、議案事項3題、報告事項2題があり、担当理事による議題の説明後に一般関連質問の時間で質疑応答を行う旨を副議長が説明した。

<議案第1号 令和6年度収支決算書の件>

財務担当理事の川満直紀副会長が、比較正味財産増減計算書を基に、各事業部の数字を読み上げ、その後、概要について説明した。

会営薬局うえはらについて、開局していた12月末までは、前年度を上回る受付回数や事業収益を計上していたが、令和7年1月以降は閉局しているため、収益がほとんど無かった。そのため、残務処理で雇用している職員の人件費や閉局に伴う関連支出などで費用のみが3か月間計上されたため、経常増減額が大幅に減少した。その他、賃貸借契約が満了する建物の付属設備の除却費用や、契約満了後に賃貸人から返還される敷金を、当会が負担すべき建物解体費用との代わりに返金を放棄したことによって、更に正味財産増減額が減少した。

会営薬局とよみについて、事業収益の減少は、近隣に開局した薬局の影響で受付回数が減少していること、薬価改定による下落、豊見城中央病院の患者数も年々減少していることなど、様々な事情が起因している。一方で、医療事務職員の部署異動で人件費を削減し、更に、毎月の支払家賃について、賃貸人との交渉で減額出来たことから、令和6年10月以降の財務状況が徐々に改善されて黒字決算となった。今年度も、徐々に増加している個人宅や高齢者施設の在宅対応を積極的に受入れ、閉局した会営薬局うえはらに代わって本会の財務状況を支える薬局を目指し努力していく。

会営薬局医療センター前について、新型コロナ、及びインフルエンザの患者が前年度より落ち着いたこともあり、今年度の年間受付回数が減少した。また、その影響によって検査キットの販売も減少し、その他の要因も相まって事業収益が減少した。そのため、令和6年度は3年ぶりに赤字決算となったことから、沖縄県地域医療介護総合確保基金補助金の対象となり、270万円弱の補助金を得て赤字を補填することが出来た。令和7年度は、薬局の改装、及び閉局した会営薬局うえはらの無菌調剤室を移設する工事も完了したことによって、減価償却費が多額に計上され

て財務に負の影響を及ぼすこととなるが、一般外来の処方せんや沖縄県立南部医療センター・こども医療センターからの処方せん（医療的ケア児など）に対応し、徐々に在宅支援などにも対応出来る体制を整え、地域住民や会員の要望にお応えできるよう努めていく。

試験検査センターについて、水質検査は前年度より減少しているが、空気検査の検査件数が前年度より増加したことから、検査手数料収入が増加した。また、その他事業費の主な増加要因は、空気検査のために必要な外注費の増加と、前年度に購入した陰イオンクロマトグラフ、今年度購入した質量分析計の定率法で計算された減価償却費の増加によるものである。

琉球大学病院FAXコーナーについて、新琉大病院へ移転後、敷地内薬局がある影響で地域薬局への送信件数が減少し、FAX送信手数料収入が減少した。その影響で、令和7年度も送信件数が減少していくようであれば、収支のバランスが崩れることになるため、今後の運営方針の見直しが必要な状況である。

一般会計について、今年度、新たに県から2件の委託事業（国保ヘルスアップ支援・登録販売者試験運営委託）による収入や各種会費の若干の増収などもあったが、前年度まであったコロナワクチン相談委託事業による収入、及び厚生労働省からの薬剤交付支援事業委託による収入が無くなった影響で、事業収益が前年度より大きく減少した。また、支出面において、事務局職員の補充などで管理費部門人件費は増加したが、コロナワクチン委託相談員の事業費部門人件費を大きく計上していた前年度と比べると、全体支出は大きく減少した。その結果、収支両面における減少により、経常増減額が前年度より下回る結果となった。

最後に、会営薬局うえはらが閉局したことによって、本会の財務状況に影響を及ぼすことは間違いないことではあるが、会営薬局とよみ・医療センター前での収益力の向上を目指す新しい取り組みや、それ以外の事業部での努力を積み重ねていくことで、少しずつ会営薬局うえはらの穴埋めをしていく。これからも、より一層会費収入だけに依存しないよう収益力を強化し、国や県からの更なる補助金等の獲得・拡充も視野に入れながら、薬剤師の職能及び社会的・経済的地位の向上に関する事業を行っていくことを述べた。

<議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙の件>

新垣慶朗議長が、監事立候補者は配付資料に掲載されている立候補者一覧のとおりであることを述べ、下地睦夫選挙管理委員を入場させ、経緯説明等を求めた。

下地睦夫選挙管理委員が、「去る3月10日に前濱朋子会長名で今回の選挙の公示をした。これは、本会の会長候補者及び監事選挙規則、同施行細則により、本日行われる監事を決定するための選挙である。去る3月8日に開催した本会定例理事会において、同選挙の公示日並びに選挙期日等を決定し、本会ホームページ等に当該選挙に関する公示及びスケジュールを掲載した。この公示に基づき、6月6日の午後5時を以て候補者の届け出を締め切り、同選挙規則第6条により候補者一覧表を本会事務所に掲示した。立候補者は、江夏京子氏、山里勇氏の2氏から届け出があった。届け出に不備は無く、多くの推薦を得てこれを承諾し立候補の届け出をしている。このあと執行する監事選挙については、立候補者数が員数を超えていないことから、選挙規則第9条に従い、本日の定時総会に出席の代議員の議決を経て、投票を行わずに、その候補者をもって当選者とする所謂無投票当選とするよう求める。また、監事立候補者数は員数を超していないが、監事立候補者の会運営の考えや決意を会員に広く知らしめるため、選挙規則施行細則第9条に従い、監事立候補者の所信表明を実施することについて、議長の許可を求める。」と述べた。

議長の進行により、江夏京子氏、山里勇氏の順で所信表明を実施した。

副議長より、選出については、この後の採決の際に行うことが告げられた。

<議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出の件>

前濱朋子会長候補者が、6地区薬剤師会及び6部会から各1名ずつ推薦された候補者以外の7名の候補者は会長候補者として指名した。候補者名簿に指名事由となる担当や役割を記載しているが、前期同様、沖縄県内国公立大学への薬学部設置に関する事項を特段考慮した人選である旨の説明をし、一般社団法人沖縄県薬剤師会の理事選任の承認をいただきたいと述べた。

<報告第1号 令和6年度事業報告（会務並びに事業経過報告）書の件>

喜友名朝史常務理事が、令和6年度事業報告書の件について、以下のように報告および説明をした。

定款第45条第1項に、「この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。」とあることから、令和6年度事業報告書を配布資料のとおり作成し、監事監査を受けた上で、令和7年5月10日開催の令和7年度第2回理事会の承認を受けている。定款第45条第2項には、「前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号、第4号の書類については、定時社員総会に提出し、第1号の書類についてはその内容を報告し、その他の書類については承認を受けなければならない。」となっている。この第1号にあたる書類が事業報告である。配布の令和6年度事業報告書は、1「会員・薬局等の業態現況報告」、2「会務報告」、3「講演会・研修会・説明会等の開催状況」、4「公的機関等の会議・活動・その他」、5「各種委員会の開催状況」、6「公的機関への協力」、7「地区・支部活動」、そして8「令和6年度事業経過報告」で構成されている。定款第45条第2項第1号の事業報告は、35ページの8「令和6年度事業経過報告」であり、ここの主な事項を読み上げて報告とさせていただきます。事業報告書の8以外の1から7は定款第45条第2項第2号の事業報告の附属明細書にあたるので、口頭での報告・説明は割愛させていただきます。令和6年度事業経過報告（沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動、地域医療提供体制対策、生涯学習、医療安全対策、医療保険、保健福祉、薬学生実務実習受入、災害支援対応、各部会活動）について、主な事項を配布資料に沿って具体的に報告した。

<報告第2号 令和6年度事業報告書及び収支決算書に関する監事監査の件>

山里勇監事が、定款第26条に基づいて、令和7年5月8日に江夏監事と共に執り行った一般社団法人沖縄県薬剤師会の令和6年4月1日から令和7年3月31日までににおける令和6年度会計及び業務の監査実施に基づく監査報告書（添付資料）を読み上げて監査報告とした。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書、貸借対照表等は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。

(3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

休憩を挟み、再び議長と副議長が登壇して質疑応答に移った。質疑応答は、前半に地区薬剤師会代表質問、後半に一般関連質問という構成である。

去る4月の定例理事会にて、地区薬剤師会代表質問の順番は地区代表理事によるアミダクジで決定し、1地区あたりの代表質問時間は質疑応答を含め7分に決定したこと、また、時間超過で質問できなかった事項に関しては一般関連質問の際に質疑応答の時間を設けること等を議長が説明した。

代表質問は、6地区薬剤師会から選出された代議員が下記の順で行い、これらの質問に対し各担当理事が答弁した。

- ①南部地区薬剤師会 (南風原支部：更屋元気代議員)
- ②八重山地区薬剤師会 (石垣支部：新嵩由香代議員)
- ③北部地区薬剤師会 (名護支部：屋嘉比康作代議員)
- ④宮古地区薬剤師会 (平良支部：下地仁代議員)
- ⑤那覇地区薬剤師会 (浦添支部：中尾滋久代議員)
- ⑥中部地区薬剤師会 (うるま支部：渡慶次憲彦代議員)

地区薬剤師会代表質問

<南部地区薬剤師会>

更屋元気代議員 質問：ワクチン充填ならびに接種に係る研修会の開催について

沖縄県薬剤師会では、コロナ禍の際に大規模接種会場や地域の接種会場において、薬剤師がコロナワクチンの充填を行えるよう、複数回にわたり研修会を開催されていたと承知している。今後、同様の研修会を開催する予定はないのか聞く。

また、当時、厚生労働省の検討会において、薬剤師がワクチン接種の担い手として言及された経緯もあることから、将来的に新たな新興感染症等が発生した際には、薬剤師がワクチン接種の担い手となる可能性もあると考えている。今後、接種の手技に係る研修会を開催する予定はあるのかについても併せて聞く。

姫野耕一常務理事 答弁

新型コロナウイルスのワクチン充填業務については、沖縄県や市町村からの要請を受け、薬剤師が適切な手技により対応できるよう、「新型コロナワクチン接種体制に係るワクチン充填作業研修会」を計7回実施し、延べ201名の薬剤師が受講した。

一方、薬剤師によるワクチン接種については、当時「今後の接種の進捗状況を見ながら、必要に応じて検討する」との方針が示されていたことから、日本薬剤師会から「薬剤師のための予防接種研修プログラム」の開催概要および開催要領が示され、当会においても研修会を開催できるよう準備を進めていた。

沖縄県薬剤師会としては、今後の備えとして、いつでも対応できる体制の構築が重要と考えていることから、充填業務や接種手技の研修会の開催を含め、引き続き必要な体制整備に向け、検討していきたい。

<八重山地区薬剤師会>**新嵩由香代議員 質問①：常用薬携帯を観光客に啓蒙することについて**

観光客もコロナ前の水準に戻ってきているが、自身が服用中の薬の持参忘れにより臨時的に処方してもらうことが今なお多くある。医薬品不足も重なり薬を準備するにも苦勞である。

今一度、観光客に自身の服用薬を忘れないよう啓蒙する取り組みはできないか聞く。

佐藤雅美常務理事 答弁

観光客の常用薬の携帯忘れの防止については、令和元年の当会の総会での同様の質問を受け、当会より沖縄観光コンベンションビューローパンフレットに記載してもらうように依頼をし、令和元年度発行の沖縄観光安心安全ガイドから

「いつもより多めの薬と常備薬を持ちましょう」という文言と

「書いておけば安心 医療に関する自分情報」と言う文言が記載され、一応、対応済みと考えている。

しかし、ご質問のような薬局現場での混乱が続いていることも踏まえ、今後、「お薬手帳を持ちましょう」などの追記も含め、沖縄県や沖縄観光コンベンションビューローに現状を改善するための働きかけを行っていく。

当会としても、ホームページやSNS上で、啓発するとともに、他に啓発できるような手段はないか、様々なルートの可能性を模索していきたいと考えている。

新嵩由香代議員 質問②：イベント開催時の医薬品配送について

トライアスロン開催のある石垣では、参加選手の自転車等の荷物もあり、開催日前後数日間は医薬品輸送に遅れが生じる。そのため地元にある卸業者はその期間、多めに在庫しているようだが特殊薬（普段常備していない薬）が処方された場合発注しても後回しにされてしまう事もある。医薬品については優先対応できないのか航空各社・配送業者などへ申し入れすることができないか聞く。

鈴木玲子理事 答弁

トライアスロンの大会前後の医薬品配送遅延への卸の対応は、ご指摘のとおり、運送業者からの注意喚起を受け、在庫数を増やす等を行っている。

卸では、通常、着荷遅延案内期間中の常温医薬品の受注発送は通常通りとし、保冷品や麻薬等は医療機関に遅延の連絡をし、了解を得たうえで、通常に戻り次第発送をする対応を取っているが、医薬品の緊急度・重要度を考慮し、可能な限り配送に対応している。卸各社毎に配送業者の違いや取引条件の違いがあることから、まずは、取引のある卸業者に相談してもらいたい。

一方、県立宮古病院や県立八重山病院では、緊急配送が必要な血液や医薬品については、空港持ち込み、空港受け取りで対応しているものと承知している。

沖縄県薬剤師会としては、医薬品の安定供給を推進する立場から、保険薬局の緊急配送が必要な医薬品についても優先配送となるよう運送業界等関係機関への働きかけを検討する。

新嵩由香代議員 質問③：マイナ保険証と持参保険証との登録情報の齟齬について

マイナ保険証利用率がまだまだ低い但至少づつ増えてきていると思う。

そんな中、マイナ保険証と持参保険証との登録情報の齟齬が多くみられる。（変更情報の反映

に時間差があるから) 使用率が上がればこのような事態が増えることは想像つく。

現在、違いがあった場合は、役所への問い合わせや資格証明書などで確認しているが時間と労力がかかることから、利用率がもっと上がる前にこのことについて解決できないか聞く。

吉田典子理事 答弁

マイナ保険証と持参保険証との登録情報の齟齬については、ご指摘のとおり、転職等に伴い保険者が変更された直後は、新たな保険者による資格情報の登録までに一定のタイムラグが生じるのが現状であり、従来の紙の保険証等が交付されるまでのタイムラグと同様の取扱いとなっている。そのため、現状は八重山地区において実施されている対応策以外には有効な手段がない状況である。

参考までに、レセプト請求では、すでに喪失した資格に基づき診療報酬の請求が行われた場合であっても、医療費の審査支払の時点で新たな保険者等からデータ登録がなされている場合には、オンライン資格確認等システムのレセプト振替機能を活用することで、医療機関等に明細書を返戻することなく、新たな保険者に対して医療費請求が自動的に振り替えることを基本としていること、各保険者では、新規加入者に対して、データ登録までの必要期間を周知予定としているなど円滑な運用に向けた取り組みも行われている。

<北部地区薬剤師会>

屋嘉比康作代議員 質問：不動態在庫、供給不安への対応策について

昨今の医薬品供給不安は、依然として続いており、我々会員薬局にとって喫緊の課題となっている。また、これに伴い、各薬局における不動態在庫の問題も深刻化している。

こうした課題に対し、我々北部地区薬剤師会では、会員薬局間の連携を強化するため、医薬品の使用実績や不動態在庫売買ができる「メドシェア」というサービスを導入し、活用している。

具体的には、会員薬局間での医薬品の売買や北部地区薬剤師会が運営する備蓄センターからの小分け供給時の取り扱い薬局検索などに役立てており、一定の成果を上げている。

つきましては、県薬剤師会として、この医薬品供給不安および不動態在庫問題に対し、今後どのような対策を講じていくか聞く。また、具体的な取り組みなどあれば聞きたい。

喜友名朝史常務理事 答弁

医薬品の安定供給について、沖縄県薬剤師会としては、今後も日本薬剤師会や薬剤師国会議員の本田、神谷の両参議院議員を通して、医薬品の安定供給を国の関係省庁や製薬メーカーなどの関係団体へ働きかけるとともに、医薬品を使用する患者への安全・安心に対する信頼回復に向けて、地区薬剤師会や会員薬局とともに取り組んでいきたいと考えている。

不動態在庫問題に関しては、県薬剤師会が県全域を対象としたシステムを構築するのではなく、各地区に合った仕組みを構築することが必要と考える。

<宮古地区薬剤師会>

下地仁代議員 質問①：顔認証カードリーダーの故障時の対応について

カードリーダーは故障内容を確認後、メーカーのサポートセンターから新品が送られてくることになっているが、離島においては輸送時間が相当にかかることが予想される。また、離島においては落雷、塩害などによる電子機器の故障が多い。

マイナ保険証の利用率が急増していることを考えると、予備機の備えが必要だと思われる。
県薬剤師会でカードリーダーを購入し、各離島に一台ずつ配備することはできないか聞く。

吉田典子理事 答弁

沖縄県薬剤師会としては、次の3つの理由からカードリーダーの購入および離島への配備を行うことは難しいと考えている。

一点目、マイナンバーカードのカードリーダーは、複数のメーカーが製造・提供しており、各薬局が導入している機種も多様であること。そのため、特定のメーカーの製品のみを予備機として配備することは公平性を欠くと考えること。

二点目、離島では落雷や塩害による電子機器の故障が発生しやすい状況ではあると思うが、これらへの備えは基本的に各薬局において行うべきものであると考えること。特に落雷については、被害が広範囲におよぶことが想定されるため、予備機が1台あっても十分な対応が出来ないと考えること。また、落雷や塩害は離島に限った問題ではなく、他の地域でも同様のリスクがあり、特定の地域に限定して支援を行うことには慎重に検討する必要があること。

三点目、マイナ保険証が機器の故障等で利用できない場合の対応策について、厚生労働省から令和5年7月10日付け通知「マイナンバーカードにおけるオンライン資格確認を行うことができない場合の対応について」が発出されている。同通知の中に停電や施設の通信障害、広範囲のネットワーク障害などが発生した場合の対応方法が示されていること。

以上の理由から、カードリーダーの予備機配備については、県薬剤師会として一律に対応する性質のものではないと考えている。

下地仁代議員 質問②：災害薬事コーディネーター育成講習会の地区薬剤師会での開催について

災害薬事コーディネーター育成に向け毎年講習会を開催しているが、各地区薬剤師会でも対応を行うために会員各自への講習が必要と考える。

県薬剤師会では各地区薬剤師会での講習会を開催する予定はないか聞く。

知念大輔理事 答弁

災害薬事コーディネーターの育成については、第8次医療計画に災害薬事コーディネーターが明示されたことにより、当会では沖縄県からの委託を受け、県庁および保健所単位に各2名の4交代制で計56名を配置できるよう、災害薬事コーディネーター養成研修を令和5年度から実施し、令和6年度までの2年間で30名を養成している。

ご質問の地区薬剤師会での講習は、災害薬事コーディネーターの災害時における役割等についての内容と解せることから地区薬剤師会の会員向けに講習会を開催することは可能と考えるので、地区に持ち帰って開催について検討されたい。

<那覇地区薬剤師会>

中尾滋久代議員 質問①：組織強化について

若い会員（20代、30代）の人数、病院薬剤師の人数と入会促進の取り組みについて聞く。

阿部義則専務理事 答弁

沖縄県薬剤師会における会員数は、20代が50名、30代が238名、病院薬剤師は57名である。

入会促進に向けた取組としては、青年薬剤師部会の主催により「若手薬剤師交流バーベキュー」を開催している。このイベントは、若手薬剤師の横のつながりを深めるとともに、入会促進を目的としている。この取組により、令和6年度には1名、令和7年度は年度途中ですが8名の新規入会につながっている。

また、病院薬剤師に対する入会促進対策としては、令和6年3月に開催された沖縄県薬剤師会第89回臨時総会において、新規会員の入会促進および組織強化を目的に、会費等の減免措置に関する規程を新たに設けた。具体的には、沖縄県病院薬剤師会に所属する40歳以下の薬剤師を対象に、入会金の免除および年会費の50%減額を適用する「入会促進キャンペーン」を実施し、2名の病院薬剤師が入会した。

今後も引き続き、若手薬剤師を対象とした交流会の開催や、入会促進キャンペーンの周知活動を通じて、さらなる会員拡充・組織強化に取り組んでいく。

中尾滋久代議員 質問②：災害時の学校薬剤師の活用について

災害時には学校が避難場所として指定されるケースが多いが、学校薬剤師と行政との協力体制はどのようになっているのか聞く。

姫野耕一常務理事 答弁

災害発生時の避難所の設置・運営は、「沖縄県災害医療マニュアル」に基づき、市町村が行うこととなっている。

学校が避難所として活用される場合も同様に、市町村が運営を担い、県および地域医療福祉調整本部に配置された災害薬事コーディネーターが、医薬品や支援薬剤師および薬事・衛生面に関する情報の把握やマッチング等を行うことになっている。そのため学校が避難場所に指定されても、現状では薬剤師が学校薬剤師として関与することは想定されていない。

災害時における行政との連携体制は既に構築されているが、学校薬剤師も災害支援薬剤師として登録することで、災害時の支援活動に参画できるものと考えている。

今後、災害対策委員会では、災害支援薬剤師に関する諸規定の整備を進め、災害支援薬剤師の募集を開始していく予定としているので、積極的な参画を期待する。

中尾滋久代議員 質問③：薬剤師無料職業紹介所について

薬剤師無料職業紹介所の求人数、求職数、マッチング数について聞く。また、医療事務の紹介の予定はあるか聞く。

阿部義則専務理事 答弁

沖縄県薬剤師会が運営している薬剤師無料職業紹介所の令和6年度の実績では、求人数が84件、求職数が11件で、マッチング数は4件となっている。

医療事務の紹介は、薬剤師無料職業紹介所が薬剤師に限ることを要件に厚生労働大臣の許可を受けているため、制度上出来かねる。

中尾滋久代議員 質問④：薬剤師職能のアピールについて

薬剤師職能の特に他職種へ薬剤師ができることを知ってもらえるようなPR活動はされているのか聞く。

喜友名朝史常務理事 答弁

薬剤師職能の他職種へのアピールについては、現在、市町村の乳児検診への参加や各地域でのお薬相談会の開催、多職種コンソーシアムへの参加、うりずんフェスタへの参加、なごみ会主催の県民健康フェアへの参加、市町村青年部議員との勉強会、ケアマネジャーとの連携会議など、様々な取り組みを行っている。

沖縄県薬剤師会としては、今後も薬剤師の職能の普及啓発に取り組んでいく。

<中部地区薬剤師会>**渡慶次憲彦代議員 質問①：正味財産増減計算書 事業収益について**

正味財産増減計算書の事業収益が △393,657,529円となっているが会営うえはらの閉局による影響なのか聞く。また、この減収による今後の会運営への影響、それに伴う事業の廃止・縮小等はないか聞く。

川満直紀副会長 答弁

事業収益の減収は、会営薬局うえはらが令和6年12月末をもって閉局したことに起因している。また、ご指摘の金額については、閉局したことで3ヶ月間事業収益が無いことによる前年度との増減差であり、併せて、医薬品仕入費用も、閉局により事業収益と同様に減少している。そのため、経常収益の合計から経常費用の合計を差し引いた金額は、前年度より、△2,700万円程度の減にとどまっている。

会営薬局うえはらの閉局が当会の運営に影響を及ぼすことは間違いないが、理事会で決定した会営薬局事業方針に基づき、会営薬局とよみでは、これまで通り医療機関からの処方せん対応と、徐々に増加してきている個人宅や高齢者施設の在宅の対応を今後も積極的に受入れ増収に努めること。

また、会営薬局医療センター前では、薬局内の改装工事、及び会営薬局うえはらからの無菌調剤室の移設工事が完了し、令和7年7月から、これまでの休日・夜間の閉局に加え、平日の午前中も開局して一般外来の処方せんに対応し、午後からは南部医療センター・こども医療センターからの医療的ケア児の処方せんへの対応と在宅に対応し、収益増と地域医療への貢献を図っていくこととしている。

このように、今後は、主に、残された2つの会営薬局の収益増に努め、事業を廃止・縮小することなく会を運営していく予定としている。

渡慶次憲彦代議員 質問②：会営うえはら閉局による在庫処分について

会営うえはら閉局に伴い、不動態在庫となる品目数・金額などはどのくらいになったのか聞く。また、不動態在庫に関して買い取り案内などの対策はしたのかも聞く。

石川恵市理事 答弁

会営薬局うえはら閉局後、返品出来ない在庫が約380品目270万円程度あった。

この在庫についての対応は、薬局の廃止届を提出するタイミングで、全て会営薬局とよみへ一旦移動した。そのうち、約70品目30万円程度を、これまで小分け販売取引のあった薬局へ案内し、5月までに10薬局へ販売している。残り約310品目240万円程度の在庫については、今後も小分け販売取引に対応し、その中に、H I V関連の高額医薬品在庫が2品目200万円程度ある。

渡慶次憲彦代議員 質問③：デッドストック対策について

各地域薬剤師会単位でプラットフォームを作成し、医薬品の入力・削除等は会員各自の責任において個人で行うシステムやアプリを会で作成できないか聞く。または、その関係の予算を確保することについても聞く。

喜友名朝史常務理事 答弁

旧不動産在庫・備蓄ネットワークシステム（MEDISS）は、利用の偏りや利用ニーズの低さから、平成31年1月の理事会で廃止が承認・決定されている。

また、県全体で対応することは、多くの離島を持ち南北に長い本県の特性から配送を考えると現実的ではないことから、沖縄県薬剤師会で一元的なシステムを構築するのではなく、各地区にあったシステムを地域薬剤師会単位で検討していく事が適切だと考えている。

そのため、沖縄県薬剤師会としては予算の確保に関しては検討していない。

渡慶次憲彦代議員 質問④：薬剤師確保事業について

Iターン事業として、沖縄県だけではなく各市町村とタイアップし県内移住者の呼び込み、例えば市町村に住宅補助をしてもらうなど、空き家対策を兼ねた事業を行った例は無いか聞く。また、なければ会として提言する事を検討するかも聞く。

阿部義則専務理事 答弁

沖縄県薬剤師会では、平成27年度から沖縄県の補助を活用し、全国の薬科大学等へ出向き就職斡旋の依頼を行うUIターンガイダンスを実施している。

県外出身者の移住、所謂、Iターンには、住居の確保が重要と考えますが、薬剤師確保のために、県や市町村が住宅補助等の制度を実施している事例は、把握していない。県や市町村が人材確保を目的に補助等を行う場合、受益者負担の原則があるため、事業化が難しいものと承知している。

また、人材確保を目的に借り上げ等による社宅や寮の提供を行う事例は、病院や薬局にもあること、また、一般的に住宅手当の支給が行われているものと考えていることから、現時点では、会として県や市町村に住宅補助の提言を行うことは考えていない。

一般関連質問

一般関連質問の時間に入った。同時間は前述の議題及び地区薬剤師会代表質問に関連する質疑応答の時間として設けられている。

沖縄支部の上原卓朗代議員と名護支部の西坂順代議員、糸満支部の黒島新代議員から質問があった。

沖縄支部 上原卓朗代議員 質問1

中部地区薬剤師会代表質問への答弁で、会営薬局うえはらの閉局に伴う不動産金額が240万円程度とあった。中でもHIV関連の医薬品は特殊かと思うが、取り扱いのある薬局を把握し、直接交渉等を行わないのか、また、今後の検討予定についても伺う。

石川恵市理事 答弁

確かにHIV関連の医薬品は特殊であり、第一段階としてこれまで小分け販売取引のあった薬局のみへ販売を行った。

不動在庫の品目数が多いことから、未開封の医薬品は返品できるものは返品し、開封済みの医薬品に関しては、メーカー違いや数錠のバラ在庫等で小分け販売の選別が難しいものではあるが、今後はこれまで小分け販売取引のあった薬局以外の会員薬局にも取り扱い品目を配信できるようExcelデータ化し、小分け販売の対応ができるよう検討する。

沖縄支部 上原卓朗代議員 質問2

同じく中部地区薬剤師会代表質問への答弁で、会営薬局とよみに関しては、在宅を積極的に受け入れ増収に努めるとあったが、現状と今後の展望を聞く。

喜友名朝史常務理事 答弁

現状は個人宅6名と2施設（9名の施設と43名の施設）の在宅に対応している。

今後は、地域支援体制加算が取れる薬局を目指すとともに、在宅に関しては会員薬局で対応が難しい患者や新規の受け入れを中心に行う。

沖縄支部 上原卓朗代議員

例えば、麻薬調剤や注射等の地域では難しい対応を会営薬局が担うのであれば、意義あるものとする。それに伴い収益を上げられるのであれば会としても有意義であるとする。

名護支部 西坂順代議員 質問

薬剤師確保事業に関連することで、昨年6月25日に県と昭和薬科大学が薬剤師確保に関する協定を結んだと琉球新報で報じられたが、どのような合意があったかご存知であれば伺いたい。

阿部義則専務理事 答弁

当該記事の背景には、以前、県と徳島文理大学が就職支援協定を結んだ経緯を受けてのものと承知している。徳島文理大学には、薬剤師だけでなく看護等の他の職能の養成課程があることから幅広い人材確保に係る協定を結んでいた。これを受け、昭和薬科大学から県への働きかけがあり、協定に至ったと聞いている。ただ、具体的な内容については、現時点では確かではないため、答弁を差し控えさせていただきたい。

名護支部 西坂順代議員

確かな内容が分かり次第お伝えさせていただきたい。

糸満支部 黒島新代議員 質問

北部地区薬剤師会代表質問にあった「メドシェア」に関して、他県にいた際に、岡山市薬剤師会で導入し非常に便利であると感じた。各薬局の在庫情報を集約するシステムとして有用であるとする。災害時においても在庫情報の一元化は重要であり、早急に取り組むべきだと考える。また、医薬品不足による現場での患者対応にも役立つと考える。本会で当該システムを導入するにあたってのコスト算定は行われたか聞く。

阿部義則専務理事 答弁

的確な回答であるかご容赦いただきたいが、確かに当該システムに加入する薬局が多くなれば当然、地域の医薬品の在庫や動きが分かるため、不動態に留まらず様々なデータが得られるという意味においては、非常に良いものであると考える。しかし、加入率の問題がある。

今年度、厚生労働省で医薬品提供体制強化に係る3億6000万円の予算が通ったことを岩月日本薬剤師会会長から聞いている。各地域の医薬品在庫や在庫変動の調査を各地区薬剤師会が行うもので、データを持つことにより薬剤師として新たな動きにつなげるという話も岩月会長からあった。今後は、国の動きに伴って本会も動くことになることや、「メドシェア」は一システムであることから、現時点での導入は考えていない。

<採決（議案第1号、第2号、第3号）>

議長が、議案第1号、第2号、第3号を一議案毎に読み上げ、賛成の挙手による承認を求めた。

議案第1号、令和6年度収支決算書の件について、賛成多数で承認された。

議案第2号、一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙の件については、下地睦夫選挙管理委員から選挙規則第9条に則って、選ぶべき員数を超えていないので、投票を行わずに、その候補者をもって当選者とする事ができるとの説明があったことから、立候補者2名に対して挙手にて当選の承認を求めた。賛成多数の承認を得て、江夏京子氏と山里勇氏が監事に当選した。

議案第3号、一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選任の件については、浅沼健一氏（北部地区薬剤師会代表）、阿部義則氏（法務対策・薬学部創設推進担当）、川満直紀氏（財務担当）、喜屋武芳美氏（中部地区薬剤師会代表）、喜友名朝史氏（青年薬剤師部会代表、在宅医療推進担当）、幸地良信氏（八重山地区薬剤師会代表）、古謝玄太氏（行政薬剤師部会代表、薬学部創設推進担当）、古謝真己氏（宮古地区薬剤師会代表）、佐藤雅美氏（薬学生実務実習担当）、鈴鹿玲子氏（卸勤務薬剤師部会代表）、知名博樹氏（学校薬剤師部会代表、試験検査センター担当）、知念大輔氏（災害対策担当）、名嘉紀勝氏（南部地区薬剤師会代表）、中村克徳氏（学術研修担当）、姫野耕一氏（病院薬剤師部会代表、災害対策担当）、前濱朋子氏（会長候補者）、宮城幸枝氏（医療保険担当）、村田美智子氏（女性薬剤師部会代表、保健福祉担当）、盛本直也氏（那覇地区薬剤師会代表、地域医薬品提供体制対策担当）、吉田典子氏（薬事情報担当）、以上の候補者が、賛成多数で理事就任を承認された。

議題を滞りなく進行した議長と副議長が降壇し、進行を司会に移した。

今回、新役員が承認されたことで、新任の理事2氏（喜屋武芳美氏、盛本直也氏）を登壇させ、紹介した。

次に、退任する理事2氏（石川恵市氏、又吉智賀子氏）を登壇させ、一言ずつ挨拶をいただいた。

最後に、古謝玄太副会長が閉会の辞を次のように述べ、沖縄県薬剤師会第92回定時総会を閉会した。

「定時評議員会から定時総会まで長時間にわたりご参加いただき、皆様の活発かつスムーズな質疑により時間どおりに終えることができ、感謝申し上げます。連盟に関しては、3日前に東京に行った際に議員会館で本田あきこ参議院議員と少し話したが、お疲れになっているように見受けました。現職の国会議員ということで、国会会期中に選挙に向けた活動を行う大変な状況にあると思う。しっかりと地区で支えることが大事だと思う。那覇市在住の方は、同日に那覇市議会議員選挙になるかと思うので投票をお願いしたい。3月の臨時総会の閉会時にも触れたが、県内経済界

の動きとして『GW2050 PROJECTS』が動いている。那覇空港や返還が予定される米軍基地跡地利用を考える本プロジェクトのグランドデザインが先月発表された。その中で、これからの沖縄を担う産業分野として、以下の4つが挙げられている。1つ目に高付加価値の観光、2つ目にブルーエコノミー、3つ目に健康・医療、4つ目に航空・宇宙である。3つ目の健康・医療については、関連資料中に『創薬』の文言があり、恐らく西普天間の琉球大学病院の移転やウェルビーイングセンターの設置を想定してのものかと思うが、創薬に関連して薬学部創設や様々な我々の要望も打ち出すことが重要かと思うことから、引き続き注目していただきたい。」

(文責：沖縄県薬剤師会事務局 大城喜仁・玉寄博之・川平真央)

[第92回定時総会出席者]

敬称略

<理事・監事>

- | | | |
|-----------------|------------------|-----------------|
| ○前濱 朋子 (会長) | ○中村 克徳 (副会長) | ○川満 直紀 (副会長) |
| ○古謝 玄太 (副会長) | ○阿部 義則 (専務理事) | ○姫野 耕一 (常務理事) |
| ○佐藤 雅美 (常務理事) | ○知名 博樹 (常務理事) | ○喜友名朝史 (常務理事) |
| ○石川 恵市 (中部地区代表) | ○又吉智賀子 (那覇地区代表) | ○名嘉 紀勝 (南部地区代表) |
| ○古謝 真己 (宮古地区代表) | ○幸地 良信 (八重山地区代表) | ○知念 大輔 (災害対策担当) |
| ○鈴鹿 玲子 (卸会代表) | ○村田美智子 (女性薬部会代表) | ○吉田 典子 (薬事情報担当) |
| ○江夏 京子 (監事) | ○山里 勇 (監事) | |

<代議員>

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| ○玉城 純 (名護支部) | ○大塚成一郎 (首里支部) | ○鈴木 一徳 (浦添支部) |
| ○西坂 順 (名護支部) | ○村上 市子 (首里支部) | ○中尾 滋久 (浦添支部) |
| ○屋嘉比康作 (名護支部) | ○岩間絵里子 (那覇東支部) | ○日高久美子 (浦添支部) |
| ○佐次田 聖 (うるま支部) | ○酒井 明子 (那覇東支部) | ○真崎しのぶ (浦添支部) |
| ○瑞慶山純子 (うるま支部) | ○戸田 澄之 (那覇東支部) | ○新垣 秀幸 (糸満支部) |
| ○渡慶次憲彦 (うるま支部) | ○備瀬 愛実 (那覇東支部) | ○伊敷松太郎 (糸満支部) |
| ○福地 健治 (うるま支部) | ○村田 成夫 (那覇東支部) | ○黒島 新 (糸満支部) |
| ※阿嘉 秀寅 (沖縄支部) | ○普天間公子 (那覇東支部) | ○松本 圭五 (糸満支部) |
| ○上原 卓朗 (沖縄支部) | ○平良 博文 (那覇北支部) | ○伊敷さゆり (南風原支部) |
| ○内嶺 陽平 (沖縄支部) | ○平良仔己子 (那覇北支部) | ◎川上雄一朗 (南風原支部) |
| ※玉城 武範 (沖縄支部) | ※枘井 亮太 (那覇北支部) | ※川上 善久 (南風原支部) |
| ○玉城 幸輝 (沖縄支部) | ○儀間 祐希 (那覇中央支部) | ○更屋 元気 (南風原支部) |
| ○四谷 祐子 (沖縄支部) | ※小湾 喜彦 (那覇中央支部) | ○城間 盛伸 (南風原支部) |
| ○諸見里めぐみ (沖縄支部) | ○吉田 安樹 (那覇中央支部) | ○下地 仁 (平良支部) |
| ☆新垣 慶朗 (宜野湾支部) | ○新垣 雅大 (小禄支部) | ○新嵩 由香 (石垣支部) |
| ○藤田 由 (宜野湾支部) | ○宮里 裕美 (小禄支部) | |
| ○新垣 紀子 (首里支部) | ○柴田 忠佳 (浦添支部) | |

☆：議長 ◎：副議長 ○：現地出席 ※議決権委任

第92回総会

<報告第1号 令和6年度会務並びに事業経過報告>

令和6年度 会員・薬局等の業態現況報告

(1) 会員数

令和7年3月末現在

① 正 会 員	1,254 人	(A会員 576人、B会員 588人、C会員26人、 特別会員A 29人、特別会員B 27人、特別会員C 8人)
(内 訳)	【前年度比較】総会員数 9人増 (A会員増減無、B会員1人増、C会員2人増、特別会員A4人増、特別会員B3人増、 特別会員C1人減)	
名 誉 会 員	2 人	新垣正次、長田紀昭
薬 局 開 設 者	161 人	
一 般 販 売 業	25 人	
卸 勤 務 薬 剤 師	24 人	
勤 務 薬 剤 師	859 人	薬局(801)、病院(57)、製輸(1)
そ の 他	183 人	行政(26)、他職勤務者(27)、無職(122)、学生 (8)
② 賛 助 会 員 A	27 人	
合 計	1,281 人	① (1,245人) + ② (27人)

(2) 薬局開設者等 (前年度との比較)

令和7年3月末現在

	令和5年度	令和6年度	増減
薬 局 開 設 者	164人	161人	-3人
一 般 販 売 業	28人	25人	-3人
卸 売 一 般 販 売 業	25人	24人	-1人
勤 務 薬 剤 師	855人	859人	4人
保 険 薬 剤 師	1100人	1112人	12人
そ の 他	170人	183人	13人

(3) 保険薬局等 (前年度との比較)

令和7年3月末現在

	令和5年度	令和6年度	増減
保 険 薬 局	553軒	553軒	0軒
処 方 箋 応 需 薬 局	548軒	548軒	0軒

第92回総会

令和6年度事業経過報告

1 沖縄県内の国公立大学への薬学部創設に向けての活動

(1) 令和5年度までの経過

沖縄県内の国公立大学への薬学部創設を求めるための活動（以下「本活動」という。）の開始当初からの取り組み経過の概要は以下のとおりである。

- 平成27年4月
 - ・本会から琉球大学に薬学部を設置するよう、国、関係当局へ要望を行うため、県も理解を示すよう知事に対して要望書を提出。
- 平成29年11月
 - ・県が和歌山県立医科大学薬学部設置に関する情報収集開始。
- 平成30年6月
 - ・本会、県医師会、県歯科医師会、県看護協会（4師会）は、「琉球大学に薬学部創設」に係る10万筆を越える署名を要望書とともに琉球大学に提出し、意見交換。
- ※令和2年度～令和4年度の県の薬学部設置に関する事業
 - ・令和2年度～3年度：薬学部設置可能性等調査
 - ・令和4年度：県内国公立大学薬学部設置推進事業
- 令和5年2月
 - ・県が県内国公立大学薬学部設置シンポジウムを開催。
 - ・「沖縄県内国公立大学薬学部設置に関する基本方針」を公表。
 - ・同方針のロードマップにおいて、開学を令和10年4月と公表。
- 令和5年9月
 - ・県が大学選定のための構想の公募を開始（令和5年12月8日まで）
 - ・4師会は県議会に「県内国公立大学薬学部設置の着実な実施のための財源確保」を知事に要請。
 - ・県薬剤師会は県議会に「県内国公立大学薬学部設置のための財源確保」の陳情書を提出。
- 令和5年10月
 - ・4師会は琉球大学学長に琉球大学への薬学部の設置を求める要請書を手交。
- 令和5年11月
 - ・武見敬三厚生労働大臣が来沖の際、「琉球大学医学部は父が創った、薬学部は自分が創る。」と発言。
 - ・前濱会長が県関係国会議員5氏（國場、宮崎、島尻、西銘、比嘉）、薬剤師連盟関係国会議員2氏（本田、神谷）と面談・要請のため上京。
- 令和5年12月
 - ・県の大学選定のための構想の公募締切。応募なし。
 - ・池田副知事と琉球大学西田学長が県庁で面談。今後も薬学部設置の可能性も含めた協議を継続することを確認。

- 令和6年3月
 - ・令和5年度県内国公立大学設置シンポジウムを開催。
(医療団体に加え、経済4団体が後援)

(2) 令和6年度の取り組み

ア 県の取り組み

- ・医療界、経済界を巻き込んだ県民会議を設置し、その要請決議を国に届け、国の予算に盛り込んでもらうことにより、国主導での琉球大学への薬学部設置に向けた事業化を企図したが、大学側の環境が整わない等の理由により頓挫した。
- ※本会も県と協力する形で医療3団体、薬業3団体、県経済4団体との調整に奔走。
- ・令和6年度、県は琉球大学と計4回「薬学部設置の可能性も含めた協議」を実施。結果、協議は平行線をたどり、新年度へ引き継がれることになった。

イ 本会の取り組み

- ・アの県の取り組みへ協力する形で、創薬による県経済への貢献を切り口に経済4団体から賛同を取り付けるため奔走した。結果、アの理由により賛同が得られなかった。
- ・国への要請の調整は、県のころみとは別に調整が進んでいたこともあり、本会と県卸業協会、県登録販売者協会、県配置販売業協会の薬業4団体として、自見沖縄担当大臣、武見厚生労働大臣、盛山文部科学大臣に要請書を手交してきた。
- ・その他、関連の取り組みとして、
- ・10月の九州山口薬学大会（鹿児島県）のシンポジウムにおいて、「沖縄県の薬剤師確保の現状と取組」と題して発表した中で、薬学部設置に向けた取組も発表した。
- ・11月の沖縄政治大学校に神谷参議院議員が講師として招かれ、薬剤師確保の施策や沖縄の薬剤師不足の状況等を県内の市町村議員に向けて講演した。
- ・令和7年1月の沖縄市長選挙の際の花城大輔氏の総決起大会の事前打ち合わせの際、小淵優子自民党組織運動本部長と面談する機会を得、本会が薬学部設置の取組を行っていることを伝え、国の財政面の支援を沖縄振興調査会から進言していただけるよう要請することが出来た。

令和6年度の経過の概要は以下のとおりである。

- 令和6年6月
 - ・自見英子内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策等）に「琉球大学への薬学部設置の要望書」を手交
- 令和6年7月
 - ・武見敬三厚生労働大臣、盛山正仁文部科学大臣に「琉球大学への薬学部設置の要望書」を手交
- 令和6年10月
 - ・九州山口薬学大会（鹿児島県）のシンポジウムで「本県の薬剤師確保の状況と取組」の中で薬学部設置に向けた取組を発表
- 令和6年11月
 - ・神谷政幸参議院議員が自民党の県内市町村議員向けの沖縄政治大学校で講師として、薬剤師確保の施策や薬剤師不足の状況等を講義
- 令和7年1月
 - ・小淵優子衆議院議員（自民党組織運動本部長、自民党沖縄振興調査会会長）と沖縄市

長選の際、面談の機会を得、琉球大学への薬学部設置について、国の財政面の支援を沖縄振興調査会から進言するよう要請

2 地域医療提供体制対策

地域包括ケアシステムを基盤とした地域医療や保健等の提供体制における「患者のための薬局ビジョン」の実現に向けた薬局のあり方に係る「地域や病院（行政や他医療職種および病院薬剤師等）との連携に係る事業の企画」「かかりつけ薬局・薬剤師を基盤とする健康サポート薬局、地域連携薬局・専門医療機関連携薬局といった薬局の理念、機能を発揮できる環境整備のための各種施策の検討や実施」を行った。薬剤師が本来の役割を果たし、地域の患者を支援するための患者本位の医薬分業を実現するため、以下の事業を行った。

(1) 薬業連携会議の開催（薬業連携及び医療従事者間の連携事業推進）

令和7年3月9日に、地域医療提供体制対策委員会主催の特別講演会で、厚生労働省で厚生労働事務次官を務めた吉田学氏を招き、「地域包括ケアシステムにおいて広がる病院薬剤師と保険薬局薬剤師の連携～入退院カンファレンスから地域共生～」をテーマに特別講演会を開催した。同日、特別講演会の講師を務めた吉田学氏をファシリテーターに招き、県内広域病院薬局長、各地区薬剤師会長、本会会長・副会長・常務理事及び地域医療提供対策委員会担当者が参加し、テーマを「入退院カンファレンス」とし薬業連携会議を開催した。事前アンケートを各病院薬剤師、薬局薬剤師向けに行い、集計したアンケートについて那覇市立病院薬剤科副薬剤科長の永井賢作氏、地域医療提供体制対策委員会の西川裕氏がアンケート結果を発表した。その後、各地域4つのグループに分かれディスカッションを行った。

(2) 健康サポート薬局に係る研修

昨年度に引き続き、健康サポート薬局届け出数の増加を目的とし、それをめざす会員の便に供するために同研修会を令和6年度は1回開催した。

- 健康サポート薬局に係る研修会 開催日：令和6年1月26日（日）参加者13名
- 健康サポートのための薬剤師の対応研修会 開催日：令和6年1月26日（日）参加者4名

(3) 訪問薬剤管理指導推進事業の実施

- 在宅訪問薬剤師同行研修 講師6名が同行研修を行った。

講師：久手堅 奈央：2回、石田 浩：1回、上原 卓朗：1回、
 栞井 亮太：1回、川上 善久：1回、林 直弥：1回

- 多職種連携会議への派遣

多職種連携会議・多職種コンソーシアム実践研修会へ薬剤師の派遣をした。

（助言者：久手堅 奈央、石井 秀典、知念 大輔、與那覇 友理華）

- 在宅訪問薬剤師座学研修会 開催日：令和7年2月27日（木）

「在宅薬剤師の臨床推論スキルを磨く：想定外の瞬間に備え
 ～患者宅での判断力を鍛えるワークショップ～」

講師：たのはたらボ 北原 佑介 参加者：14名

- 在宅訪問薬剤師連携講習会および連携会議

「在宅医療の現状と訪問薬剤師に求められる役割～他職種の視点から～」

開催日：令和7年1月16日（木）参加者：現地13名、WEB：58名

講師：中部地区医師会在宅ゆい丸センター職員 津嘉山 愛律子

訪問看護ステーションはな宜野湾所長 仲宗根 純也

おかえり在宅クリニック院長 東 賢志

○「訪問薬剤師とケアマネジャーとの連携について」

開催日：令和7年1月30日（木）

参加者：ケアマネジャー

- ・中山 哲郎（合同会社Reさぼっと代表社員おきなわ、
仕事と介護の両立サポート協同組合副理事）
 - ・遠藤 賢吾（合同会社courage代表社員、ケアプランBrave管理者）
 - ・新垣 俊（介護支援センターさんだん花管理者、沖縄県介護支援専門員協会理事）
 - ・前田 耕平（合同会社Reさぼっと）
 - ・城間 ゆかり（喜納クリニック事務長、在宅ケアセンターしだかじ管理者、
沖縄県介護支援専門員協会副会長）
- 喜友名 朝史・盛本 直也・石田 浩・上原 卓朗（地域医療提供体制対策委員会）

○「ケアマネジャーから見る薬剤師の居宅療養管理指導について」

開催日：令和7年3月17日（月）参加者：13名

参加者：ケアマネジャー

- ・中山 哲郎（合同会社Reさぼっと代表社員おきなわ、
仕事と介護の両立サポート協同組合副理事）
- ・遠藤 賢吾（合同会社courage代表社員、ケアプランBrave管理者）
- ・新垣 俊（介護支援センターさんだん花管理者、沖縄県介護支援専門員協会理事）
- ・城間 ゆかり（喜納クリニック事務長、在宅ケアセンターしだかじ管理者、
沖縄県介護支援専門員協会副会長）

(4) その他

○2024年度第1回地域医療支援病院運営委員会

開催日：令和6年5月30日（木）

参加者：阿部 義則専務理事

○沖縄県医療提供体制協議会「令和6年度第1回在宅医療部会」

開催日：令和6年11月8日（金）

参加者：喜友名 朝史地域医療提供体制対策担当理事

○令和6年度第1回県医療提供体制協議会

開催日：令和6年11月27日（水）

参加者：前濱 朋子会長

○令和6年度第1回県医療提供体制協議会「新興感染症等医療部会」

開催日：令和6年12月19日（木）

参加者：姫野常務理事

○令和6年度県医療提供体制協議会「小児療部会」

開催日：令和7年1月22日（水）

参加者：石田 浩

○令和6年度第2回県医療提供体制協議会

開催日：令和7年2月6日（木）

参加者：前濱 朋子会長

○令和6年度令和6年度かかりつけ薬剤師・薬局推進指導者協議会

開催日：令和7年2月28日（金）

参加者：阿部 義則専務理事、盛本直也

○令和6年度沖縄県感染症対策連携協議会

開催日：令和7年3月13日（木）

参加者：阿部 義則専務理事

3 生涯学習**(1) 令和6年度新任・新人薬剤師研修会**

令和6年7月21日に本会館およびWEBで開催し、33名（現地4名、Web29名）の参加があった。

例年、新任（新人）薬剤師としての基礎知識を効率よく習得いただく目的で開催しており、令和6年度は、「医薬品情報業務について」をテーマに、薬事情報委員会の石井秀典氏にご講義いただいた。また、「薬歴の書き方について」を医療保険委員会の喜屋武芳美氏、「疑義照会について」を、学術研修委員会副委員長の中尾滋久氏にご講義いただいた。

講義後は、本会6部会による活動内容の紹介が行われた。

学校薬剤師部会について：学校薬剤師部会部会長	新垣紀子氏
女性薬剤師部会について：女性薬剤師部会	高木英子氏
病院薬剤師部会について：学術研修委員会委員長	潮平英郎氏
行政薬剤師部会について：行政薬剤師部会	宮城隼人氏
九州厚生局沖縄麻薬取締支所 調査総務室長 松本靖広氏	
卸勤務薬剤師部会について：卸勤務薬剤師部会代理理事	鈴鹿玲子氏
青年薬剤師部会について：青年薬剤師部会部会長	喜友名朝史氏

本研修会は新任・新人の方に限らず実務経験を持つ薬剤師においても有用な内容になっており、次年度以降も会員に広く案内を行っていききたい。

(2) 令和6年度沖縄県薬剤師研修協議会主催講演会

ア 第1回

令和6年8月9日、県薬剤師会館およびWEBにて開催し、「より良い医療連携のためのフィジカルアセスメント」の演題で、藤田医科大学連携地域医療学助教、豊田地域医療センター総合診療科在宅医療支援センター長の近藤敬太氏にご講演いただいた。67名（現地5名、Web62名）の参加があった。

在宅医療の現場で薬剤師が実践できるフィジカルアセスメントをテーマに、演習を含めた実践的な講演会であった。

イ 第2回

令和6年11月16日、県薬剤師会館およびWEBにて開催し、「日本における東洋医学の現状」の演題で、真央クリニック附属鍼灸室室長、長湯鍼灸院院長の成田響太氏にご講演いただいた。

72名（現地11名、Web61名）の参加があった。

漢方薬の活用の現状や、鍼灸に関する実演を交えた講義内容に参加者からも大変好評であった。

(3) 研究倫理に関する研修会

薬剤師が活動する分野の研究において、研究計画の段階から必要な情報や、資料作成および発表時の注意点等を含めた基礎的な講義を通し、会員の研究活動を促すことを目的に、令和6年8月29日に本会館およびWEBにて開催した。

「研究したい」と思った時に思い出してほしいこと」の演題で、学術研修委員会副委員長の

中尾滋久氏にご講義いただき、31名（現地4名、Web27名）の参加があった。

(4) 第37回沖縄県薬剤師会学術大会

令和6年11月24日、「薬剤師がもたらすイノベーション」をテーマに県薬剤師会館およびWEBにて開催した。164名（現地107名、Web57名）の参加があった。

春田崇彰大会実行委員が司会を務め、一般演題では保険薬局・その他部門から10演題、病院・診療所部門から8演題の計18演題の発表が行われた。

サンド株式会社共催によるランチョンセミナーでは、「AI活用時代のバイオシミラーの選び方～患者・医療従事者を笑顔にできるか?～」の演題で、社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会中津病院薬剤部長の萱野勇一郎氏にご講演いただいた。医療DX、AI技術の活用が広がる中、薬剤師はバイオシミラーを正しく選択し導入することができるのか、講義の中ではオンラインアンケートが行われ、現地受講者だけでなくWeb受講者も交えた講義に大きく関心が寄せられた。

特別講演では、「薬局薬剤師の研究と研究倫理」の演題で有限会社 宮崎薬局の宮崎長一郎氏にご講演いただいた。講師の宮崎氏は、長崎県薬剤師会会長や日本薬剤師会副会長を歴任されており、研究倫理のみに留まらず、薬剤師倫理にまで展開した大変貴重なご講義を賜った。

本大会は、機器展示及び広告等の計12社のご協賛により盛会のうちに無事幕を閉じることができた。

大会の終了後に行われた懇親会では、演題発表認定証授与式ならびに奨励賞授与式が執り行われ、保険薬局・その他部門からは、「医療的ケア児訪問薬剤症例報告～1症例への取り組み～」を発表した、ぎのわん健康支援センター うちどまり薬局の早川美沙氏が受賞した。病院・診療所部門からは、「直接作用型経口抗凝固薬における出血及び塞栓リスクの要因調査」を発表した、中部徳洲会病院 薬剤部の阿部多嘉浩氏が受賞した。

4 医療安全対策

(1) 医療安全講習会

日時：令和7年2月21日（金）19：30～21：00 会場：沖縄県薬剤師会会館ホール

参加：158名（会場20名、Web138名）

① 「沖縄県内企業を取り巻くサイバー犯罪の状況について」

講師：沖縄県警本部生活安全部 セキュリティー対策課 石川翔太

② 「医療情報システムの安全管理に関するガイドラインから考える

システムを用いた情報セキュリティ対策」 講師：Sky株式会社 緒方真理子

③ 「サイバー保険のご案内」 講師：損保ジャパン株式会社 山城新之助

(2) DEM（薬剤イベントモニタリング）事業

調査期間：令和7年2月1日（土）～2月28日（金）

(3) 高度管理医療機器販売等に係る継続研修会

医療機器販売等の営業所管理者・医療機器修理業の責任技術者に対する継続研修

受講期間：令和6年12月1日（日）～12月7日（土） Web開催

受講者数：262名

5 医療保険

令和6年度調剤報酬・介護報酬改定説明会は、令和6年5月1日から5月31日までYouTubeの

限定配信で本会ホームページにて公開した。同期間における視聴回数は1,935回であった。

令和6年度に実施された指導は、九州厚生局による新規個別指導30件、個別指導8件、集団の個別指導44件、集団指導（新規指定）22件、集団指導（新規登録）71名、集団指導（更新時）52件であった。

掲示物関連では、「薬局内掲示物・薬局で使える資材一覧」に分け、本会ホームページのトップページから容易にアクセスできるように改善した。

また、令和5年度に寄せられた調剤報酬Q&Aをホームページへ掲載し、会員へ周知した。

6 保健福祉

(1) 健康とおくすり相談会等の薬剤師の地域貢献に関する事業

健康測定機器を活用した健康とおくすり相談会を以下のとおり実施した。

- ・令和6年6月13日(木) 琉球新報社3階ホワイエ 相談員9名、参加者数52名
- ・令和6年10月20日(日) 沖縄県薬剤師会館2階 相談員23名、参加者数35名
- ・令和6年11月7日(木) 琉球新報社3階ホワイエ 相談員10名、参加者数35名
- ・令和6年11月17日(日) 沖縄コンベンションセンター 相談員17名、参加者数70名
- ・令和7年2月9日(日) 沖縄県医師会館2階 相談員16名、参加者数183名

(2) 自殺予防・対策事業

平成10年に3万人を超えた全国の自殺者も平成18年には自殺対策基本法が制定され様々な事業が全国で展開される中、平成23年には14年ぶりに3万人を切った。その後、令和元年まで20,169人と減少していたが、コロナ禍に増加し、令和6年は20,268名で横ばいとなっている。

これらのことから沖縄県自殺対策連絡協議会は、関係機関と連携し自殺対策に取り組むことになっている。

本会では、令和6年度も「気づき」「傾聴」「つなぐ」「見守る」ことを修得し、薬剤師としてのスキルアップを目的に、令和7年3月6日に沖縄県地域保健課精神保健班の酒向摩貴子氏、医療法人卯の会 新垣病院理事長の新垣元氏を講師に招き、ゲートキーパースキルアップ研修会を開催した。参加者は64名（現地6名、Zoom58名）であった。

最後に、例年のように9月と3月に国や県が制作した啓発ポスターを会員薬局に配付し、自殺予防広報を行った。

(3) 薬剤師認知症対応力向上研修

平成28年度から沖縄県の委託事業として行っている。令和5年度にカリキュラムが変更となり、令和6年度はテキストが刷新された。研修会は令和6年11月10日に現地とZoomのハイブリッドにて開催した。

「かかりつけ薬剤師の役割」と「薬局業務における実践」は保健福祉委員会の中尾滋久氏、「基本編」はハートライフ病院医師の仲村義一氏（認知症サポート医）、「地域・生活における実践」は沖縄県地域包括ケア推進課地域包括ケア推進班の石川直希氏が講義を行った。参加者は52名（現地9名、Zoom43名）であった。本研修会は延べ753名の薬剤師が研修し、修了者には沖縄県より修了証が発行されている。

(4) 禁煙事業について

本会、全国健康保険協会沖縄支部、沖縄県保健医療福祉事業団の3団体により、全国健康保険協会沖縄支部に加入する「うちなー健康経営宣言事業所」の被保険者で禁煙を希望する従業員を対象に事業所で取り組む禁煙サポート事業を実施した。令和6年度は、31薬局が支援薬局

として登録され、52社の事業所から181名の従業員が参加した。この取り組みにより69名（40.8%）の従業員が禁煙に成功した。同事業の取組については、第83回九州山口薬学大会（令和6年10月13日、14日）にてポスター発表を行い、第37回沖縄県薬剤師会学術大会（令和6年11月24日）では口頭発表を行った。

(5) 地域ケア会議

平成30年度より全面実施の運びとなっている地域包括ケアに基づいた地域ケア会議において、薬剤師は“専門職アドバイザー、助言者”として参加が要請される。

沖縄県内における専門職アドバイザーの養成のための講習会は、沖縄県理学療法士協会が県より委託を受けた事業を行っており、本会は当初よりこの協力団体の一つとなっている。令和6年度もこれらの事業の研修会（多職種コンソーシアム実践研修会：令和7年1月12日開催）に助言者及び副助言者を派遣した。同研修会は、一昨年度より中央型から地域型へと変革されており、地域の市町村から委託を受けた各団体が出向き、活動する方向性となっている。

(6) 緊急避妊薬関連

予期せぬ妊娠を防ぎたい女性が安心・適切に緊急避妊薬にアクセスできる体制を構築するためオンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会を令和6年4月7日と8月4日にハイブリッド形式で開催した。参加者は計143名（現地15名、Web128名）であった。これにより、厚生労働省のウェブサイト緊急避妊薬の在庫を備蓄し、対応が可能な薬局として113薬局、222名の薬剤師が掲載されている。

また、緊急避妊薬のスイッチOTC化の課題への対応策の選択・採否にあたり、一部の薬局での試験的運用を通じて、より多くのデータ・情報の集積が望ましいとされ、日本薬剤師会が厚生労働省からの委託を受け、緊急避妊薬販売に係る環境整備のための調査研究事業が全国339薬局で開始された。沖縄県では、那覇市内2薬局、浦添市1薬局、沖縄市1薬局、北中城村1薬局、うるま市1薬局の計6薬局で事業を実施しており、令和6年4月1日から令和7年3月末まで331個の販売実績があった。同事業は令和7年度も継続であり、令和8年3月末まで実施される。

(7) くすりと健康フェア

令和6年度の薬と健康の週間は、令和6年10月17日（木）から10月18日（金）まで那覇市保健所内にてパネル展示を行い、令和6年10月20日（日）には、沖縄県薬剤師会館ホールにて、くすりと健康フェアを実施した。同フェアでは、初めに開会セレモニーとして比嘉奈緒子沖縄県保健医療介護部保健衛生統括監、阿部義則沖縄県薬剤師会専務理事による主催者挨拶に始まり、各種表彰式を実施した。

開会セレモニー終了後には、県民公開講座として沖縄大学学長で医師の山代寛先生に「そうだったのか健康長寿！～次世代の健康づくり、薬剤師に期待する役割～」として、約100名の県民へ向けにご講演いただいた。終了後には、同会場にて健康とおくすり相談会、こども調剤体験を実施した。健康とおくすり相談会には35名の来場者が訪れ、血圧測定、体成分測定、骨密度測定、動脈硬化測定を行い、最後にお薬相談コーナーにて薬剤師による測定結果などへの指導助言を行い終了した。こども調剤体験は、未就学児から高校生まで65名の来場があり、実際にこども用白衣を着用して薬剤師に関するクイズや調剤体験、投薬体験を実施し、薬剤師の職能を知ってもらうきっかけになったと考える。

さらに、薬学部がある3大学による薬学部進路相談ブースを設置し、薬学部に進学を希望している方も来場され、実際にどのような勉強をすればよいか等、各大学担当者と意見交換する

場も見受けられた。

昨年同様に同週間に係る動画を本会のYouTubeアカウントにて公開した。この動画を視聴することで、薬局・薬剤師の役割や活用方法、感染症に対する正しい消毒方法等を理解していただけたのではないかと考える。

このようなイベントを開催して、かかりつけ薬剤師・薬局、薬剤師職能をPRすることは県民の健康増進や薬剤師不足の解消に向けて大変意義があることであり、今後も沖縄県や関係団体と一緒に本事業を実施していきたい。

(8) 薬剤師のためのフィジカルアセスメント研修会

本研修会は、本会と沖縄県病院薬剤師会と共催で行っている事業である。受講生の人数構成は、病院薬剤師約20名に対し、保険薬局8名となっている。令和6年度の受講を終了した者が次年度以降のインストラクターとして講習の実施運営を引き継いでいく仕組みとなっている。

令和7年2月16日には、医師の教育にも実績豊富な群星沖縄臨床センター長で医師の徳田安春氏を招いて、在宅や病棟などの実際の臨床現場で起こりうる様々なケースを題材にした研修会を開催し、30名が参加した。

7 薬学生実務実習受入

実習生受け入れ15年目になるこの年は、13大学より1期18名、2期26名、3期5名、合計49名の実習受入を行った。大学の内訳は以下の通りである。福岡大学5名、第一薬科大学4名、長崎国際大学13名、国際医療福祉大学福岡薬学部4名、山口東京理科大学2名、武蔵野大学1名、広島国際大学5名、安田女子大学2名、崇城大学4名、九州保健福祉大学5名、岐阜大学1名、徳島文理大学2名、神戸学院大学1名。

認定実務実習指導薬剤師養成のための講座は、新規1回、更新2回開催し、認定実務実習指導薬剤師の養成のためのワークショップへは7名派遣した。

8 災害支援対応

令和6年4月3日に台湾付近で発生した地震により、沖縄本島地方および宮古島・八重山地方に津波警報が発令された。警報発令後、ただちにFAX一斉同報にて、自治体からの指示に従った行動をとるよう周知した。

昨年度に引き続き、沖縄県より「災害薬事コーディネーター養成研修会業務」を受託し、令和7年3月16日に沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修会を開催した。同研修会には、各地区薬剤師会、沖縄県病院薬剤師会、行政から計19名の薬剤師が参加し、災害時の医療救護活動に必要な専門知識やスキルの習得、ならびに能力の向上を図った。これにより、災害発生時には、迅速に県保健医療福祉調整本部および地域保健医療福祉調整本部へ災害薬事コーディネーターを派遣することが可能となり、適切な医療支援と医薬品提供体制の構築が期待される。現在30名の薬剤師が沖縄県災害薬事コーディネーターとして登録されている。

令和7年1月17日には、沖縄県および陸上自衛隊那覇駐屯地が主催する「美ら島レスキュー2024」に災害薬事コーディネーターを2名派遣し、沖縄本島南東沖地震3連動の発災直後から6時間後までを想定した訓練に参加した。

また、令和7年3月27日には、一次救命処置(BLS:Basic Life Support)の基本的な理論とスキルを習得する目的で、5年ぶりにBLS講習会を開催した。参加者は4名であった。

9 部会活動

(1) 学校薬剤師部会

- ア 令和6年度学校薬剤師部会新人研修会
令和6年4月21日 沖縄県薬剤師会館及びWeb 講師：池田武俊、知名博樹、上原卓郎
参加者54名（現地29名、Web25名）
- イ 令和6年度学校環境衛生・安全管理講習会
令和6年5月13日 沖縄県立総合教育センター 講師派遣：吉田将司
- ウ 第51回学校薬剤師部会総会
令和5年7月7日 沖縄県薬剤師会館及びWeb
- エ 令和6年度学校薬剤師部会主催研修会
令和5年7月7日 沖縄県薬剤師会館及びWeb
講師：日本スポーツ振興センター 福岡業務推進課 主任専門職 西田昌彦、新江祐貴
参加者42名（現地24名、Web18名）
- オ 令和6年度全国学校保健調査 WEB版
令和6年8月～11月
項目：「採光と照明」の定期検査の実施状況等
- カ 令和6年度第1回・第2回薬学実務実習生向け学校薬剤師説明会
(ア) 第1回 令和6年4月10日 沖縄県薬剤師会館 講師：知名博樹
(イ) 第2回 令和6年10月10日 沖縄県薬剤師会館 講師：知名博樹
- キ 令和6年度新任・新人薬剤師研修会 (WEB)
令和6年8月11日 沖縄県薬剤師会館 講師派遣：新垣紀子
- ク 第83回九州山口薬学大会（かごしま県民交流センター）
令和6年10月13日・14日 学校薬剤師協議会運営委員会 出席者：新垣紀子、知名博樹
- ケ 令和6年度第74回全国学校薬剤師大会（ニューウェルシー宮崎）
令和6年11月7日 出席者：新垣紀子、知名博樹、久手堅奈央
- コ 令和6年度学校環境衛生・薬事衛生研究協議大会（宮崎市）
令和6年11月7日・8日 出席者：新垣紀子、知名博樹、久手堅奈央
- サ 第37回沖縄県薬剤師会学術大会（学校薬剤師部門）
令和6年11月24日 演題発表者：鍛冶礼子
- シ 学校薬剤師部会伝達講習会
令和6年12月22日
講師：上原卓郎、松本靖広九州厚生局沖縄麻薬取締支所調査総務室室長
- ス 沖縄県教育委員会保健体育課表敬訪問
令和7年1月10日 沖縄県庁
- セ 令和6年度学校薬剤師部会九州ブロック連絡会議
令和7年2月8日 長崎県サンプリエール
出席者：新垣紀子、知名博樹
- ソ 令和6年度学校薬剤師部会役員会及び支部長会の開催
(ア) 第1回学校薬剤師部会役員会 令和6年4月21日（日）10名参加
(イ) 第2回学校薬剤師部会役員会 令和6年5月19日（日）7名参加
(ウ) 第3回学校薬剤師部会役員会 令和6年6月 メール会議

(エ) 第4回学校薬剤師部会役員会及び第1回学校薬剤師支部長会

令和6年7月7日(日) 10名参加

- (オ) 第5回学校薬剤師部会役員会 令和6年8月 メール開催
- (カ) 第6回学校薬剤師部会役員会 令和6年9月29日(日) 4名参加
- (キ) 第7回学校薬剤師部会役員会 令和6年10月6日(水) 3名参加
- (ク) 第8回学校薬剤師部会役員会 令和6年11月17日(日) 4名参加
- (ケ) 第9回学校薬剤師部会役員会 令和6年12月22日(日) 7名参加
- (コ) 第10回学校薬剤師部会役員会 令和7年1月13日(土) 3名参加
- (サ) 第11回学校薬剤師部会役員会 令和7年2月16日(日) 7名参加
- (シ) 第12回学校薬剤師部会役員会 令和7年3月23日(日) 3名参加

(2) 女性薬剤師部会

ア 女性薬剤師部会総会

令和6年6月2日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 11名

イ 胎児期から始める習慣病の予防

令和6年6月2日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 35名

講師: 元・沖縄県立南部医療センター・こども医療センター院長 安次嶺馨

ウ アトピー性皮膚炎・食物アレルギーの予防と管理におけるスキンケア

令和6年10月22日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 60名

講師: 社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院小児科部長 崎原徹裕

エ 服薬指導に役立つ漢方の知識 ～消化器編～

令和6年10月27日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 36名

講師: 那覇市立病院 外科 友利寛文

オ 女性を支えるヘルスケア～妊娠を望む女性が高齢化することの問題点～

令和6年12月1日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 38名

講師: 琉球大学病院周産母子センター 銘苺桂子

カ 薬剤師継続学習通信教育講座スクーリング

令和7年2月9日(日) 沖縄県薬剤師会館ホール 参加者: 15名

「心不全～治療薬の進化を理解し、自信を持って患者対応～」

講師: 琉球大学病院第三内科 循環器 永田春乃

「アトピー性皮膚炎の病態と新しい治療薬」

講師: 美里ヒフ科 院長 平良清人

「高齢者糖尿病」

講師: 大浜第一病院 副院長・内科部長糖尿病・内分泌センター長 高橋 隆

「大腸がん～早期発見が大事～」

講師: 浦添総合病院 下部消化器外科部長佐村博範

キ 那覇市乳幼児健診でのおくすり相談 場所: 那覇市ともかぜ振興会

令和6年4月14日、5月19日、6月9日、7月21日、8月4日、9月8日

10月20日、11月10日、12月8日

令和7年1月19日、3月2日

時間: 午前9:00～12:00 午後13:00～16:00 のべ参加者: 44名

ク 浦添市乳幼児健診でのおくすり相談 場所: 浦添市保健相談センター

令和6年4月21日、5月19日、6月16日、7月21日、8月25日、9月22日
10月13日、11月24日、12月22日

令和7年1月26日、3月9日

時間：午前9：00～12：30 のべ参加者：22名

ケ 役員会

令和6年5月7日、6月2日、6月26日、8月26日、10月2日、12月1日

令和7年1月22日、2月13日

コ その他

緊急避妊薬販売に係るモデル的調査研究に関する説明会 草壁瑞恵

令和5年7月31日 沖縄県薬剤師会館ホール

新任・新人薬剤師研修会 女性薬剤師部会の紹介 高木英子

令和5年8月13日 沖縄県薬剤師会館ホール

日本女性薬剤師連盟JPLフォーラム 令和7年2月9日 与儀和子 参加

ミニ薬草園の手入れ 与儀和子

身近な薬草を知ろう おきなわ薬剤師会報の執筆 狩俣イソ

(3) 青年薬剤師部会

ア 令和6年度青年薬剤師部会役員会

(ア) 第1回：令和6年6月12日(水) 沖縄県薬剤師会館

(イ) 第2回：令和7年2月5日(水) 沖縄県薬剤師会館

イ 第19回青年薬剤師部会総会・特別講演会

令和6年8月30日(金) 沖縄県薬剤師会館

講師：南部医療センター・こども医療センター 感染管理認定看護師 富山 辰徳

ウ 令和6年度青年薬剤師部会主催入会促進バーベキュー

令和6年9月8日(日) 波の上うみそら公園 参加者43名

エ 令和6年度九州山口若手薬剤師協議会

令和6年10月12日(土) 参加者 喜友名朝史、石井秀典

(4) 病院診療所薬剤師部会

ア 沖縄県病院薬剤師会 第53回 通常総会

令和6年6月1日(土) 18:00～19:30 ハイブリッド開催

【セッション①】18:00-18:45

「循環器・臨床薬理専門医が考える配合錠の使いどころ
～ポリファーマシー対策への取り組みの経験から～」

座長：医療法人おもと会 大浜第一病院 薬剤科 科長 姫野 耕一

演者：琉球大学大学院 医学研究科 臨床薬理学講座 准教授 徳重 明央

【セッション②】19:00-20:00

「キャリア形成の多様性と臨床疫学研究」

座長：琉球大学病院 薬剤部 教授・薬剤部長 中村 克徳

演者：佐賀大学医学部附属病院 薬剤部 教授・部長 島ノ江 千里

イ 沖縄県薬剤師会 令和6年度新任・新人薬剤師研修会

令和6年7月21日(日) 13:00～17:20 ハイブリッド開催

・病院薬剤師部会について 琉球大学病院 薬剤部 潮平 英郎

- ウ 第37回沖縄県薬剤師会学術大会
令和6年11月24日（日）10:30～17:00 ハイブリッド開催
会員発表（病院薬剤師関連部門）：7演題

(5) 卸勤務薬剤師部会

- ア 学会等参加
 - (ア) 令和6年4月19日 日本医薬品卸勤務薬剤師会研修会
WEB「医療DXビジョンと薬剤師の業務について」「災害時の感染症対策」
 - (イ) 令和6年5月24日 日本医薬品卸勤務薬剤師会九州ブロック総会・協議会
 - (ウ) 令和6年6月7日 日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部理事会・総会
 - (エ) 令和6年8月27日 日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部研修会
「災害に関する研修会」
 - (オ) 令和6年11月24日 沖縄県薬剤師会学術大会（沖縄県）
 - (カ) 令和6年12月19日 日本医薬品卸勤務薬剤師会研修会（WEB）
「医薬品供給状況と卸への期待について」「これからの薬剤師・薬局」
「薬事を巡る最近の動向について」
 - (キ) 令和7年1月24日 日本医薬品卸勤務薬剤師会 2024年度 フォーラム
「保冷品の適正管理・取り扱いについて」
「卸勤務薬剤師のコミュニケーションスキル
～思考回路を開いてコミュニケーションスキルを高める～」
- イ 継続研修会
令和7年2月6日 日本医薬品卸勤務薬剤師会沖縄県支部 「ワクチンについて」
- ウ 抗インフルエンザ・衛生資器材 在庫報告5社
- エ 実務実習薬学生受入 4社46名
- オ 委員会への参加 理事 災害対策、学術研修、薬事情報 など

(6) 行政薬剤師部会

- ア 令和6年5月10日 沖縄県薬剤師会入会促進説明会・懇親会
- イ 令和7年1月10日 沖縄県行政薬剤師部会総会
- ウ 令和7年3月14日 行政薬剤師部会連絡会・懇親会

10 その他関連事業

- (1) 「薬と健康の週間」事業
- (2) 各種関連協議会への参加協力
- (3) 関連機関団体との協議及び懇談
- (4) 関係行政当局との定期的連絡協議会
- (5) おきなわ薬剤師会報の発行
- (6) 薬剤師求人求職斡旋事業・薬剤師確保対策事業
- (7) 日本薬剤師会賠償責任保険・個人情報漏えい保険等の加入促進
- (8) 公共関連機関団体等への寄附
 - ・日本薬剤師会 令和6年能登半島地震義援金
 - ・沖縄県薬剤師会 令和6年能登半島地震義援金
 - ・沖縄県交通遺児育成会募金 など

(9) 国・沖縄県関係事業

ア 受託事業

- ・厚生労働省薬剤交付支援事業
- ・沖縄県薬剤師奨学金返還助成制度委託事業
- ・沖縄県薬剤師認知症対応力向上研修事業
- ・「薬と健康の週間」運営等業務委託
- ・令和6年度沖縄県国保ヘルスアップ支援事業（適正服薬等推進事業）
- ・令和6年度沖縄県登録販売者試験運営等業務委託

イ 補助事業（沖縄県地域医療介護総合確保基金）

- ・薬剤師確保対策事業
- ・訪問薬剤管理指導推進事業
- ・認定薬剤師育成支援事業
- ・救急医療対応薬局体制確保事業

お知らせ

Facebookをご覧下さい！



下記アドレスより、お待ちしております。ホームページからも閲覧できます。

<https://www.facebook.com/okinawaopa>

令和6年度 試験検査センター事業報告

I 医薬品検査について

1 計画的試験

* 令和6年度の計画的試験検査については、試験検査センター委員会の了承を得て、
 (1) ウルソデオキシコール酸錠の定量試験、(2) 漢方薬の細菌試験を実施した。
 検体の提出は135検体であった。

また、漢方薬の細菌試験については第18改正日本薬局方「参考情報」を結果判定の参考とした。

検査対象	検査項目	検体数
ウルソデオキシコール酸錠	定量試験	85
漢方薬	細菌試験	50
		135

2 令和6年度登録試験検査機関技能試験（厚生労働省）

* 国立医薬品食品研究所より検体及び試験法が配布され、下記の試験を行った。
 *ベラパミル塩酸塩錠の定量試験、確認試験

令和7年3月3日提出

3 令和6年度医薬品精度管理試験（日薬）

* 日薬より試験実施要領及び検体がが配布された後、下記の試験を行った。
 *クロルフェニラミンマレイン酸塩錠の定量試験

令和7年3月21日提出

4 依頼医薬品・化粧品検査

* 主に、化粧品の細菌検査及び医薬品の規格試験等の依頼を受けた。

	検査数	検査料金
依頼	7	95,700

II 水質検査について

1 学校関係水質検査

* 学校関係の水質検査は以下のとおりである。

県立学校及び市町村立学校の水質検査、また、琉球大学附属小学校・中学校等の水質検査を行った。

	検査数		検査料金
	飲料水	プール水	
県立学校	78	105	1,629,870
市町村 など	446	339	9,045,025
計	524	444	10,674,895

2 依頼水質検査

* 公立学校からの個別依頼、こども園などの検査を行っている。

	検査数	検査料金
一般依頼	147	1,729,200

III 空気環境検査について

1 ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の検査

* 県立学校及び那覇市 等より空気環境検査の委託を受けた。また、新たにうるま市から委託を受けた。検体を取りまとめ財団法人東京顕微鏡院へ分析を依頼した。

	検査数	検査料金
県立学校	83	1,095,600
市町村 など	315	5,269,660
計	398	6,365,260

ただし、東京顕微鏡院への外注費は、3,973,200円。

2 ダニ又はダニアレルゲン検査

* 県立学校、浦添市及び宮古島市 等より委託を受け、検査を行っている。今年度より新たにうるま市から委託を受けた。

	検査数	検査料金
県立学校	234	652,080
市町村 など	989	2,449,370
計	1223	3,101,450

IV 問い合わせへの対応

○ 学校環境衛生や医薬品等の検査に関する問い合わせについて、資料提供を行った。

1) 水不足によるプールの使用状況について

2) プールでの日焼け止めの使用について

3) こども園の騒音検査 など 66 件

V 試験検査センター委員会

日時 令和6年12月19日

場所 沖縄県薬剤師会 会議室

1 報告事項

(1) 令和6年度中間報告（医薬品検査・水質検査等）

(2) 九州山口大会 試験検査センター運営連絡協議会の報告

(3) 薬事衛生連絡協議会・技術研修会の報告

(4) 沖縄県薬剤師会学術大会での発表報告

(5) GCMSの購入について

(6) 会報への寄稿について

2 議題

- (1) 計画的試験の項目選定について
- (2) 令和7年度試験検査センター事業計画(案)について

3 その他

天びん及び溶出試験器について

VI 研修

1 日薬 薬事衛生連絡協議会・技術研修会

講習日 令和6年12月12日

講習会場 クーポール会館（静岡県）

出席者 小泉 宝之

～研修内容～

- 1 健康食品等に関する消費生活相談や商品テスト事例等
- 2 機能性表示食品の今後について
- 3 薬事衛生委員会報告
 - ・医薬品精度管理試験について、委員会事業について

令和6年度薬事情報センター事業報告

1 情報提供業務

- (1) 質疑応答業務（集計内容の詳細は別紙参照）
 - ア 調査件数：589件／年（医療関係者208、医療関係者以外381）49件／月
 - イ 質問者数：420人／年（医療関係者177、医療関係者以外243）35人／月
- (2) WEB サイト（ホームページ）による情報提供
- (3) 会報「薬事情報おきなわ」の編集・発行（隔月刊）No. 279～No. 283を発行

2 情報収集業務

- (1) 新規図書総数：42冊
- (2) 購読雑誌：17誌
- (3) 各都道府県薬剤師会機関誌：37誌
- (4) 業界新聞：4紙（薬事日報、薬局新聞、薬事ニュース、国保新聞）
- (5) メーカー・卸機関誌
- (6) 厚生労働省および日薬からの各種情報・通知
- (7) 製薬企業からの情報
- (8) 医療安全関連：医療安全レポート（医療安全全国共同行動）、薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業「共有すべき事例」（日本医療機能評価機構）

3 情報管理業務

- (1) 沖縄県薬剤師会薬事情報センター質疑応答データベース（ファイルメーカー Pro）
- (2) 日薬と共同作成のデータベース（文献書誌情報検索システム：Bunsaku）
担当雑誌（「新薬と臨床」「総合診療」「臨床薬理」「産科と婦人科」「沖縄県薬剤師会報」）

4 会議及び研修会

- (1) 令和6年度 薬事情報センター委員会
日時：令和6年8月22日（月）（県薬・Zoom）
- (2) 第37回 沖縄県薬剤師会学術大会
日時：令和6年11月23日（日）
「新型コロナウイルスワクチン専門相談センター運営と課題について」発表者：白坂亮
- (3) 令和6年度 都道府県薬剤師会薬事情報センター実務担当者等研修会（Web）
日時：令和7年3月13日（木）

5 アンチ・ドーピング関連

- (1) 令和6年度国民スポーツ大会に向けたアンチ・ドーピング情報提供会（日本スポーツ協会）
日時：令和6年6月17日（月）（web 開催）
- (2) 第80回 国民体育大会関連会議（沖縄県スポーツ協会）
アンチ・ドーピング研修会「アンチ・ドーピングに係わる留意点等について」
ア 令和6年度第44回 国民体育大会九州ブロック大会前期競技監督会議（夏季大会）
日時：令和6年6月28日（金）（講師 笠原大吾）於：沖縄県体協スポーツ会館
イ 令和6年度第44回 国民体育大会九州ブロック大会後期競技監督会議（秋季大会）
日時：令和6年8月2日（金）（講師 笠原大吾）於：沖縄県体協スポーツ会館
ウ 特別国民体育大会ドクターズミーティング
日時：ライブ配信：令和6年9月8日（日）
- (3) 令和6年度 第1回 スポーツ医・科学委員会（於：沖縄県体協スポーツ会館）
日時：令和6年7月9日（火）
- (4) 特別国民体育大会ドクターズミーティング
日時：ライブ配信：令和6年9月8日（日）
- (5) 令和6年度 都道府県薬剤師会アンチ・ドーピング活動担当者講習会（日本薬剤師会）
日時：令和6年12月9日（月）（web 開催）
- (6) 令和6年度 サポートプログラム補助対象団体調整会議（沖縄県スポーツ協会）
日時：令和7年2月20日（木）（web 開催）
- (7) 令和6年度 第2回 スポーツ医・科学委員会（於：沖縄県体協スポーツ会館）
日時：令和7年3月21日（金）

6 執筆

- (1) 沖縄県難病支援センター「アンビシャス」（月1回）
*令和6年12月より宮里威一郎（会営とよみ）、白坂亮（会営うえはら）が担当
令和6年4月：緑内障と併用薬
5月：健康食品（サプリメント）について

- 6月：期限切れのアルコール消毒液はどうしていますか？
- 7月：認知症の薬の効果はいつ現れるの？
- 8月：「カフェイン」の摂取について
- 9月：漢方薬にも副作用ってあるの？
- 10月：乳児ボツリヌス症について
- 11月：薬と車の運転
- 12月：「食後」って何分後までOK ですか？

令和7年1月：薬剤師をもっと身近に

2月：抗生物質は治ったら止めて良い？

3月：お薬手帳は自分だけの体調管理ツール

- (2) 那覇市医師会報春季号（第52巻第4号）寄稿
「オーバードーズについて」（吉田典子）

7 沖縄県委託業務

沖縄県国保ヘルスアップ支援事業（適正服薬等推進事業）

令和6年6月1日～令和7年3月31日（月）

<内容>

- (1) 研修会開催（対象：保健師、ケアマネージャーなど地域支援に係る市町村職員）
 - ・第1回 日時：令和6年9月25日（水）場所：自治会館ホール
「医療機関における重複・多剤服用者の現状、保健指導を行う際の向き合い方、アプローチの仕方等について」講師：医療法人卯の会 新垣病院 理事長 新垣元
 - ・第2回 日時：令和6年12月16日（月）場所：沖縄県医師会館 3Fホール
「市町村による事例発表」発表：那覇市、北中城村
「在宅患者におけるポリファーマシーの課題と対策」講師：喜友名朝史
- (2) 適正服薬等に係る相談支援業務
相談件数：60件、相談のあった市町村：延べ21件
- (3) 適正服薬等に関するパンフレット等の作成・配布（41市町村）
 - ・適正服薬普及啓発用チラシ「おくすりきちんと飲めてますか？」20,000部
 - ・適正服薬指導用リーフレット「重複服薬、多剤服薬を見直しましょう！」5,000部
- (4) 適正服薬事業を実施している市町村の事例集の作成・配布

8 その他

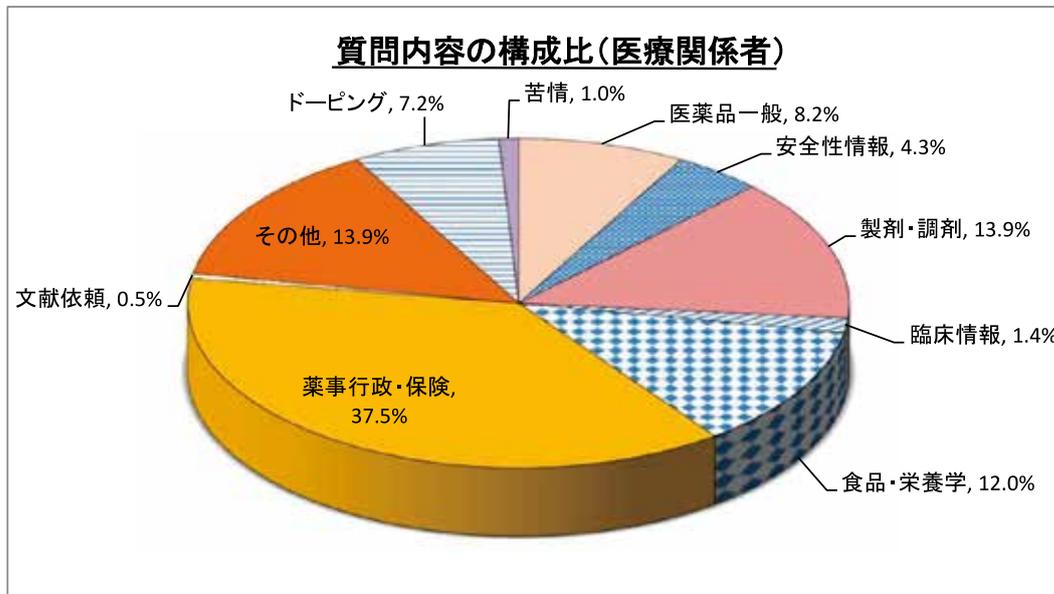
- (1) DI 業務支援 平良恭子：（令和6年4月1日～令和7年3月 半日／週）
白坂亮：（令和7年1月～令和7年3月 週4日）
- (2) 令和6年度文化芸術講座
ろう者を対象とした薬剤師によるお薬講座（主催：沖縄県・那覇市）
「知っておきたい薬の話」講師：吉田典子
日時：令和6年7月19日（金）
場所：沖縄県総合福祉センター

2024年度(令和6年度):調査件数集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	(%)
薬剤識別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
医薬品一般	2	3	0	1	1	5	0	1	0	1	0	3	17	8.2%
安全性情報	1	2	0	1	0	1	1	0	1	0	1	1	9	4.3%
製剤・調剤	9	2	8	2	0	2	1	1	0	2	1	1	29	13.9%
臨床情報	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1.4%
漢方薬・民間療法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
消毒・予防	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
食品・栄養学	0	0	0	1	0	0	0	20	4	0	0	0	25	12.0%
薬事行政・保険	4	14	7	2	4	3	3	17	10	4	5	5	78	37.5%
文献依頼	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.5%
その他	1	2	6	2	1	1	5	2	0	4	3	2	29	13.9%
ドーピング	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	6	4	15	7.2%
苦情	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1.0%
合計	19	25	21	10	6	17	10	41	15	11	16	17	208	100.0%

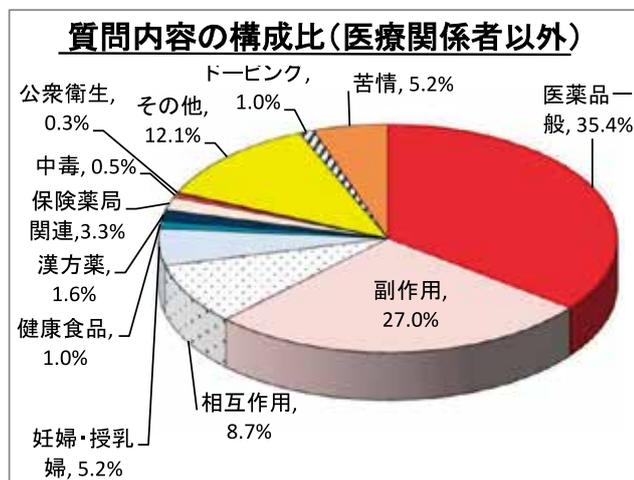
医療関係者以外	21	56	29	39	37	34	38	23	35	28	20	21	381
---------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

2024年度：年間総調査件数 589 件
 2024年度：月平均調査件数 49 件



医療関係者以外からの質問の内訳

	合計	(%)
医薬品一般	135	35.4%
副作用	103	27.0%
相互作用	33	8.7%
妊婦・授乳婦	20	5.2%
健康食品	4	1.0%
漢方薬	6	1.6%
保険薬局関連	7	1.8%
中毒	2	0.5%
公衆衛生	1	0.3%
その他	46	12.1%
ドーピング	4	1.0%
苦情	20	5.2%
合計	381	100.0%



第92回総会

<議案第1号 令和6年度収支決算書の件>

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
特定資産運用益	92,159	1,599	90,560
特定資産受取利息	92,159	1,599	90,560
受取入金会金	930,000	1,130,000	△200,000
受取入金会費	930,000	1,130,000	△200,000
受取会費	108,747,402	106,338,276	2,409,126
正会員受取会費	55,718,070	55,858,900	△140,830
賛助会員受取会費	52,799,332	50,199,376	2,599,956
特別会員会費	230,000	280,000	△50,000
事業収益	1,919,138,347	2,312,795,876	△393,657,529
出版物事業収益	4,255,571	3,644,851	610,720
広告料事業収益	450,000	430,000	20,000
その他事業収益	19,384,330	26,890,583	△7,506,253
調剤報酬収入	1,703,807,528	2,074,571,701	△370,764,173
一部負担金収入	136,222,784	154,755,663	△18,532,879
小分治療剤収入	15,341,419	7,759,578	7,581,841
保険外	10,399,293	16,341,894	△5,942,601
受取手数料	4,759,345	5,365,436	△606,091
保険等調整増減	512,442	△576,489	1,088,931
新規契約賦課金	0	0	0
利用契約金	2,030,000	2,090,000	△60,000
医薬品検査手数料	0	317,000	△317,000
水質検査手数料	11,894,245	13,137,795	△1,243,550
空気検査手数料	10,059,940	8,053,214	2,006,726
衛生検査手数料	21,450	14,650	6,800
受取補助金等	7,460,722	9,633,857	△2,173,135
受取国庫補助金	887,000	4,633,780	△3,746,780
受取地方公共団体補助金	5,525,000	4,267,000	1,258,000
受取民間助成金	0	0	0
受取補助金等振替額	1,048,722	733,077	315,645
受取寄付金	365,207	280,207	85,000
寄付金収入	100,000	15,000	85,000
寄付金等振替額	265,207	265,207	0
貸倒引当金戻入益	2,950,000	60,000	2,890,000
雑収	4,892,469	4,787,402	105,067
受取利息	169,201	2,815	166,386
雑収	1,209,837	803,916	405,921
事務受託金収益	3,513,431	3,980,671	△467,240
経常収益計	2,044,576,306	2,435,027,217	△390,450,911

科目		当年度	前年度	増減						
(2)経常費用										
事	業	費	1,996,763,493	2,361,089,919	△364,326,426					
期	首	棚卸	高	51,692,652	72,296,991	△20,604,339				
仕		入	高	1,662,070,262	2,008,906,519	△346,836,257				
期	末	棚卸	高	△33,384,850	△52,987,417	19,602,567				
役	員	報	酬	6,010,000	5,930,000	80,000				
給	料	手	当	90,647,670	106,389,472	△15,741,802				
雑			給	57,387,287	58,895,692	△1,508,405				
賞			与	12,162,850	15,120,100	△2,957,250				
退	職	給	付	費	3,411,543	2,753,481	658,062			
法	定	福	利	費	22,633,667	25,473,997	△2,840,330			
福	利	厚	生	費	852,763	899,738	△46,975			
会		議		費	1,768,692	1,201,853	566,839			
旅	費	交	通	費	13,799,676	14,462,026	△662,350			
通	信	運	搬	費	7,104,930	6,397,351	707,579			
減	価	償	却	費	10,137,363	9,394,541	742,822			
消	耗	品		費	8,030,694	6,966,043	1,064,651			
修		繕		費	1,299,745	287,496	1,012,249			
研		修		費	21,500	10,500	11,000			
出	版	物	印	刷	費	7,707,449	6,076,283	1,631,166		
地	代		家		賃	15,605,171	19,492,686	△3,887,515		
光	熱	水	料	費	7,133,948	6,446,892	687,056			
賃		借		料	3,758,933	3,672,722	86,211			
広		報		費	4,587,198	4,676,695	△89,497			
保		險		料	1,195,998	1,241,032	△45,034			
諸		謝		金	1,118,685	1,061,159	57,526			
租	税		公	課	3,281,833	3,230,701	51,132			
支	払	負	担	金	1,633,320	3,594,480	△1,961,160			
支	払	補	助	金	6,000,000	6,000,000	0			
支	払	寄	附	金	80,000	80,330	△330			
外		注		費	3,986,400	3,517,800	468,600			
支	払	手	数	料	14,632,551	8,822,021	5,810,530			
交		際		費	346,468	81,195	265,273			
管	理	維	持	費	6,984,232	7,024,030	△39,798			
新	聞	図	書	費	742,852	1,315,615	△572,763			
貸	倒	引	当	金	繰	入	費	0	560,000	△560,000
雑				費	1,380	0	1,380			
支	払		利	息	435,173	503,130	△67,957			
商	品	廃	棄	損	1,711,928	1,294,765	417,163			
雑		損		失	173,530	0	173,530			
管	理			費	45,849,631	45,037,433	812,198			
役	員	報	酬	当	2,230,000	2,280,000	△50,000			
給	料	手		10,319,583	8,763,375	1,556,208				
雑			給	15,500	42,563	△27,063				
退	職	給	付	費	288,635	11,379	277,256			
法	定	福	利	費	2,165,213	1,984,427	180,786			
福	利	厚	生	費	96,695	75,574	21,121			
会		議		費	896,584	834,934	61,650			
旅	費	交	通	費	4,059,334	4,407,285	△347,951			
通	信	運	搬	費	1,116,687	1,147,874	△31,187			

科目	当年度	前年度	増減
減価償却費	707,969	704,638	3,331
消耗品費	1,873,343	2,411,671	△538,328
修繕費	1,097,390	364,397	732,993
光熱水料費	760,572	713,780	46,792
賃借料	635,849	732,736	△96,887
広報費	13,200	0	13,200
保険料	147,468	170,112	△22,644
諸謝金	0	20,000	△20,000
租税公課	453,100	433,598	19,502
支払負担金	15,397,100	15,446,600	△49,500
支払寄附金	161,500	22,000	139,500
支払手数料	2,254,872	3,251,767	△996,895
交際費	401,010	529,860	△128,850
管理維持費	522,491	415,151	107,340
新聞図書費	172,800	201,180	△28,380
支払利息	62,736	72,532	△9,796
経常費用計	2,042,613,124	2,406,127,352	△363,514,228
評価損益等調整前当期経常増減額	1,963,182	28,899,865	△26,936,683
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,963,182	28,899,865	△26,936,683
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	0	0	0
車両運搬具売却益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	2,447,751	2	2,447,749
建物除却損	1,250,003	0	1,250,003
什器備品除却損	22	2	20
建物付属設備除却損	1,197,725	0	1,197,725
車両運搬具除却損	1	0	1
経常外費用計	2,447,751	2	2,447,749
当期経常外増減額	△2,447,751	△2	△2,447,749
税引前当期一般正味財産増減額	△484,569	28,899,863	△29,384,432
法人税等	174,100	5,441,700	△5,267,600
当期一般正味財産増減額	△658,669	23,458,163	△24,116,832
一般正味財産期首残高	860,016,300	836,558,137	23,458,163
一般正味財産期末残高	859,357,631	860,016,300	△658,669
II 指定正味財産増減の部			
受取補助金等	194,000	0	194,000
受取国庫補助金	194,000	0	194,000
一般正味財産への振替額	△1,313,929	△998,284	△315,645
一般正味財産への振替額	△1,313,929	△998,284	△315,645
国庫補助金	△9,700	0	△9,700
地方公共団体補助金	△1,039,022	△733,077	△305,945
寄付金	△265,207	△265,207	0
当期指定正味財産増減額	△1,119,929	△998,284	△121,645
指定正味財産期首残高	18,954,702	19,952,986	△998,284
指定正味財産期末残高	17,834,773	18,954,702	△1,119,929
III 正味財産期末残高	877,192,404	878,971,002	△1,778,598

貸借対照表

令和7年3月31日現在

一般社団法人 沖縄県薬剤師会

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	432,880,627	334,496,928	98,383,699
未収入金	87,425,473	382,343,867	△294,918,394
商品	31,672,922	51,692,652	△20,019,730
立替金	2,006,100	1,134,047	872,053
前払費用	343,100	214,400	128,700
仮払金	0	0	0
貸倒引当金	△710,000	△3,660,000	2,950,000
流動資産合計	553,618,222	766,221,894	△212,603,672
2. 固定資産			
(2)特定資産			
退職給付引当資産	56,462,977	56,004,218	458,759
九山積立預金	9,424,910	9,420,159	4,751
法務対策積立預金	5,005,318	5,002,795	2,523
会館修繕積立預金	44,771,350	41,750,296	3,021,054
災害対策積立	3,003,303	3,001,790	1,513
移転積立預金	67,941,952	80,007,435	△12,065,483
特定資産合計	186,609,810	195,186,693	△8,576,883
(3)その他固定資産			
建物	106,815,855	111,954,315	△5,138,460
造作物	600,322	142,174	458,148
建物付属設備	1,734,525	2,952,430	△1,217,905
構築物	2,324,204	2,547,936	△223,732
車両運搬具	3	4	△1
什器備品	14,126,199	6,361,703	7,764,496
土地	157,097,850	157,097,850	0
電話加入権	2,765,413	2,765,413	0
ソフトウェア	1,062,951	132,000	930,951
敷入金	0	1,250,000	△1,250,000
差入保証金	5,064,640	5,067,640	△3,000
その他固定資産合計	291,591,962	290,271,465	1,320,497
固定資産合計	478,201,772	485,458,158	△7,256,386
資産合計	1,031,819,994	1,251,680,052	△219,860,058
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	35,462,147	234,558,426	△199,096,279
未払金	23,649,003	24,673,613	△1,024,610
前受金	130,000	210,000	△80,000
預り金	1,206,189	5,614,552	△4,408,363
賞与引当金	3,627,940	4,604,890	△976,950
未払法人税等	174,100	5,441,700	△5,267,600
流動負債合計	64,249,379	275,103,181	△210,853,802

科目	当年度	前年度	増減
2. 固定負債			
長期借入金	39,231,000	49,227,000	△9,996,000
退職給付引当金	51,147,211	48,378,869	2,768,342
固定負債合計	90,378,211	97,605,869	△7,227,658
負債合計	154,627,590	372,709,050	△218,081,460
Ⅲ 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
国庫補助金	184,300	0	184,300
地方公共団体補助金	12,133,806	13,172,828	△1,039,022
寄付金	5,516,667	5,781,874	△265,207
指定正味財産合計	17,834,773	18,954,702	△1,119,929
2. 一般正味財産	859,357,631	860,016,300	△658,669
(うち特定資産への充当額)	130,146,833	139,182,475	△9,035,642
正味財産合計	877,192,404	878,971,002	△1,778,598
負債及び正味財産合計	1,031,819,994	1,251,680,052	△219,860,058

<議案第2号 一般社団法人沖縄県薬剤師会監事選挙の件>

監事立候補名簿

区分	受付番号	立候補者氏名	所属地区 薬剤師会名	推薦者代表
開局	201	江夏 京子	中部地区	村田美智子
卸	202	山里 勇	那覇地区	川満 直紀

<議案第3号 一般社団法人沖縄県薬剤師会理事選出の件>

一般社団法人沖縄県薬剤師会理事候補選出要綱に基づいて、六地区薬剤師会及び定款施行規則第4条に定める部会から各1人を理事候補として推薦されてきた理事候補者、並びに第87回臨時総会で執り行われた会長候補者選挙にて当選した会長候補者が提出する理事候補者は、下記名簿に示されたとおりである。一般社団法人沖縄県薬剤師会理事として選任いただきたい。

理事候補名簿

[50音順・敬称略]

	No.	氏名	ふりがな	所属・担当
現職	1	浅沼健一	あさぬま けんいち	北部地区薬剤師会
現職	2	阿部義則	あべ よしのり	法務対策 薬学部創設推進
現職	3	川満直紀	かわみつ なおき	財務
新	4	喜屋武芳美	きゃん よしみ	中部地区薬剤師会
現職	5	喜友名朝史	きゆな ともふみ	青年薬剤師部会 在宅医療推進
現職	6	幸地良信	こうち よしのぶ	八重山地区薬剤師会
現職	7	古謝玄太	こじゃ げんた	行政薬剤師部会 薬学部創設推進
現職	8	古謝真己	こじゃ まさき	宮古地区薬剤師会
現職	9	佐藤雅美	さとう まさみ	薬学生実務実習
現職	10	鈴鹿玲子	すずか れいこ	卸勤務薬剤師部会
現職	11	知名博樹	ちな ひろき	学校薬剤師部会 試験検査センター
現職	12	知念大輔	ちねん だいすけ	災害対策
現職	13	名嘉紀勝	なか のりかつ	南部地区薬剤師会
現職	14	中村克徳	なかむら かつのり	学術研修
現職	15	姫野耕一	ひめの こういち	病院薬剤師部会 災害対策
現職	16	前濱朋子	まえはま ともこ	会長候補者
現職	17	宮城幸枝	みやぎ ゆきえ	医療保険
現職	18	村田美智子	むらた みちこ	女性薬剤師部会 保健福祉
新	19	盛本直也	もりもと なおや	那覇地区薬剤師会 地域医薬品提供体制対策
現職	20	吉田典子	よしだ のりこ	薬事情報

第92回総会

第92回定時総会懇親会

日時：令和7年6月22日（日）16:15～17:00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

定時総会后、会場を研修室に移し懇親会が催された。司会の佐藤雅美常務理事により、会が進められた。

川満直紀副会長による開会の挨拶後、前濱朋子会長の挨拶に続き、比嘉奈緒子沖縄県保健医療介護部保健衛生統括監による来賓挨拶を賜った。そして、神村武之相談役の乾杯の音頭で歓談に入った。歓談が落ち着いた頃、来賓の紹介に始まり、総会後の臨時理事会において承認された業務執行理事の役職の紹介、沖縄県薬剤師会職員への永年勤続表彰を執り行った。

永年勤続表彰は、30年勤続表彰として試験検査センターの小泉宝之センター長代理が表彰され、喜びを語った。懇親会は、終始和やかな雰囲気、阿部義則専務理事の挨拶で閉会となった。

(文：事務局 川平真央)



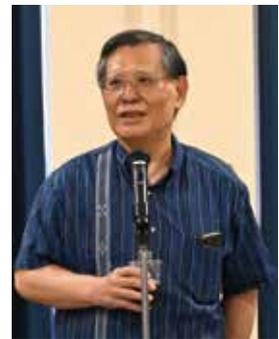
会長挨拶
前濱朋子
会長



開会の挨拶
川満直紀
副会長



来賓挨拶
比嘉奈緒子
沖縄県保健医療介護部
保健衛生統括監



乾杯の音頭
神村武之
相談役



業務執行理事の紹介



司会
佐藤雅美
常務理事



閉会の挨拶
阿部義則
専務理事



30年永年勤続表彰
小泉宝之
試験検査センター センター長代理



小泉センター長代理を囲んで
左から吉田久子氏、太田節子氏

地域医療提供

令和6年度 訪問薬剤管理指導推進事業 在宅訪問薬剤師連携講習会

日時：令和7年3月17日（月）19：30～21：00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室

〈会次第〉

司会：地域医療提供体制対策委員会 委員長 盛本直也

テーマ「ケアマネジャーから見る薬剤師の居宅療養管理指導について」

合同会社Reさぽと代表社員/おきなわ仕事と介護の両立サポート協同組合 副理事 中山哲郎

介護支援センターさんだん花管理者/沖縄県介護支援専門員協会 理事 新垣俊

合同会社courage代表社員/ケアプランBrave 管理者 遠藤賢吾

喜納クリニック事務長/在宅ケアセンターしだかじ管理者/沖縄県介護支援専門員協会 副会長 城間ゆかり

グループディスカッション

先日、令和6年度在宅訪問薬剤師連携講習会に参加し、ケアマネジャーとしての視点から多くの学びと気づきを得ました。以下に、各講演の内容とそれに対する感想をまとめます。



豊見城薬局
齋藤 讓二

1. 「介護支専門員(ケアマネジャーを知る)」

講師：中山 哲郎氏

中山氏は、ケアマネジャーの基本的な業務内容や役割について詳しく説明されました。日々の業務を振り返りながら、他職種との連携の重要性を再認識しました。特に、薬剤師との連携が在宅療養における利用者のQOL向上に直結することを改めて感じました。

2. 「ケアマネジャーが薬剤師に求めること」

講師：新垣 俊氏

新垣氏は、要介護高齢者の退院時における服薬評価の重要性や、再入院率の高さ、さらには在宅におけるOTC薬物依存のリスクについて言及されました。退院時のADL評価に比べ、服薬に関する評価が十分でない現状は、私自身も感じていた課題です。薬剤師が

退院時から積極的に関与し、服薬管理をサポートすることで、再入院の防止やOTC薬物依存のリスク軽減につながると考えます。

3. 「在宅高齢者さんの『薬剤師さんが来てくれてよかったよ♪』」

講師：遠藤 賢吾氏

遠藤氏は、在宅における薬剤師の具体的な支援事例を紹介されました。特に、残薬の整理や服薬に関する質問への対応など、利用者本人や家族からの感謝の声が多いことが印象的でした。医師が多忙で細かな質問が難しい中、薬剤師が利用者の疑問や不安に寄り添う姿勢は、在宅ケアにおいて非常に価値があると感じました。

4. 「ケアマネジャーが感じる薬剤師居宅療養管理指導」

講師：城間 ゆかり氏

城間氏は、薬剤師の居宅療養管理指導に関する現場での課題や要望を共有されました。複数の医療機関から処方された薬の飲み合わせの確認が漏れているケース、市販薬についての確認がされていない、報告書のタイムリーな提出がされないなど、実務的な課題を挙げていただきました。これらの課題は、私たちケアマネジャーと薬剤師が連携して解決すべき重要なポイントであり、情報共有の強化や連携体制の見直しが必要であると感じました。特に、報告書に関しては、利用者の状態や薬の変更があった際に、迅速かつ詳細な情報提供が求められます。また、報告書の内容が前回と同じである場合も多く、個別の具体的な内容を記載してほしいとの要望も共有されました。さらに、高齢者施設で薬局を指定して斡旋するケースがあることも指摘され、

利用者の選択の自由を尊重する観点から、適切な対応が求められると感じました。

総括

今回の勉強会を通じて、薬剤師の居宅療養管理指導が在宅ケアにおいて果たす役割の大きさを再認識しました。特に、退院時の服薬評価の強化、残薬管理、利用者や家族への丁寧な説明といった薬剤師の関与は、利用者の健康維持と生活の質の向上に直結します。一方で、報告書の質や提出タイミング、複数の医療機関からの処方薬や市販薬の管理など、改善すべき点も明らかになりました。これらの課題解決には、ケアマネジャーと薬剤師、さらには他の医療・介護職種との密接な連携が不可欠です。今後も定期的な情報交換や勉強会を通じて、互いの専門性を理解し、協働して利用者の在宅療養を支えていきたいと強く感じました。

講師陣



中山 哲郎氏



新垣 俊氏



遠藤 賢吾氏



城間 ゆかり氏



地域医療提供

健康サポート薬局研修会

日時：令和7年1月26日（日） 会場：沖縄県薬剤師会館研修室・Web

プログラム

研修会A（9:00～13:00）

健康サポートのための多職種連携研修会

○健康サポート薬局の基本理念（DVD講義）

日本薬剤師会 会長※ 山本 信夫
副会長 田尻 泰典

○健康サポート薬局の理念

～地域包括ケアに対応した薬局・薬剤師～

「私たちが目指す健康サポート薬局の姿」

みさと虹薬局 管理薬剤師 座安 雄一

（グループ討議）

薬局が地域の資源とどのように繋がるか

地域医療提供体制対策委員会 西川 裕

○沖縄県の医療・保健・健康・介護・福祉等の

資源と健康サポート薬局の連携

「沖縄県における健康課題と健康増進施策、健康サポート薬局への期待」

沖縄県保健医療部健康長寿課 平野 惣大

○他職種等の取り組みについて

～健康サポート薬局との連携を探る～

「薬局における健康づくり」について

～理学療法士と薬剤師の連携～

公益社団法人沖縄県理学療法士協会

会長 末吉 恒一郎

『「薬局における健康づくり」について～言語聴覚士と薬剤師の連携～』

一般社団法人言語聴覚士会 会長 久志 紫乃

「沖縄県の医療・保健・健康・介護・福祉等の資源について」

地域医療提供体制対策委員会 宮本 直樹

○演習

地域包括ケアシステムの中で健康サポート薬局としての役割を發揮するための各職種・機関との連携による対応等に関する演習

地域医療提供体制対策委員会 西川 裕

（ケーススタディ・発表・まとめ・レポート作成）

○まとめ

「私たちの目指す健康サポート薬局の姿」

地域医療提供体制対策委員会 西川 裕

（グループ討議・発表・まとめ・レポート作成）

研修会B（14:00～18:45）

健康サポートのための薬剤師の対応研修会

○薬局・薬剤師を巡る現状と健康サポート薬局

地域医療提供体制対策委員長 盛本 直也

○一般用医薬品等を取り巻く現状（DVD講義）

日本薬剤師会 常務理事※ 岩月 進

○演習

薬局利用者の状態把握と販売時及び販売後の対応

（1）導入・アイスブレイク

（2）薬剤師の臨床判断～需要者からの情報収集と症候学的な思考プロセス～

（3）適切な医薬品選択と提案のための情報収集とその考え方

（4）添付文書の伝え方

～安全で有効な使用のために～

（5）販売時と販売後の対応

進行：地域医療提供体制対策委員長 盛本 直也

委員 松本 圭五

國場 志音

講師：日本薬剤師会

一般用医薬品等委員会（DVD講義）

委員長※ 亀山 貴康

昭和大学薬学部 社会健康薬学講座

医薬品評価薬学部門（DVD講義）

准教授 亀井 大輔

○まとめ

地域医療提供体制対策委員会 松本 圭五

○レポート作成

○A・B研修会統括

地域医療提供体制対策委員長 盛本 直也

（※収録当時役職）

＜健康サポート薬局研修会報告＞

令和7年1月26日に健康サポート薬局、技能習得型研修会A、Bが開催されました。研修会Aは更新者も対象となっており、現地では12名の参加がありました。

また、研修会Bは初回取得者を対象とした研修で現地では4名と少人数での参加でした。研修内容は講義とグループ討議の2種類で、最後はレポートを提出して終了となります。

研修会Aでは健康サポート薬局としての理念や活動報告、行政が期待していること、多職種との連携についての講義と、健康サポート薬局としての役割を果たすためにどのように連携していけば良いのかをケーススタディを通してグループ討議を行いました。薬剤師は調剤だけでなく、セルフメディケーションの推進のため一般用医薬品の適正使用に関するアドバイスや薬学的知見に基づく指導、予防～介護までの健康相談の場での活躍が求められています。健康サポート薬局ではそのような薬剤師の知識、技能を生かし、医師はもちろん、歯科医師や理学療法士、言語聴覚士、地域包括センターなど多職種と連携し、処方箋を持っていない人でも気軽に相談できる窓口としての働きが求められています。ケーススタディでは1つの事例に対して様々な問題にどのように対応し、適切なサービスに繋げていくかをグループ討議で意見を出し合い学びました。地域によっては認知症の徘徊に対する見守りサービスもあるため、店舗がある地域のサービスを把握または検索できる方法を知っていると非常に有用であると思いました。



みさと虹薬局
具志堅 咲

研修会Bでは一般用医薬品の販売の際に利用者の状態の把握、販売時、販売後の対応についてグループワークを通じ、適切な対応を行う方法を学びました。利用者の相談に対して医療コミュニケーション（L:どこが、Q:どのように、Q:どのくらい、T:いつから、S:どのような状況で、F:どんな場合に悪くなる（良くなる）、A:同時にどんな症状があるか）を通して、薬剤師として臨床判断を行い、必要ならOTCの販売や受診勧奨を行います。今回は、セルフメディケーションで対応することになった場合を想定し、グループワークを行いました。利用者が何を求めているのか、結果どうしたいのかを重点に置き、必要な情報（既往歴、併用薬の有無、副作用歴等）を確認し、OTCの成分から必要なものが必要でないものを選択し、提案していく方法を学びました。しかし、薬剤師として販売しただけでなく、その後のフォローも大切になってくるため、処方箋を応需していない利用者には個別に相談記録のファイルを作成することで、服用後のフォローを行えるようにする取り組みが必要と感じました。

地域包括ケアシステムのなかでの薬剤師の役割を今一度確認し、多職種との連携を生かして健康サポート薬局が地域に根差した健康、予防～介護までの第一の相談窓口になれたらと考えます。



実務実習

令和7年度第I期薬学生実務実習

令和7年2月17日（月）～5月4日（金）までの11週間、第I期の薬学生実務実習が行われました。I期は11大学（福岡大学、第一薬科大学、長崎国際大学、山口東京理科大学、名城大学、国際医療福祉大学・福薬、広島国際大学、神戸学院大学、星薬科大学、安田女子大学、同志社女子大学）から、23名の学生を受け入れました。

毎回、薬局内での実習の他に、外部実習として漢方製剤、薬局製剤、夜間救急医療、災害医療、お薬相談会、在宅医療、OTC薬局、学校薬剤師（飲料水・騒音検査など）や医薬品卸の見学なども行っています。

指導薬剤師は、実習が普段の業務に出来るだけ支障をきたさない様にスケジュールの調整や担当者の割り振りなどを行っています。学生が実習をスムーズに行えるように定期的に学生と面談を行ったり、普段からコミュニケーションを取る様にしたりしています。

薬学生実務実習受入委員会
上間 秀子



ある学生は今回の在宅実習に於いて2つの薬局で体験する事ができ、各薬局によっての違いなどを学ぶ事が出来たようです。

未来につなげるための実習をこれからも続けられるように、今後ともご協力をお願いいたします。

今回、快く受け入れて頂いた実習施設の指導薬剤師の先生方や薬局スタッフの皆様、外部実習でお世話になった先生方、改めて心より感謝申し上げます。

以下に実習生の体験記と実習薬局、実習協力機関を掲載いたします。

紙面をもちまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



令和7年度第I期実務実習薬学生記念撮影

協力施設・委員会・団体（順不同）

- ぼたん薬局 ○薬正堂 ○そうごう薬局 赤十字店 ○とくりん薬局 ○ミドリ薬局
- ヴァインドラッグ末吉店・東浜店 ○株式会社琉薬 ○株式会社ダイコー沖縄

実務実習薬学生・受入薬局

(敬称略・順不同)

名前	大学	実習薬局	指導薬剤師
大西 萌 乃	福岡大学	病院前薬局	浅 沼 健 一
山城 亜 己	福岡大学	すこやか薬局 ライカム店	松 田 絵理菜
佐藤 沙耶香	福岡大学	はれ薬局	喜友名 朝 史
山内 雄 太	福岡大学	ゆんたく薬局 おもろまち店	宮 本 直 樹
諸喜田 将 広	第一薬科	レモン薬局	平 田 崇
新垣 友 那	第一薬科	しらさぎ虹薬局	運 天 芳 生
堀 海友紀	山口東京理科大学	経塚薬局	神 田 寛 之
垣 花 麻 央	長崎国際大学	ミルク薬局 天久店	枡 井 亮 太
佐渡山 夏 鈴	長崎国際大学	すこやか薬局 登川店	後 藤 彬 宏
新城 百 花	長崎国際大学	すこやか薬局 牧港店	安 田 泰 行
藤 塚 空 音	長崎国際大学	すこやか薬局 野嵩店	金 城 由美子
與那嶺 樹	国際医療福祉大学・福薬	がねこ薬局	池 田 武 俊
宮 城 日 和	国際医療福祉大学・福薬	みさと虹薬局	具志堅 咲
内 原 来 菜	国際医療福祉大学・福薬	会営薬局とよみ	宮 里 威一郎
仲村渠 明	国際医療福祉大学・福薬	メルシー薬局 かねぐすく	永 井 壱 宗
下 地 加 栞	広島国際大学	ふく薬局 なご店	村 田 智 哉
仲 本 実 羽	広島国際大学	うさぎ薬局	川 上 善 久
山 里 琉 海	名城大学	あなたのかかりつけ薬局	上 原 卓 朗
源 河 千早紀	名城大学	つつじ薬局 山里店	四 谷 祐 子
山 田 梨々花	神戸学院大学	すこやか薬局 あげだ店	仲 間 聖
細 工 愛	星薬科大学	こくら虹薬局	野 村 久 子
南 小 雪	同志社女子大学	くすみ薬局	神 谷 朝斗志
島 袋 智 佳	安田女子大学	すこやか薬局 外間店	金 城 奈々美



オリエンテーション



「学校薬剤師って何? -学校薬剤師の職務-」
講師：知念博樹常務理事



「災害医療×薬剤師～災害時の薬剤師活動」
講師：佐久川卓氏



「地域医療における休日・夜間診療と薬剤師の役割」
講師：阿部義則専務理事

令和7年度第I期薬学生実務実習からの体験記・感想

広島国際大学5年 下地 加栞
(ふく薬局なご店実習 指導薬剤師：村田 智哉)

小児の薬剤を調製するときは、過量投与にならないように注意して行った。体重と年齢を考えて用法・用量を調べ、妥当であるかを確認して、計量した。一日量は妥当だが、用法の違いで一回量が多くなってしまふ処方もあるので、用法・用量を注意深く確認した。

服薬指導では、患者さんを第一に考えるということを学んだ。患者さんが新規処方か継続処方かで大きく変わる。

まず、新規処方では副作用をしっかりと伝えることを心がけた。しかし、副作用に対して不安を抱く患者さんも多くいた。副作用が起こるのは稀であることや起こった時は気になるようなら医療機関に連絡するように伝えた。また、薬を飲むメリットの方が大きいので、薬を服用して様子を見るよう伝えることを心がけた。この2つの点を意識して伝えると、安心してくれる患者さんが多く、達成感を感じた。

次に継続処方では、服薬指導をする前に必ず薬歴を参照し、前回処方との変更点や体調変化、SOAPの内容から気になる点を質問するように心がけた。また、客観的数値がある薬の場合は、

数値を聞くように心がけた。その数値を前回と比較し、高低を伝えたり、副作用の有無を確認したりした。

新規処方も継続処方でも共通して、患者さんの目を見て話し、患者さんの話を遮らないように心がけた。また、患者さんが急いでいる状況でも必ず体調変化と他に気になる事の有無を確認するよう心がけた。

薬歴の書き方を学んだ。特にAを書くことが苦手だったが、薬剤師の方から「判断した」を使わず、「考察した」を使用するようにアドバイスをもらい、それを心がけて記載した。また、薬剤師の方から服薬指導のフィードバックを貰った時に、質問し忘れや提案をPに記載するよう心がけた。

薬剤師が複数勤務していたので、服薬指導を後ろから見学する機会があった。名前の確認方法や薬の説明方法、質問する項目、薬歴の書き方などが異なっていたので、それぞれ良いところを真似して、私が服薬指導をする時に活かすことができた。

薬局実習で学んだ事を病院実習で活かしていきたい。

名城大学5年 源河 千早紀
(つつじ薬局山里店実習 指導薬剤師：四谷 祐子)

臨床現場に立つことに不安でいっぱいだった実習初日でしたが、その不安を払拭させてくれるほど温かい薬局で実習をさせていただけたおかげで、自分自身の成長につなげることができた貴重な薬局実習でした。実際に薬や処方に触れ、患者と接することで大学では得られないような知識や実践的な学びを深めることができました。

実習では、患者の検査値や併用薬を考慮し、同効薬がどのように使い分けられているのかを知ることができ、処方解析の視点や判断力の重要性を学びました。また、小児用薬の体重・年齢に応じた用量換算法や患者一人ひとりに合わせたコミュニケーションの工夫などたくさんのことを学ばせていただきました。服薬指導では、初めは知識不足や緊張から言葉に詰まることも多くありましたが、薬剤師の先生方が丁寧に服薬指導のアプローチ法や確認すべきポイントを教えてくださったおかげで、様々な疾患に対する服薬指導に少しずつ自身を持てるようになりました。

薬局では、薬に関する質問だけでなく、日々

の生活や体調に関する相談も多く、薬剤師の先生方は、患者一人ひとりの状況に応じた的確な助言をされており、薬だけでなく健康全般に関する幅広い知識が求められることを実感しました。

一方で、疑義照会を行っても医師の意向を優先せざるを得ない場面や、患者の薬識や病識不足によるはしご受診、患者希望による依存リスクの高い薬物の長期処方など医療現場における課題点についても考えさせられました。

この11週間で得た知識や経験を今後の将来に生かし、患者に寄り添える薬剤師になれるよう努力を重ねていきたいと思えます。

最後に、実習を引き受けてくださったつつじ薬局の薬剤師の先生方、事務員の皆さま、11週間本当にありがとうございました。現場で活躍される先生方の姿を間近で見ることができ、薬剤師という職業への魅力をさらに感じることができました。学ぶこと、働くことの楽しさを感じられる薬局で実習させていただけたことに、心から感謝しています。

第一薬科大学5年 諸喜田 将広
(レモン薬局実習 指導薬剤師：平田 崇)

薬局実習の初日は緊張と不安でいっぱいでしたが、週を重ねるごとに業務に慣れ、最後は楽しく終えることができました。1週目は計数調剤を中心に、薬の配置や医薬品の効能効果を学びながら、疑問点があれば薬剤師や事務員に確認しました。処方日数や服用回数を見落としてミスをしたり、似た医薬品（例：ベポタスチンとベタヒスチン）の取り違えをしたりすることもありましたが、薬剤師から間違いを指摘された内容をメモし、次に活かしました。

2週目には卸から卵スープを60食注文し、値段やポップ、棚を作成して販売。患者さんが購入してくれた時は嬉しく、最終的にはほぼ完売しました。販売を通じて、商品陳列や値付けの重要性を学び、患者さんが買い物する際の心理も考えることができました。3週目は指導薬剤師の服薬指導を見学しながら電子薬歴を使ってSOAPを記載。病態や薬理に関する座学を重ねながら、服薬指導に向けて準備しました。そして、4週目に初めて服薬

指導を実施。最初の患者さんはアレルギー性鼻炎を患った男性で緊張から手が震えながらも、名前確認や症状の聞き取り、薬の説明を行い、質問にも対応しました。

この経験を通じて、薬剤師としての責任感や倫理観の重要性を実感しました。5週目以降は局外実習も増え、同期と卸の工場見学や夜間医療の見学、セルフメディケーション支援、漢方・薬局製剤の作成を経験。さらに指導薬剤師と在宅医療や系列薬局へ行き、実習先との違いを学んだり、中学校で照度と騒音検査を行ったりするなど、多岐にわたる業務を体験しました。

これらの経験を積み重ねることで、調剤業務がスムーズになり、服薬指導にも成長を感じました。また、薬学的知識の向上に加え、患者さんとのコミュニケーションが深まり、薬剤師としての実感が湧く実習となりました。今後は、この経験を活かし、さらに専門知識を深めながら患者さんの健康をサポートできる薬剤師を目指したいです。

第一薬科大学5年 新垣 友那
(しらさぎ虹薬局実習 指導薬剤師：運天 芳生)

薬局実習を通して、薬剤師という仕事の大変さを改めて実感しました。

普段、薬局で薬を受け取るだけでは見えてこない「裏側」の作業には、想像以上の集中力と注意力が必要で、自分がその一端を体験してみて初めて、その難しさを知りました。

印象的だったのは、ピッキング中に何度もミスをしてしまったことです。最初は「確認すれば分かるし、大丈夫だろう」と思っていたのに、実際の現場では忙しさや思い込みで見落としてしまうことが多く、ダブルチェックの重要性を身をもって感じました。特に一度、規格違いの薬を手にとってしまったときは、一瞬で冷や汗が出ました。こうした小さなミスが患者さんの安全に直結することを考えると、責任の重さに改めて気が引き締められました。

また、服薬指導では、患者さんと直接お話しすることでしか得られない情報がたくさんあることにも気づかされました。おしゃべりな患者さんほど、生活習慣や体調の変化などを自然と教えてくれるので、話を引き出す力

の大切さを感じました。一方で、自分の言葉が相手にどう伝わるかを考える難しさもあり、言い回しに悩んだり、言葉が詰まってしまいう場面も多くありました。指導薬剤師や他の薬剤師の方々が患者さんのどのような質問にも、専門的知識を噛み砕いて分かりやすく説明している姿を見て、コミュニケーションが重要視されている理由に納得しました。

在宅訪問や災害対応に関する講義にも参加させていただき、薬剤師が担う役割の広さや、地域医療における立ち位置の重要性にも触れることができました。薬を渡すだけでなく、患者さんの暮らしや想いに寄り添う姿を見て、薬剤師はこれ程多くの事に貢献しているのかと驚かされました。

今回の実習を通じて、まだまだ自分には足りないことがたくさんあると感じましたが、同時に、薬剤師としてのやりがいや魅力も感じるようになりました。この経験を無駄にせず、これからの学びにしっかりと繋げていきたいと思えます。

災害対策

令和6年度 沖縄県災害薬事コーディネーター養成研修

日時：令和7年3月16日（日）9：00～17：00

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<次第>

1 開会のあいさつ

2 演習

3 閉会のあいさつ

司会：沖縄県薬剤師会 理事 鈴 鹿 玲 子

沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課 薬務専門監 中 村 章 弘

講師：福岡大学薬学部 教授 江 川 孝

福岡大学薬学部 助教 牛 尾 聡一郎

ファシリテーター：ハートライフ病院 三 戸 正 人

沖縄県立中部病院 木 全 俊 介

宮 平 亮

災害対策委員会委員長 知 念 大 輔

2025年3月16日に沖縄県薬剤師会館ホールにて災害薬事コーディネーター養成研修が実施されました。

私自身、元DMAT隊員で災害研修や災害現場での活動、病院での災害委員会等をした経験がありますが、ここ数年はその業務から離れており、知識が薄れつつありました。これまでに培った経験を活かし、再び貢献できればと考えていたところに、今回の研修を受ける機会をいただき、研修をとっても楽しみにしておりました。

まず、研修では3グループに分かれ、各グループには薬局薬剤師、病院薬剤師、卸業薬剤師、行政薬剤師、計7名の多彩な業種の薬剤師がいらっしや、有意義な時間となりそうな印象を受けました。各グループには経験豊富なファシリテーターの先生が割り振られており、私の班はハートライフ病院の三戸正人先生でした。

研修の内容は、実際の災害を想定した課題に対してグループで意見を出し合う演習と江川孝先生(福岡大学薬学部 救急・災害医療薬学研修室)による座学が中心でした。具体的には「大規模災害の対応において必要な情報伝達の手段・モノとして何が使えますか？」という課題に対して5分間討議するなどの内容です。

演習の後半には実際の災害時にあった場面を再現し、グループメンバーが災害薬事コーディネーターとなり、本部から来る依頼をどう解決す

あなたのかかりつけ薬局
喜久山 有沙



るか、というグループワーク。本部から矢継ぎ早に流れてくる依頼を、情報をまとめ、優先度をつけ、役割分担してこなす必要があり、緊張した場面ではありましたが、活発な意見交換がなされ、充実した時間となりました。

実際に災害が起きた際には、今回のメンバーと協力して活動するので、顔を合わせ一緒に研修することができてよかったです。

沖縄は実際に大規模災害が発生した際には、他県からの支援が遅れるため、県内で対処しなければならない期間は約1週間と言われております。日頃の準備や訓練が非常に大切です。防災グッズを用意している家庭は多くはないと思います。薬剤師は災害時には、薬局での調剤をはじめ、学校薬剤師として避難所での活動など、様々な場所で活躍することができます。まずは、自身の身を守る防災グッズの備え付けをお勧めしたいです。

本研修で修得した知見や技術を活用し、今後も研鑽を積み重ねて災害薬事の向上に貢献してまいります。本研修の実施にご尽力いただいた皆様に深く感謝申し上げます。

講師陣



福岡大学 薬学部
教授
江川 孝氏



福岡大学 薬学部
助教
牛尾 聡一郎氏



開会のあいさつ
沖縄県保健医療介護部
薬務生活衛生課
中村 章弘薬務専門監



閉会のあいさつ
災害対策委員会
知念 大輔委員長



司会
沖縄県薬剤師会
鈴鹿 玲子理事



お知らせ

保険薬局におけるBCP（業務継続計画）の策定について

保険薬局が感染症や自然災害等が発生した場合であっても、患者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供できるよう、①新型インフルエンザ等発生時における業務継続計画、②災害時の薬局業務継続計画等を作成いたしました。

本会ホームページに掲載されておりますので、各保険薬局の状態に応じてご作成ください。
災害対策委員会

【掲載先】 沖縄県薬剤師会ホームページ > 会員ページ > 災害対策関連

災害対策

令和6年度 BLS (Basic Life Support : 一次救命処置) 講習会

日時：令和7年3月27日(木) 19:30～21:30

会場：沖縄県薬剤師会 研修室

沖縄県薬剤師会災害対策委員会主催のBLS(一次救命処置)講習会に参加しました。本講習は、座学と実技の二部構成で行われ、心肺停止の現場における一次救命処置の基本的な知識と技術を学ぶ機会となりました。

座学では、BLSのアルゴリズムや、コロナ禍を経て改定された最新のガイドラインについて説明がありました。従来重視されていた人工呼吸よりも、現在では胸骨圧迫をいかに中断せずに継続するかがより重要視されており、知識のアップデートの必要性を痛感しました。

実技では、人形を使用した胸骨圧迫やAEDの取り扱い、呼吸補助用具を用いた訓練が行われました。実際に手を動かすと想像以上に体力を要することがわかり、特に女性にとっては十分な圧迫を続けるのが困難に感じられる場面もありました。胸骨圧迫のテンポや深さ、手の置き方、視線や体の姿勢など、講師の先生方の細やかな指導のもと、何度も繰り返し練習を行いました。

私は過去に、自動車学校や大学、スキューバダイビングの講習などでBLSを学んだ経験がありますが、BLSガイドラインは約5年ごとに改定されており、今回改めて定期的な受講と技術の見直しの大切さを実感しました。知識だけでなく、実技を伴った訓練を重ねることで、緊急時に自信をもって対応できるようになるのだと感じました。

参加者は4名で、そのうち1名が3回目の受講、他3名は初めての受講とのことでした。少人数であったため、講師の先生方から丁寧なご指導をいただき、密度の高い研修となりました。

株式会社薬正堂
坂本 政文



薬局に勤務していると、つい病院や救急対応は他者に任せるものと考えてしまいがちですが、地域に密着した薬剤師として、いざというときに備えることも重要な役割だと思います。今後も定期的にこうした講習に参加し、スキルの維持に努めていきたいと思っています。



その他会務報告 沖縄戦殉職医療人之碑へ慰霊

令和7年6月23日（日）慰霊の日〔ひめゆりの塔構内：糸満市伊原〕

例年、慰霊の日の沖縄戦殉職医療人之碑には、本会と沖縄県医師会、沖縄県歯科医師会の供花が添えられています。今年から沖縄県看護協会の供花も添えられていました。今年の慰霊の日は、太平洋戦争末期の沖縄戦の組織的戦闘が終わった日から80年となったこともあり、沖縄戦殉職医療人之碑が建立されているひめゆりの塔構内では沖縄戦で看護要員として動員されたひめゆり学徒隊の犠牲者を悼む慰霊祭に例年より多くの方が参列されていました。

今年の沖縄戦殉職医療人之碑の参拝には、前濱朋子会長、神村武之相談役、川満直紀副会長、古謝玄太副会長、村田美智子理事、吉田洋史那覇地区薬剤師会会長、黒島新氏（会員・糸満市議会議員）が参列しました。また、沖縄県医師会の先生方とも例年のように合同にて参拝いたしました。

本会の沖縄戦殉職医療人之碑への慰霊は、毎年、午前10時30分から行っておりますので、ぜひ、一緒にご参拝いただきますようよろしくお願いいたします。（文：事務局 大城 喜仁）



沖縄県医師会の先生方と合同にて参拝

写真左：前列左より、前濱朋子会長、神村武之相談役、村田美智子理事、吉田洋史那覇地区薬剤師会会長、後列左より、川満直紀副会長、古謝玄太副会長、黒島新氏

<沖縄戦殉職医療人之碑>

沖縄戦殉職医療人之碑は、昭和23年1月28日に沖縄医療団により、ひめゆりの塔の隣に建立された。題字は、翠宮城瑞芳氏の揮毫。

沖縄戦で軍に協力し、住民の衛生、保健、治療に活動し、各地で戦死した医師、歯科医師、薬剤師、看護婦等、約60余人を合祀している。戦時体制となった時、住民の生命を預かる医師の大半は日本本土へ疎開したが、「自分たちの郷土は自分たちの手で守り抜こう」と覚悟を決めた医師達は、郷土に踏み止まって住民の治療、衛生に努力した。戦局は不利となり、日を追って増加する傷病者の治療、看護に疲れて倒れる者、さらに、敵陣に斬り込み、自決する者等、実に仁術を天命として尽くし、最後まで闘って戦没した。

薬剤師は、県内・県外合わせて10人近くになると思われる。その内の1人、本会第2代会長の長田紀助氏（会員の故久場トヨ氏、長田紀昭氏の御尊父）は、厚生大臣任命で、佐官待遇の軍属として南部戦線に向かわれ、玉城村（現南城市）字糸数付近で戦没された。喜瀬乗垣氏（キセ薬局・故喜瀬乗惟先生の御令兄）は中国大陸の山野で没された。

青年部会

自衛隊那覇病院等見学

日時：令和7年4月21日（月） 9：30～16：00

会場：那覇自衛隊基地



写真左より、

後列：藤井正士3等空佐（航空自衛隊第9航空団）、池間記世広報委員、中村克徳副会長、前濱朋子会長、古謝玄太副会長、高倉征宏1等空佐（航空自衛隊第9航空団）、名嘉紀勝理事、大城喜仁事務局長
前列：平安山丈継（事務局）、西坂順（ふく薬局名護店）、金子智之歯科医師会理事、阿部義則専務理事、中村章弘沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課薬務専門監、喜友名朝史常務理事・青年薬剤師部会長

航空自衛隊那覇基地内にある、自衛隊那覇病院には以前から取材申し込みをしており、今回ついに念願が叶ったので記事にまとめる。航空自衛隊那覇基地は、那覇市の中心から南西約5 kmに位置し、南西防衛空域における唯一の航空基地として重要な役割を果たしている。ちなみに、那覇基地は日本で最も緊急発進の回数が多い。基地の面積は、約209万㎡であり、航空自衛隊13の部隊のほか、自衛隊那覇病院、陸上自衛隊第15ヘリコプター隊及び海上自衛隊第5航空群という陸海空自衛隊が混在する特色のある基地である。また、飛行場は、国土交通省が管理する官民共用空港となっている。

先方より前もって渡された「見学スケジュール表」には9：30の「正門到着」から16：10「終了 お送り」まで隙間なく、分刻

広報委員会
池間 記世



みで記されていた。参加者は総勢12名、当日は参加者が乗り入れできる車両の台数に制限があったので、最後まで参加する人たちは薬剤師会の車両で行くことになった。基地正門前で待っていると、定刻ぴったりに広報担当の自衛官お二人が自衛隊のマイクロバスに乗って現れて、早速一同バスに乗り込んだ。

自衛隊那覇病院の見学は計画では午後に予定されていたので、那覇基地の概況説明を受けた後、「F-15J」の見学に移った。ここで「F-15J」について少し説明する。航空自衛隊は防空のために全国を4つのエリアに分けているが、そのなかで沖縄県的那覇基地に司令

部を置き、おもに南西諸島の防空を担うのが南西航空方面隊で、その指揮下（隷下）にある唯一の戦闘機部隊が第9航空団である。「F-15J」は第9航空団の主力戦闘機で、昭和47年に初飛行した米国製の本格的な制空戦闘機である。それから、すでに50年以上経過した機体だが、基本設計の優秀さとレーダーをはじめとした電子機器、搭載装備の近代化によって現在でもトップクラスの実力を持つ戦闘機とのこと。通称イーグルとも呼ばれている。

第9航空団飛行群司令の高倉1等空佐から「F-15J」の説明を受け、その後コックピット内の見学・搭乗を体験することができた。驚いたことに、案内してくださった高倉1等空佐は福岡大学薬学部の出身であった。在学中に戦闘機のパイロットに憧れ、大学卒業後にそのまま航空自衛隊に入隊し現在までパイロット一筋。入隊後に薬剤師国家試験の合格通知を受け取ったものの、薬剤師の仕事は一度もしていないとのこと。

さて、お待ちかねのコックピット内の見学であるが、コックピット内は一人一人がやっと座れるほどの狭さで、四方八方が機器に囲まれている。手荷物厳禁であり、万年筆1本でも機内に落とせば探すことは困難を極め、万が一探せなかった場合、不測の事態を起こしかねない精密機械の塊のような戦闘機である。操縦席に座ってみたいという気持ちは皆さん同じで、順番に中に入り満面の笑みで広報担当の女性自衛官に写真を撮っていただいた。



午前11時10分、会食に移る前に前濱会長をはじめ6名の方々が、令和7年3月24日付で第9航空団司令兼ねて那覇基地司令に就任された霜田空将補に表敬訪問を行った。

その後場所をかえ会食の時間。会食には霜田空将補と高倉1等空佐、そして途中から合流された第9航空団衛生隊長の藤井3等空佐（自衛官の薬剤師）も一緒に「すっかり有名になった自衛隊カレー」ではなかったが、皆同じ定食をおいしく頂いた。

午後はいよいよ自衛隊那覇病院の施設内見学、まずはスライドを使っての概況説明が行われた。自衛隊那覇病院は、病床数50床（一般50床）の病院で、診療科は内科・外科・整形外科・歯科からなっており、常勤8名の医師と3名の薬剤官・技官が勤務している。自衛隊の病院では、基本的に利用対象者を防衛省職員とその家族、つまり自衛官診療証保有者と防衛省共済組合の被保険者に限定している。

那覇病院は、有事となった場合の南西地域における医療拠点と位置付けており、負傷隊員の主要な搬送先と想定している。2022年3月には管理主体を航空自衛隊から陸上自衛隊に変更（移管）された。機能強化と施設老朽化対策のための2031年頃予定の建て替えに伴い、自衛隊関係者以外にも診療対象を広げることも検討されている。

薬剤官は薬剤師の資格を発揮しつつ、かつ自衛官として国の平和や国民の健康に寄与する二刀流の職業であることに加え、災害派遣や国際平和協力活動など自衛隊の一員として



の役割も担っている。また、衛生分野の幹部自衛官として、平時においては、医薬品や医療材料などの調達及び全国の自衛隊病院や駐屯地への補給を担う。加えて、災害の季節性や感染症の世界的な発生状況などを把握しつつ、適切な管理をしている。

那覇病院の研修後は、もう一つの目的の、救助活動に従事する部隊見学に移った。那覇救難隊はUH-60J救難ヘリコプター及びU-125A救難捜索機により、沖縄本島を中心として半径約400kmの地域内で発生した災害等に昼夜を問わず対処する沖縄地域唯一の救難専門部隊である。U-125A救難捜索機により素早く遭難場所を特定し、続いてホバリングの出来るUH-60J救難ヘリコプターが向かい救助する。

そして那覇ヘリコプター空輸隊のCH-47Jヘリコプターは、北は奄美大島から南は宮古島に至る各基地間の輸送を行っている。CH-47J

は、人員は最大55名、担架による患者は24名、貨物約8トンの輸送が可能で、山林火災などにおいては空中から消火ができる装備を有している。

南西諸島は離島が多い地域特性上、災害派遣として航空機を使用した緊急患者空輸も多いものとなっている。民間のドクターヘリでは航続距離が短い、夜間飛行能力が不十分などの理由のために、陸上自衛隊の第15ヘリコプター隊のCH-47JAがその一部を担っている。民間のドクターヘリと違い、24時間態勢で備えており、昼夜を問わず多く出動している。

取材を終わって、今や自衛隊は国民の「安心・安全」を担保するために欠かせない存在となっていると感じた。これからもずっと「安心・安全」が続くように祈らずにられない。

最後に私達のために貴重な時間を割いて下さった方々にお礼を申し上げます。



例年夏に、基地を一般開放して装備品展示や音楽隊の演奏、野外交渉などが行われる「那覇基地サマーフェスタ」が開催されています。ご興味のある方はご参加ください。



卸薬部会

日本医薬品卸勤務薬剤師会
2025年度「研修会」

日時：令和7年4月18日（金）14：15～17：00

会場：トラストシティカンファレンス丸の内・Web

＜プログラム＞	司会：日本医薬品卸勤務薬剤師会 実務委員	秋山 由香
開会挨拶	日本医薬品卸勤務薬剤師会 会長	師尾 仁
来賓挨拶	公益財団法人日本薬剤師会 会長	岩月 進
	一般社団法人日本医薬品卸売業連合会 会長	宮田 浩美
講演1		
「災害時の医薬品供給体制と支援薬剤師の活動」	公益社団法人日本薬剤師会 常務理事	山田 卓郎
講演2		
「卸勤務薬剤師こそ使いたい最新生成 AI の仕事活用術」	株式会社MAKOTOPrime 代表取締役	竹井 智宏

I 目的

1. 災害時の医薬品供給体制と支援薬剤師の活動
2. 卸勤務薬剤師こそ使いたい最新生成AIの仕事活用術

※本研修会は、災害時における医薬品の供給体制と、薬剤師が果たすべき支援活動についての理解、卸勤務薬剤師が生成AIを活用し、業務効率化や生産性向上を実現するための知識と具体的な方法を学ぶことを目的とする。

II 結果

1. 災害医療体制の基礎知識、災害時の医薬品流通、支援薬剤師の役割と活動、災害対策マニュアルの入手方法について学ぶことが出来た。
2. 生成AIの基本概念と進化、生成AIの業務への応用、生成AI導入の課題と解決策、中小企業向け生成AIツールに関する知識を学ぶことができた。

III 行動（今後どう活かすか）

本研修を通して、災害時における薬剤師の



アイティーアイ株式会社
奈良本 清佳

重要な役割と責任を改めて認識することができた。今後も研修内容を深く理解し、災害に強い地域づくりに貢献できるよう、自己研鑽に励んでいきたい。また、本研修を通して生成AIの基本的な概念から具体的な活用事例、導入のポイントまで、幅広い知識を得ることができたので、生成AIを積極的に活用することで、卸勤務薬剤師としての業務の質と効率を高め、ひいては会社や社会に貢献できるよう努めていきたい。

IV 所感

1. 災害という非常事態において、薬剤師が果たすべき重要な役割について改めて認識しました。平時からの備え、関係機関との連携、そして何よりも「被災者の救済を第一に考える」という倫理観の重要性を強く感じました。また、具体的なマニュアルや事例を通して、災害時の医薬品供給の流れ

や、薬剤師の具体的な活動内容について学ぶことができ、非常に勉強になりました。

2. 生成AIという最新技術が、薬剤師の業務に革新をもたらす可能性を感じました。文章作成や情報収集などの効率化はもちろん、新たな価値創造にもつながる可能性に、大きな期待を抱きました。しかし、同時に、AI技術の急速な進化に、社会や個人の在り方が大きく変容していくであろうことへの危機感も感じました。今回の研修を通して、薬剤師という専門職が、災害という社会の危機においても、AIという新たな技術革新の波においても、社会に貢献していくためには、常に学び続ける姿勢が不可欠であることを痛感しました。

V 具体的な内容

1. 講演「災害時の医薬品供給体制と支援薬剤師の活動」

(1) 我が国の災害医療提供体制

ア 災害対策基本法(昭和36年11月15日法律第223号)に基づき、国、地方公共団体、その他の公共機関が連携して災害から国民を保護するための体制が確立されている。

イ 防災計画は、防災基本計画を頂点とし、防災業務計画、地域防災計画という体系で構成される。

ウ 宮城県を例としていて、宮城県地域防災計画の作成と実施を推進し、災害発生時の情報収集などを行う。

エ 災害対策基本法等に基づき、公益事業を営む法人等を指定地方公共機関として指定しており、薬剤師会も含まれる。

オ 災害救助法は、災害が発生した場合に、被災者を救助するための法律であり、医療救護もその対象となる。

カ 災害時には、通常の保険医療体制に加えて、災害医療体制が構築される。

(2) 災害時の医薬品流通

ア 宮城県卸組合は、非常災害用医薬品の

確保に関する協定書を締結している。大規模災害時医療救護活動マニュアルや災害時薬事関連業務マニュアルを作成し、医薬品の供給体制や薬剤師の派遣体制などを定めている。

イ 災害時には、保健医療福祉調整本部や災害薬事コーディネーターが中心となり、医薬品の供給が行われる。

(3) 支援薬剤師の活動

ア 支援活動においては、連絡網の重要性、役割分担、法律や協定の理解、そして「被災者の救済を第一に考える」という心構えが重要である。

イ 令和6年能登半島地震における日本薬剤師会スキームに基づく薬剤師班の活動事例が紹介された。

(4) 改訂版「薬剤師のための災害対策マニュアル」

ア 改訂版「薬剤師のための災害対策マニュアル」の内容や、厚生労働省のウェブサイトにおける災害対応に関する情報が紹介された。

イ 災害発生時には、平時の活動から災害対応モードへの切り替えが重要である。

2. 講演「卸勤務薬剤師こそ使いたい最新生成AIの仕事活用術」

(1) 生成AIの基本的な概念と進化

ア 生成AIは、文章、画像、動画など、様々なコンテンツを生成するAI技術である。

イ 近年、生成AIは急速に進化しており、その活用範囲は広がっている。

(2) 生成AIの業務への応用事例

ア 生成AIは、文章作成、画像生成、動画生成など、様々な業務に応用できる。

イ 具体的な例として、顧客提案、リアルタイム監視、システム作成、AIエージェント、ヒューマノイドロボットなどがある。

(3) 生成AI導入のハードルと解決策

ア 生成AIの導入には、目的や目標の設定、

業務プロセスの整理、試験運用などのステップが必要である。

イ 中小企業においては、生成AIの活用にハードルを感じている企業も多い。

ウ 生成AIを日常的に使い、会社の業務に組み込むためには、生成AIを活用した仕組み構築が必須であり、経営戦略も生成AIありきで考え直す必要がある。

(4) 生成AIの活用パターンと部署別活用法

ア 生成AIは、文章作成アシスタント、アイデアマン、上司や専門家、IT担当者、英語上級者の代わりとして活用できる。

イ 部署別の活用法として、経営者・役員、

経営企画、マネージャー、総務、経理、法務、人事、広報・マーケティング、営業など、様々な部署で生成AIが活用できることが紹介された。

(5) 中小企業向け生成AIツール「カルクワークス」の紹介

ア 中小企業向けの生成AIツールとして、「カルクワークス」が紹介された。

イ 「カルクワークス」は、ChatGPTよりも使いやすく、議事録作成、チャットボット、文書作成効率化など、中小企業の業務効率化に貢献する様々な機能を提供している。

お知らせ

地区・部会からの原稿をお寄せ下さい！

ぜひ“おきなわ薬剤師会報”へ地区薬剤師会、部会の活動・状況報告等を投稿して下さい。活動報告以外の情報も歓迎します！

ぶれいくたいむ



北海道医療大学OBの活動が紹介されました

転載記事

沖縄タイムス 令和7年4月17日（木）掲載

【豊見城】薬剤師・歯科医師を目指す県内高校生を対象にしたインターンシップ（就業体験）が3月22、23日に豊見城中央病院や豊見城市内の薬局で開かれた。県内大学には薬学部や歯学部が設置されていないため、薬剤師や歯科医師の志望者は県外の大学で修学しなければならないのが現状。不足がちな将来の専門人材を育てようと、北海道医療大学の県出身OBらが協力し、昨年からの就業体験を開いている。

22日の薬剤師の就業体験には沖縄尚学高校など9校の1、2年生31人が参加。薬剤師の調査や調剤薬局の業務などを体験した。同大OBで県内で薬局を手がけるシーセットメディアの平尾慎一郎専務は「高校生の関心が高く、昨年より体験者が倍増した。薬剤師も団塊の世代がリタイアする時代に入っており、若い人材の育成は重要だ」と話した。（編集部付・上聞正敦）

薬剤師や歯科医師体験 県内高校生31人 豊見城で

北海道医療大OB協力



薬剤師のインターンシップで薬剤師の調査体験に臨んだ高校生ら＝3月22日、豊見城中央病院

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

地区だより

令和6年度 中部地区薬剤師会総会

日時：令和7年6月15日（日）14：00～

会場：うるま市健康福祉センターうるみん

初夏の候、会員の皆様には一段とご健勝のこととお慶び申し上げます。
さて、去る令和7年6月15日に令和6年度中部地区薬剤師会総会が執り行われました。

<次第>

司会 石川 恵市

一 開会	
二 会長あいさつ 福地健治	
三 来賓あいさつ（一社）沖縄県薬剤師会会長前濱朋子	
四 議長選出	
五 議題	
第一号 令和六年度活動経過報告	福地 健治
第二号 令和六年度決算報告	諸見里 めぐみ
会計監査報告	伊佐 常隆
第三号 役員改選及び人事（案）について	福地 健治
第四号 令和七年度事業計画（案）	佐藤 雅美
第五号 令和七年度予算（案）	諸見里 めぐみ
第六号 その他	
六 閉会	佐藤 雅美

石川恵市副会長司会進行のもと、福地健治中部地区薬剤師会会長より、地区活動や、これからの発展と様々なことにチャレンジしていく決意を述べられました。

また、来賓の前濱朋子沖縄県薬剤師会会長より、地区活動の日頃の感謝と労いの言葉、そしてこれからも中部地区のさらなる発展を期待していますと挨拶されました。

総会は予定通り式次第に沿って進み、議長の選出の後、議題に入り第一号から第六号までの審議に入りました。

議題第六号その他では、FAX料金値上げに関する事項については会の適切な運営のために会員の皆様のご理解とご協力が得られたことにここで改めて感謝を申し上げます。

全ての議案が無事に承認され、令和6年度中部地区薬剤師会総会は閉会しました。

総会終了後には、学術研修会が開かれ、講師として株式会社薬正堂の坂本政文氏による「薬局DXのイロハ～DXアレルギーのために～」と題しご講話いただきました。

薬局のDX化において何から始めるべきかなど不安を抱えている薬剤師も多く、大変有意義な話を聞くことができました。概要としては、薬局DXのメリットとして業務の効率化、



総会時の様子



こちらは学術研修会の様子



情報交換会・懇親会の様子

薬局の信頼度UPによる患者満足度の増加、人材の定着などを上げ、ITが苦手で操作が難しそう、費用が不安、時間がないなどの「できない理由」をひとつひとつ紐解いていきながら丁寧に説明されていました。

最後に、「不安は誰にでもあるもの、DXは必ず味方になるのでまずはできることから一

歩を踏み出そう」と話され、講演は終了しました。

令和6年度中部地区薬剤師会総会及び学術研修会の全日程を終了した後は、会員同士による情報交換会及び懇親会が開かれ、楽しい時間を共有することができました。

(報告：中部地区薬剤師会理事 知名博樹)

転載記事

沖縄タイムス 令和7年6月11日(水) 掲載



すこやか薬局が運営を開始した南大東島の店舗(提供)



すこやか薬局が運営を開始した与那国島の店舗(提供)

**与那国と南大東
閉店薬局で運営
すこやか薬局の薬正堂**

「すこやか薬局」を展開する薬正堂(舎里草香社長)は1日、与那国島と南大東島で連携店舗の運営を開始した。両島に唯一あつた薬局施設を活用する。同社は地域住民のため、継続的な医療支援体制を構築するとしている。

両島の薬局は5月末で閉局。連携店舗では従業員の雇用を継続する。薬剤師を配置せずオンラインで服薬を指導、医師の処方箋にも対応する。同社担当者「どこにいても安心できる医療を実現するための挑戦」と話した。

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

地区だより

令和7年度宮古地区薬剤師会総会

日時：令和7年5月17日（土）17：30～19：00

会場：宮古地区医師会会館2F会議室

会員：23名（参加者10名、委任7名）

※総会は会員3分の1の参加をもって成立する。

＜式次第＞		司 会 下 地 仁
○本田あきこ参議院議員挨拶（DVD）放映		
○開会の挨拶		会 長 下 地 睦 夫
○議題 報告	第1号 令和6年度事業報告	事務局 上川畑 剛
	第2号 令和6年度会計監査報告	監 事 上 里 雅 江
	議案 第1号 令和6年度決算承認の件	会 計 古 謝 真 己
		第2号 令和7年度役員選任の件
	第3号 令和7年度事業計画（案）承認の件	新会長 古 謝 真 己
	第4号 令和7年度会費額に関する件	会 長 古 謝 真 己
第5号 令和7年度FAX負担金に関する件	会 長 古 謝 真 己	
第6号 令和7年度予算（案）承認の件	会 長 古 謝 真 己	
○連盟活動について		
第1号 薬剤師連盟の活動強化について		
○閉会の挨拶		副会長 平 良 真 哉

本田あきこ参議院議員挨拶動画放映の後、今年急逝した会員の山崎今日太氏へ1分間の黙祷が捧げられた。

その後、司会の上記の通り出席状況が告げられ総会成立が宣言された。冒頭会長挨拶では会員山崎今日太氏へのこれまでの会活動への感謝が述べられ、改めて哀悼の意が表された。また本会の大きなテーマは「組織改革」であり、これまで低迷していた会活動を活性化するため、大幅な役員改正を行い新会長の下で会員全員が一致協力できる体制を作る事であると話された。

その後、事業報告、会計監査報告の後、議案審議へと移った。決算報告では今年度FAXコーナー運営費が毎年赤字となっており今年は職員のシフト変更など人件費削減に努めたが、最終的に60万円の赤字となったとの報告があった。

今回の大きなテーマである役員選任の件では、新会長に古謝真己氏、副会長に平良真哉氏、上里雅江氏、理事に砂川裕美子氏、前里由紀子氏、下地仁氏、大槻広明氏が新たに選

任された。その他の各部門担当者も事務局案通り承認された。

承認後の挨拶で、古謝新会長は「組織力強化の為、「研修会の積極的開催」「薬局のDX化推進」「災害薬事コーディネーター育成」「参議院選挙への協力」に改めて注力したい。これまで以上に会員の協力をお願いします。」と会員の更なる会運営への協力を求めた。

その後、議長を古謝新会長が担当し、今年度の事業計画、予算案、FAX負担金、会費額などが審議され、原案通り承認された。

総会終了後は場所を居酒屋「四季菜々」へ移し、県立宮古病院薬局のメンバーも加えて懇親会を行った。



（報告者：下地 睦夫）

月例相談会

第199回健康とおくすり相談会

日時：令和7年3月20日（木）11:00～16:00

場所：那覇メインプレイス映画館前広場

担当：那覇地区薬剤師会

かりん薬局
仲西 有希子

3月20日、那覇メインプレイスで開催された健康とおくすり相談会に初めて参加させて頂きました。入口の方では開始前から列が出来ており、イベントが始まってからも予想以上に相談者が多く驚きました。

ブースには血圧計と骨密度測定器が備えられており、実際に検査方法を学ぶことが出来ました。相談の内容は骨密度の検査結果を踏まえての生活習慣が殆どでした。

相談者には普段から健康を意識し、医療番組を見ている方やサプリメントを飲んでいる方もいれば普段からあまり運動はせず、紫外線によるシミが心配で日光に当たるのを避けているという方もいました。

骨密度の測定結果を基に、検査値や現在の領域(健常、要指導、要精検)かを説明し、必要に応じて食事や運動といった生活習慣のアドバイスを行いました。

負荷運動(ウォーキング、筋力トレーニング等)が難しいと言われる方もおり、そういう方には椅子に座ってできる「かかと落とし」で骨に刺激を与えるのも効果的であることを説明しました。またシミを気にされている方にはビタミンDがCa吸収に関与している事、手のひらだけでも数十分は日光を浴びた方が良いこと、ビタミンDが含まれている食べ物についてお伝えしました。

質問では、骨粗鬆症と骨が黒くなる(糖化)病気は何が違うのかといった想定していなかった質問もあり分かりやすく説明ができたか少し不安もありました。今後、私自身が病気や治療、食生活について豊富な知識を得る

のはもちろんのことですが、人に分かりやすく説明できるコミュニケーション力と理解力も必要であると感じました。

また、現在フォサマック服用中の方から歯に違和感があるとの相談もありました。薬の副作用による影響かは判断できませんが、アドバイスに留まらず、医師への連絡を促し副作用の悪化を防ぐことも薬剤師として重要な役割だと再認識しました。

最後に、本イベントに参加し、相談者の質問を通じて新たな知識を得ることができ、とても勉強になりました。相談後、相談者の方々から参考になったとお言葉を頂き、私自身も大変充実した時間を過ごすことが出来ました。



◆健康とおくすり相談員（順不同・敬称略）

相談員 9名

○吉田 洋史 ○喜友名 朝史 ○松田 文子

○山下 博士 ○仲西 有希子 ○西田 琴美

○松本 尚樹 ○長田 ゆかり ○知念清乃

相談者数：94名

試験検査センターからのお知らせ

1 学校環境衛生検査が始まっています

令和7年度の学校環境衛生検査について、教育委員会等から依頼を受けた市町村の学校薬剤師の方へ随時連絡しています。夏休み前は、プール開きをする学校が多いので水質検査を主に実施しています。また、夏季期間には室内化学物質検査やダニ検査を実施する県立や市町村立の学校もあります。検査の実施等についての質問は、当センターまで。

プールで使用される塩素系消毒剤と pH について

学校のプールで消使用される塩素系消毒剤の主なものは、**次亜塩素酸 Na、次亜塩素酸 Ca、塩素化イソシアヌル酸の3種類**。塩素化イソシアヌル酸には有効塩素量と塩の違いで数種類ある。県内の学校で主に使われているのは**トリクロロイソシアヌル酸 (TCCA)** で、次いで次亜塩素酸ナトリウム。以下、TCCA の特徴と注意点を解説する。



【TCCA の特徴】

固体で顆粒状又は大型の錠剤形、液性は酸性、水中への溶解速度が遅く、残留塩素の長時間維持が可能で、イソシアヌル酸が紫外線による残留塩素の分解を抑制する。

消毒作用は、TCCA が加水分解により次亜塩素酸 (HOCl) を生成、この HOCl により殺菌や有機物分解が行われる。【 $C_3N_3O_3Cl_3$ (TCCA) + $3H_2O \rightarrow C_3N_3O_3Cl_3 + 3HOCl$ 】

【TCCA の注意点】

・TCCA は使用していると pH が徐々に低下する。

・TCCA の使用積算量と pH の低下は比例の関係

TCCA から生成した HOCl が塩酸と酸素に分解するため。【 $2HOCl \rightarrow 2H^+ + 2Cl^- + O_2$ 】

プールの補給水が十分でない場合は、徐々に pH の低下がおこりプール水の pH の基準値「5.8～8.6」から外れ、不適となるので注意が必要。そのためにも pH 値はプールの使用前に測定し、基準値内にあることを確認する必要がある。

・pH 測定に使用する BTB 溶液の特性に注意

BTB 溶液 (プロモチモールブルー) は酸性で黄色、中性で緑色、アルカリ性で青色に変化し、pH 値で表すと 5.8～7.6 又は 6.0～7.6 が変色域となる。



☛ pH 値 5.0 (不適) のプール水を測定した場合の色は何色？

☞ 答えは「黄色」。

注) pH 値 5.8 で示す黄色と同じ黄色を呈し、比較して見分けることはできない。指示薬は変色域外では特定の色となるため測定できない。pH 値 6.0 でもほぼ区別が付かず、目視で判断ができるのは pH 値 6.2 ぐらいまで。

※ 採水時に pH 値の測定を行い 5.8 (黄色) であった場合、実際は 5.8 以下であり不適の可能性があると考えられる。プール管理日誌に 3、4 日前から pH 値が 5.8 や 6.0 と連続して記録されている場合は、ほぼ間違いなく 5.8 以下であり不適の状態。

プール管理日誌も重要な情報源となるので、検査の際はぜひ確認を。

ひきつづき利用契約推進中！

会員のための検査センターをモットーに頑張っています。

※利用契約の詳細は、以下の連絡先に連絡下さい。

連絡先：試験検査センター 電話：098-963-8934 Mail：siken@okiyaku.or.jp

2025年5・6・7号 : Vol. 40 No. 2
薬事情報センター TEL : 098-963-8931
FAX : 098-963-8937

薬事情報おきなわ No. 285

薬価基準追補収載品目

●新医薬品 2025年4月16日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
注射薬	イムデトラ点滴静注用1mg	1mg1瓶(輸液安定化液付)	137,100	アムジェン	タルラタマブ(遺伝子組換え):抗悪性腫瘍剤/二重特異性タンパク製剤(がん化学療法後に増悪した小細胞肺癌)(新有効成分)
	イムデトラ点滴静注用10mg	10mg1瓶(輸液安定化液付)	1,326,870		
	アナエブリ皮下注200mgペン	200mg1.2mL 1キット	3,037,716	CSLバーリング	ガラダシマブ(遺伝子組換え):遺伝性血管性浮腫発作抑制用 活性化第XII因子阻害剤/ヒト抗活性化第XII因子モノクローナル抗体(遺伝性血管性浮腫の急性発作の発症抑制)(新有効成分)

●新医薬品 2025年5月21日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内用薬	カムザイオスカプセル1mg (Mava 1mg)	1mg1カプセル	7,204.00	ブリストル・マイヤーズ スクイブ	マバカムテン:肥大型心筋症治療剤/選択的心筋ミオシン阻害剤(閉塞性肥大型心筋症)(新有効成分)
	カムザイオスカプセル2.5mg (Mava 2.5mg)	2.5mg1カプセル	7,264.80		
	カムザイオスカプセル5mg (Mava 5mg)	5mg1カプセル	7,410.50		
	ピヨントラ錠400mg (/b ACOR)	400mg1錠	8,995.90	アレクシオン ファーマ	アコロミジス塩酸塩:トランスサイレチン型心アミロイドーシス治療薬(トランスサイレチン型心アミロイドーシス(野生型及び変異型)(新有効成分)
	リブマリー内用液10mg/mL	1%30mL1瓶	3,888,640.70	武田薬品工業	マラリキシバット塩化物:回腸胆汁酸トランスポーター阻害剤(次の疾患における胆汁うっ滞に伴うそう痒 アラジール症候群/進行性家族性肝内胆汁うっ滞症)(新有効成分)
	ティブソ錠250mg (IVO 250)	250mg1錠	30,007.60	日本セルヴィエ	イボシデニブ:抗悪性腫瘍剤/IDH1阻害剤 (IDH1 遺伝子変異陽性の急性骨髄性白血病)(新有効成分)
	ラズクルーズ錠80mg (LZ80)	80mg1錠	4,403.30	ヤンセン ファーマ	ラゼルチニブメシル酸塩水和物:抗悪性腫瘍剤/チロシンキナーゼ阻害剤 (EGFR 遺伝子変異陽性の切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌)(新有効成分)
	ラズクルーズ錠240mg (LZ240)	240mg1錠	12,354.70		
	ブレバミス顆粒分包20mg	20mg1包	3,025.60	MSD	レテルモビル:抗サイトメガロウイルス化学療法剤(下記におけるサイトメガロウイルス感染症の発症抑制 同種造血幹細胞移植/臓器移植)(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	ブレバミス顆粒分包120mg	120mg1包	10,006.20		
注射薬	トレムフィア点滴静注200mg	200mg20mL1瓶	253,045	ヤンセン ファーマ	グセルクマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤(中等症から重症の潰瘍性大腸炎の寛解導入療法(既存治療で効果不十分な場合に限り)(新投与経路医薬品)
	トレムフィア皮下注200mgシリンジ	200mg2mL1筒	339,733	ヤンセン ファーマ	グセルクマブ(遺伝子組換え):ヒト型抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤(中等症から重症の潰瘍性大腸炎の維持療法(既存治療で効果不十分な場合に限り)(新効能医薬品、新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	トレムフィア皮下注200mgペン	200mg2mL1キット	339,733		

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
注射薬	テビムブラ点滴静注100mg	100mg10mL1瓶	214,498	BeiGene Japan	チスレリズマブ(遺伝子組換え): 抗悪性腫瘍剤/ヒト化抗ヒトPD-1モノクローナル抗体(根治切除不能な進行・再発の食道癌)(新有効成分)
	テブダック点滴静注用40mg	40mg1瓶	252,241	ジェンマブ	チソツマブ ペドチン(遺伝子組換え): 抗悪性腫瘍剤/組織因子標的抗体微小管阻害薬複合体(がん化学療法後に増悪した進行又は再発の子宮頸癌)(新有効成分)
	ハイキュービア10%皮下注セット5g/50mL	1セット	56,816	武田薬品工業	pH4処理酸性人免疫グロブリン: 血漿分画製剤 皮下注用免疫グロブリン製剤/ボルヒアルロニダーゼ アルファ(遺伝子組換え)製剤/(無又は低ガンマグロブリン血症)(新有効成分)
	ハイキュービア10%皮下注セット10g/100mL	1セット	112,154		
	ハイキュービア10%皮下注セット20g/200mL	1セット	221,382		

●報告品目 2025年5月21日付

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
内用薬	エブリスディ錠5mg (EVR)	5mg1錠	73,831.90	中外製薬	リスジプラム: 脊髄性筋萎縮症治療剤(脊髄性筋萎縮症)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	メラトベル錠小児用1mg (NPC81)	1mg1錠	103.90	ノーベルファーマ	メラトニン: メラトニン受容体作動性入眠改善剤(小児期の神経発達症に伴う入眠困難の改善)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	メラトベル錠小児用2mg (NPC82)	2mg1錠	155.90		
	カルケンス錠100mg (ACA100)	100mg1錠	12,921.90	アストラゼネカ	アカラブルチニブマレイン酸塩水和物: 抗悪性腫瘍剤/ブルトン型チロシンキナーゼ阻害剤(慢性リンパ性白血病(小リンパ球性リンパ腫を含む))(新有効成分含有医薬品)
	ラゲブリオ錠400mg (@771)	400mg1錠	4,329.80	MSD	モルヌピラピル: 抗ウイルス剤(SARS-CoV-2による感染症)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
注射薬	アイリア8mg硝子体内注射用キット114.3mg/mL	8mg0.07mL1筒	146,286	バイエル薬品	アフリベルセプト(遺伝子組換え): 眼科用VEGF阻害剤(中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性/糖尿病黄斑浮腫)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	バビースモ硝子体内注射用キット120mg/mL	6mg0.05mL1筒	131,892	中外製薬	ファリシマブ(遺伝子組換え): 眼科用VEGF/Ang-2阻害剤・抗VEGF/抗Ang-2ヒト化二重特異性モノクローナル抗体(中心窩下脈絡膜新生血管を伴う加齢黄斑変性/糖尿病黄斑浮腫/網膜静脈閉塞症に伴う黄斑浮腫/脈絡膜新生血管を伴う網膜色素線条)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	オンボー皮下注200 mgシリンジ	200mg2mL1筒	242,888	日本イーライリリー	ミキズマブ(遺伝子組換え): ヒト化抗ヒトIL-23p19モノクローナル抗体製剤(中等症から重症の活動期クローン病の治療(既存治療で効果が不十分な場合に限定))(新効能医薬品、新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	オンボー皮下注200 mg オートインジェクター	200mg2mL1キット	242,888		
	ウゴービ皮下注 0.25mgペン1.0MD	1mg1.5mL1キット	6,525	ノボ ノルディスクファーマ	セマグルチド(遺伝子組換え): 肥満症治療剤 持続性GLP-1 受容体作動薬(肥満症 ただし、高血圧、脂質異常症又は2型糖尿病のいずれかを有し、食事療法・運動療法を行っても十分な効果が得られず、以下に該当する場合に限る。・BMIが27kg/m ² 以上であり、2つ以上の肥満に関連する健康障害を有する ・BMIが35kg/m ² 以上)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	ウゴービ皮下注 0.5mgペン 2.0MD	2mg1.5mL1キット	11,477		
	ウゴービ皮下注 1.0mgペン 4.0MD	4mg3mL1キット	20,703		
	ウゴービ皮下注 1.7mgペン 6.8MD	6.8mg3mL1キット	32,853		
ウゴービ皮下注 2.4mgペン 9.6MD	9.6mg3mL1キット	44,485			

区分	販売名 ()内は識別コードまたは製剤表示	規格単位	薬価	会社名	成分名・適応症・効能効果
注射薬	トルリシティ皮下注 1.5mg アテオス	1.5mg0.5mL 1キット	5,498	日本イーライリリー	デュラグルチド(遺伝子組換え) :持続性GLP-1受容体作動薬(2型糖尿病)(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))
	カーボスター透析剤2号・L	6L1瓶(炭酸水素ナトリウム液付)	2,597	陽進堂	人工腎臓用透析液(慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として、以下の要因を持つものに用いる。無糖の透析液では、血糖値管理の困難な場合/カルシウム濃度の高い透析液では、高カルシウム血症を起こすおそれのある場合)(類似処方医療用配合剤(再審査期間中でないもの))
		9L1瓶(炭酸水素ナトリウム液付)	3,479		
	カーボスター透析剤2号・P	2袋1組	1,908	陽進堂	人工腎臓透析用粉末製剤(慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として、以下の要因を持つものに用いる。無糖の透析液では、血糖値管理の困難な場合/カルシウム濃度の高い透析液では、高カルシウム血症を起こすおそれのある場合)(類似処方医療用配合剤(再審査期間中でないもの))
		2瓶1組	1,908		
	ウステキヌマブBS皮下注 45mgシリンジ「CT」	45mg0.5mL1筒	139,002	セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン	ウステキヌマブ(遺伝子組換え)[ウステキヌマブ後続3] :ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、乾癬性関節炎)(バイオ後続品)
	ウステキヌマブBS皮下注 45mgシリンジ「YD」	45mg0.5mL1筒	139,002	陽進堂	ウステキヌマブ(遺伝子組換え)[ウステキヌマブ後続2] :ヒト型抗ヒトIL-12/23p40モノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、乾癬性関節炎)(バイオ後続品)
ピンゼレックス皮下注320mg オートインジェクター	320mg2mL1キット	303,466	ユーシービー・ジャパン	ビメクシマブ(遺伝子組換え) :ヒト化抗ヒトIL-17A/IL-17Fモノクローナル抗体製剤(既存治療で効果不十分な下記疾患 尋常性乾癬、膿疱性乾癬、乾癬性紅皮症、化膿性汗腺炎)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))	
ランマークHI皮下注120mg シリンジ1.0mL	120mg1mL1筒	44,390	第一三共	デノスマブ(遺伝子組換え) :ヒト型抗RANKLモノクローナル抗体製剤(多発性骨髄腫による骨病変及び固形癌骨転移による骨病変/骨巨細胞腫)(剤形追加に係る医薬品(再審査期間中のもの))	
外用薬	リバルエンLAパッチ25.92mg	25.92mg1枚	215.30	東和薬品	リバステグミン :アルツハイマー型認知症治療剤(軽度及び中等度のアルツハイマー型認知症における認知症症状の進行抑制)(新剤形医薬品)
	リバルエンLAパッチ51.84mg	51.84mg1枚	329.00		
	ペピオウオッシュジェル5%	5%1g	99.60	マルホ	過酸化ベンゾイル :尋常性ざ瘡治療剤(尋常性ざ瘡)(新用量医薬品、剤形追加に係る医薬品(再審査期間中でないもの))

* 識別記号の「@」は製薬会社のマークの代用としています。

● 後発医薬品 令和6年12月6日付

薬価収載されたのは後発品23成分71品目。初の後発品収載は、抗血栓薬の「リバーロキサバン」(先発品名:イグザレルト)など9成分12規格41品目。収載状況の内訳は、内用薬11成分17規格44品目、注射薬8成分16規格17品目、外用薬が4成分5規格10品目。



Medical News

●キノロン系薬を過剰処方～AMRリファレンスセンター（薬事日報5月9日）

AMR臨床リファレンスセンターは2日、国内でキノロン系抗菌薬点眼が過剰処方されている実態を報告し、医療従事者に眼科領域で抗菌薬を適正に使用するよう注意喚起した。キノロン系抗菌薬は、耐性化すると眼科領域では他に取得可能な治療抗菌薬の選択肢が少ないことから、医療現場において慎重な使用が求められる抗菌薬の一つとなっている。

●コンビニで市販薬の購入可能に、改正薬機法が成立（日本経済新聞5月14日）

コンビニエンスストアで一般用医薬品（市販薬）を買えるようにすることを盛り込んだ改正医薬品医療機器法（薬機法）が14日の参院本会議で可決、成立した。改正薬機法では、薬剤師や登録販売者がいないコンビニなどが薬を売る場合、購入者は店舗にいない薬剤師などからオンラインで説明を受ける。

●「笑気麻酔」エトミデートが指定薬物に 沖縄を拠点に流通か（沖縄タイムス5月24日）

国内未承認の医薬品成分エトミデートを含む「笑気麻酔」と呼ばれる危険ドラッグが県内の若者たちの間で乱用されている問題で、県警などは23日、エトミデートが新たに指定薬物に指定されたと発表した。26日からエトミデートを含む製品の所持や使用、流通が禁止される。捜査関係者によると、沖縄が販売拠点の一つで、交流サイト（SNS）を介して流通しているとみられる。

●薬剤師が販売可否判断-零売規制の運用に注文（薬事日報6月10日）

日本薬剤師会の森副会長は4日の厚生科学審議会医薬品医療機器制度部会で、改正医薬品医療機器等法施行後の処方箋医薬品以外の医療用医薬品の販売（零売）を可能とするケースについて「一律に線引きできず、あくまでも薬剤師が購入者の状況を踏まえて適切に判断するもの」との考えを示した。厚労省は、やむを得ない場合の範囲など具体的な運用は省令で規定するほか、過度な規制とならないよう必要最小限かつ合理的な規制措置にとどめるなどの考えを審議で示していた。

●緊急避妊薬OTC販売「薬剤師の面前服用」必要と判断（薬局新聞6月11日）

医療用から要指導・一般用への転用に関する評価検討会議は、第32回会合で緊急避妊薬のスイッチOTC販売における条件を議論し、年齢制限や保護者の同意は求めないことなどで合意する一方、市民団体が購入の

ハードルとして憂慮する薬剤師の面前服用は多くの構成員が「必要」との見解を示した。

●マイナ保険証による情報確認が薬剤師業務に貢献する実態強調（薬局新聞6月25日）

日本保険薬局協会（NPhA）は医療DX活用と業務貢献の実態について、このほど認定薬局を取得する会員薬局を対象に実施した調査結果を公表した。1006軒の回答を得た調査によると、マイナ保険証の情報確認を「丁寧に実施している」という薬局は、服薬情報の把握や一元管理など業務への「貢献度スコア」が高かった反面、貢献度に関わらず薬局側の「負担度合」には差は見られず、現場では特に「確認工程の増加」や「閲覧制限」「システム不具合」に対してのストレスを強く感じる状況が示されており、こうした負担感を厚生労働省と共有し、「DX推進に使ってもらいたい」としている。

●東薬大等グループ-薬剤師が獣医療学ぶ場に-薬学研修プログラム（薬事日報7月1日）

東京薬科大学薬学部薬学科社会薬学教育センター生命・医療倫理学研究室の櫻井教授と臨床薬剤学教室の畔蒜助教らのグループは、全国の保険薬局、ドラッグストアに勤務する薬剤師を対象とした「獣医療における薬学研修プログラム」の開発に向け、東京海上ウェルデザインと共同研究を開始した。同プログラムは、eラーニング形式の研修講座で9月に開講する。

●PMDA検討会-患者向けガイド見直し案了承-必須版作成より早期に（薬事日報7月4日）

医薬品医療機器総合機構（PMDA）の患者向医薬品ガイド検討会は1日、同ガイドの取りまとめ案を概ね了承した。ガイドは全医療用医薬品を対象とし、患者・家族に読みやすい「必須版」から作成。取りまとめを踏まえ、ガイド内容や記載方法を解説した新たな手引きを厚生労働省が作成・周知し、製造販売業者がガイド作成に着手する。ガイド未作成品目を優先的に作成し、新規承認品目については販売開始までに作成するとした。

●厚労省～治験薬の院外処方解禁へ-薬局・薬剤師を有効活用（薬事日報7月4日）

厚生労働省は、薬局・薬剤師数の増加や薬局の都市部集中が指摘される中、薬局や薬剤師の有効活用に向けた方策の一つとしてGCP省令を改正し、治験薬の院外処方を解禁する方針だ。治験実施医療機関の来院に依存しないDCT（分散型治験）の導入が進められる中、治験薬管理や被験者の服薬管理を薬局が担うことで治験実施計画（プロトコル）からの逸脱防止や治験実施医療機関の負担軽減につなげる。地域薬剤師会と製薬企業が契約を結び、会員薬局が治験薬を交付することも許容する。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業 共有すべき事例

2025年
No.4
事例2

疑義照会・処方医への情報提供

投与量



事例

【事例の詳細】

久しぶりに来局した80歳代の患者に、クリニックAからイグザレルトOD錠15mg 1回1錠1日2回 朝夕食後 35日分が処方された。患者家族から、患者は医療機関Bを退院し、今後はクリニックAで治療を行うことを聴取したが、お薬手帳には退院時の処方内容は記載されていなかった。薬剤師は、用法・用量から深部静脈血栓症の初期治療と推察したが、添付文書に記載された3週間を超える日数が処方されたことに疑問を感じた。クリニックAの処方医に疑義照会を行ったところ、患者は医療機関Bで深部静脈血栓症と診断され、注射薬の抗凝固薬が投与された後にイグザレルトOD錠15mg 1回1錠1日2回に切り替えられてから、3週間が経過するところであることがわかった。イグザレルトOD錠15mg 1回1錠1日1回朝食後に変更になった。

【推定される要因】

クリニックAの処方医は医療機関Bで行われた治療を把握していたが、イグザレルトOD錠15mg 1回1錠1日1回に減量することを失念した可能性がある。

【薬局での取り組み】

抗凝固薬が処方された際は、患者の病態や体重、腎機能などの検査値、治療の経過などを把握し、処方監査を行う。



その他の情報

イグザレルトOD錠10mg/15mgの添付文書 2024年11月改訂（第8版）（一部抜粋）

1.警告

〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉

1.2 成人の深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間の15mg1日2回投与時においては、特に出血の危険性が高まる可能性を考慮するとともに、患者の出血リスクに十分配慮し、特に、腎障害、高齢又は低体重の患者では出血の危険性が増大するおそれがあること、また、抗血小板剤を併用する患者では出血傾向が増大するおそれがあることから、これらの患者については治療上の有益性が危険性を上回ると判断された場合のみ本剤を投与すること。

6.用法及び用量

〈静脈血栓塞栓症の治療及び再発抑制〉

成人 通常、成人には深部静脈血栓症又は肺血栓塞栓症発症後の初期3週間はリバーロキサバンとして15mgを1日2回食後に経口投与し、その後は15mgを1日1回食後に経口投与する。



事例のポイント

- イグザレルト錠/OD錠15mgを成人の静脈血栓塞栓症の治療に用いる場合、発症後の初期3週間の投与とその後の再発抑制を目的とした投与では、1日の用量が異なる。特に1日2回の投与を行う初期3週間は、出血のリスクに十分注意する必要がある。
- イグザレルト錠/OD錠15mg1回1錠1日2回の投与は入院中に開始されることが多いため、退院後にイグザレルト錠/OD錠15mg1回1錠1日2回が処方された場合、薬剤師は治療開始からの投与期間を確認し、1日量が適切であるか検討する必要がある。
- 本事例は、患者が退院し、治療を行う医療機関が変更になった際に、薬剤が適切に処方されなかった事例である。退院後も適切な薬物療法を継続するには、入院していた医療機関と退院後に治療を引き継ぐ医療機関との連携が重要になる。
- 退院後の患者の処方箋を応需する薬局薬剤師は、入院中の薬剤師の服用・使用状況や今後の治療方針に関する情報を収集し、退院後の薬物療法が適切に継続されているか確認することが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jqchc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。



薬局ヒヤリ・ハット事例収集・分析事業

共有すべき事例

一般用医薬品等

2025年
No.5
事例3

不適切な販売の回避（現病歴）



事例

【事例の詳細】

糖尿病の治療をしている40歳代の患者が薬局を訪れ、鼻水が止まらないため鼻炎用内服薬が欲しいと薬剤師に相談した。患者は新コンタック600プラスsを希望したが、当該製品は糖尿病の診断を受けた人は服用できないため、薬剤師は他の一般用医薬品を紹介し、販売した。

【背景・要因】

新コンタック600プラスsはブソイドエフェドリンを含む一般用医薬品である。ブソイドエフェドリンを含む一般用医薬品は、糖尿病の診断を受けた人は服用できない。

【薬局から報告された改善策】

新コンタック600プラスsの他にもブソイドエフェドリンを含む一般用医薬品があるため、ブソイドエフェドリンを含む一般用医薬品をリストアップし、販売する際に確認する。



その他の情報

新コンタック600プラスs（指定第2類医薬品）の添付文書（一部抜粋）

使用上の注意

■してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなります）

1. 次の人は服用しないでください

(3) 次の診断を受けた人。

高血圧、心臓病、甲状腺機能障害、糖尿病

（2025年4月18日現在）



事例のポイント

- ブソイドエフェドリンは交感神経を刺激し、肝臓のグリコーゲンの分解を促進することで血糖値を上昇させる作用があるため、糖尿病の患者が服用すると血糖コントロールが乱れ、病状が悪化する可能性がある。
- ブソイドエフェドリンを含有する一般用医薬品は、新コンタック600プラスsの他に、アレグラFXプレミアム、パブロンセレクトN、ベンザブロックLなどがある。不適切な販売を回避するため、特定の背景を有する患者が使用できない要指導医薬品や一般用医薬品を取りまとめ、薬局内で共有しておくことは有用である。
- 一般用医薬品等の購入に関する相談を受けた際は、添付文書を確認するとともに、患者の現病歴や服用中の薬剤を正確に把握し、適切な判断を行うことが重要である。



公益財団法人 日本医療機能評価機構
医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル
電話：03-5217-0281（直通） FAX：03-5217-0253（直通）
<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqhcc.or.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。※この情報の作成にあたり、薬局から報告された事例の内容等について、読みやすくするため文章の一部を修正することがあります。そのため、「事例検索」で閲覧できる事例の内容等と表現が異なる場合がありますのでご注意ください。

薬事情報委員会より

調剤の重大事故を未然に防ぐために

-処方ミス・交付ミスに関する注意喚起-

近年、**製剤量と成分量を間違えた処方**や、**倍散の計算誤りに気づかず交付した**といった重大な調剤ミスに関する報告・相談が続いています。これらのミスは、患者様の健康に深刻な被害をもたらす可能性があり、薬剤師としての信頼を大きく損なうことにもつながります。

具体的な事例としては、

- 医師からの**10倍量処方箋を見落とし、そのまま調剤してしまった**
- 薬剤師の**計算誤りにより、必要な量の10倍の薬剤を患者様に交付してしまった**
などが報告されており、その結果として患者様に健康被害が発生した事例も確認されています。

私たちは、患者様の命と健康を守る最後の砦として、細心の注意を払って業務にあたる必要があります。今一度、皆さまの薬局における調剤・鑑査、そして交付に至るまでの一連のプロセスを再確認していただくようお願いいたします。

【計算ミス防止のための基礎知識と再確認】

成分量と製剤量（実際に秤量する量）の計算は、混同しやすい点が常に存在します。これらのミスを防ぐためには、日々の業務における意識と、正確な計算方法の再確認が不可欠です。

1. 成分量/原薬量とは：薬剤の有効成分そのものの量を指します。

例えば、

- ◇ アセトアミノフェン錠 200mg であれば、1錠中にアセトアミノフェンが「200mg」含まれているということになり、この「200mg」が成分量に相当します。
- ◇ 散剤（粉薬）で「〇〇散 10%」とあれば、その散剤 1g 中に有効成分が 100mg 含まれているということになり、この「100mg」が成分量に相当します（液剤も同様です）。

2. 製剤量とは：実際に調剤する際に、秤量（はかりで量り取る）したり、数えたりする、薬そのものの量を指します。

これは、「有効成分そのものの量」である成分量とは区別して考える必要があります。

散剤では、グラム[g]は製剤量、ミリグラム[mg]は成分量のように慣例的に単位により判別・記載していることもありましたが、現在はそのようなこともありません。

例：

- ◇ 「フェノバルビタール散 10% 0.5g」とあれば、秤量する粉薬の重さは 0.5g です。この 0.5g 中に、有効成分であるフェノバルビタールは 50mg (0.5g の 10%) 含まれています。
「カルボシステイン細粒 500 mg」と記載されていた場合、500 mgを成分量と考えると、カルボシステイン細粒 50%を 1g 秤量することになります。500 mgを製剤量と考えると、0.5gを秤量することになります。どちらも現実的にあり得る量のため、医師の処方したい量がどちらなのか判断が難しいです。
- ◇ **混合して秤量する場合：**例えば、A 散（有効成分 20%）0.1g と、B 散（有効成分なしの賦形剤）0.9g を混ぜて 1.0g の粉薬を作る場合、A 散 0.1g と B 散 0.9g それぞれが秤量する量であり、これらを合わせた 1.0g が交付される製剤総量となります。この混合した 1g 中に A の有効成分は 20 mgということになります。

- ◇ **処方箋の記載と注意点**：処方箋は、製剤量で記載されることが多いです。平成 22 年（2010 年）1 月に出された「内服薬処方せん記載の在り方検討会」の報告書において、分量としては製剤量を記載することを基本とすべきであり、例外的に成分量で記載した場合は、必ず【製剤量】や【原薬量】と明示することとされています。しかし、患者様にどのくらいの量を服用させたいかという医師の意図は、基本的に成分量で考えることが多いため、特に散剤の分量に気を付ける必要があります。

【計算時に特に注意すべきポイント】

1. 処方箋の記載内容を正確に把握する

- ◇ 「製剤量」なのか、「成分量（原薬量）」なのか、必ず確認してください。特に散剤や液剤、あるいは複数の規格がある薬剤で混同しやすいです。
- ◇ 「単位」を常に意識する（mg、g、 μ g、mL、L、単位など）。

2. 計算過程を「見える化」する

- ◇ 頭の中だけで計算せず、必ずメモ用紙などに計算式と途中経過を書き出す習慣をつけましょう。
- ◇ 分数の計算や、小数点以下の桁数処理に注意が必要です。必要に応じて電卓を効果的に活用し、検算も行いましょう。
- ◇ 計算結果が常用量範囲内か、常識的にあり得る量か既存の知識や経験から、妥当性を確認することも重要です。

3. 換算を伴う調剤に特に注意する

- ◇ 錠剤を粉砕して散剤として交付する場合や、散剤から錠剤に切り替わる場合など、剤形変更に伴う成分量・製剤量の換算はミスの温床となりやすいです。必ず添付文書や医薬品集で規格を確認し、正しい換算式を用いて計算してください。
- ◇ 特に、10 倍量処方や 1/10 量処方のような極端な間違いは、単位換算（例：mg と g、mL と L）の誤りや、小数点位置の見間違いから発生することが多いため、細心の注意を払ってください。

【参考資料・研修の活用】

◇ 日本薬剤師会発行の調剤事故防止に関する資料

日本薬剤師会のウェブサイトでは、新人薬剤師向けの調剤事故防止テキストが公開されています。資料には、計算ミス防止に繋がる具体的なヒントや事例が豊富に掲載されています。

(https://www.nichiyaku.or.jp/files/co/pharmacy-info/shinnin_jikoboushi2.pdf)

◇ 薬局ヒヤリ・ハット事例集（日本医療機能評価機構）

実際に発生した計算ミスの事例とその分析、再発防止策が掲載されています。他薬局の事例から学び、自薬局の業務改善に活かすことができます。

(<https://www.yakkyoku-hiyari.jcqh.or.jp/>)

◇ 「製剤量と成分量の間違い（第2報）」医療事故情報収集等事業 医療安全情報 No. 183 2022年2月（公益財団法人 日本医療機能評価機構）

医療安全の確保は、薬剤師にとって最も重要な責務です。今回の注意喚起を契機に、今一度、日々の調剤業務における安全管理体制を見直し、重大な医療事故を未然に防ぐための努力を重ねていただけますようお願いいたします。

医療事故情報収集等事業

ji 公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療事故情報収集等事業

医療 安全情報

No.183 2022年2月

製剤量と成分量の間違い(第2報)

医療安全情報No.9「製剤の総量と有効成分の量の間違い」(2007年8月)で、製剤量と成分量を間違えた事例を取り上げました。その後、類似の事例が8件報告されていますので再度情報提供します(集計期間:2015年1月1日~2021年12月31日)。この情報は、第66回報告書「再発・類似事例の分析」で取り上げた内容をもとに作成しました。

散剤の処方において、製剤量と成分量を間違えたことにより過量投与した事例が再び報告されています。

事例1のイメージ



- ◆ 「製剤量」は秤取量、秤量、「成分量」は主薬量、原薬量、力価などを示しています。
- ◆ この医療安全情報は、医療安全情報No.9「製剤の総量と有効成分の量の間違い」の第2報です。

製剤量と成分量の間違い(第2報)

事例1

当院では、散剤は成分量で処方オーダーすることになっていた。医師は散剤に製剤量と成分量があることを知らず、持参薬から院内の処方に切り替える際、診療情報提供書の「アレビアチン散10% 2g/日 1日2回 朝夕食後」の記載を見て、「アレビアチン散10% 2000mg/日 1日2回 朝夕食後」をオーダーした。薬剤師から疑義照会があった際、医師は診療情報提供書を確認し、2gと記載があったので2000mgでよいと思い、そのまま調剤するよう伝えた。薬剤師は、成分量2000mg/日(製剤量20g/日)を調製して払い出した。看護師は薬包に入った粉の量が多いことを疑問に思わず、患者に投与した。2日後、病棟薬剤師が過量投与に気付いた。

事例2

上級医Aは、患者にロイケリン散10%を投与する際、以前に勤務していた医療機関では製剤量でオーダーしていたため、製剤量を意図して150mgを処方するよう医師Bに指示した。当院では成分量でオーダーすることになっていたが、医師Bは指示された通り150mgと入力した。薬剤師から疑義照会があった際、医師Bは、上級医の指示通りに処方したのでそのまま調剤するよう伝えた。患者に成分量として1日15mgのところ150mgを10日間投与していた。

事例が発生した医療機関の取り組み

- ・処方オーダー画面や処方箋に「製剤量」あるいは「成分量」と表示する。
- ・散剤には「製剤量」と「成分量」があることを医師・看護師に教育する。

上記は一例です。自施設に合った取り組みを検討してください。

取り組みのポイント

- ・施設間の診療情報提供書などによる情報共有の際も、散剤の処方「製剤量」と「成分量」のどちらであるかを明記する。

(総合評価部会)

※この医療安全情報は、医療事故情報収集等事業(厚生労働省補助事業)において収集された事例をもとに、本事業の一環として総合評価部会委員の意見に基づき、医療事故の発生予防、再発防止のために作成されたものです。

本事業の趣旨等の詳細については、本事業ホームページをご覧ください。 <https://www.med-safe.jp/>

※この情報の作成にあたり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。

※この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課す目的で作成されたものではありません。



公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

〒101-0061 東京都千代田区神田三崎町1-4-17 東洋ビル

電話：03-5217-0252(直通) FAX：03-5217-0253(直通)

<https://www.med-safe.jp/>



沖縄県薬剤師会・消費者くすり相談窓口
「おくすり相談室」受付事例から
 消費者専用電話：098-963-8935

●医薬品一般●

[質問] 糖尿病の薬スーグラ（50）と血圧の薬アムロジピン（7.5mg）を朝1回飲んでいますが、夜8時にもまた飲んでしまった。大丈夫ですか？

[回答] アムロジピンを1日に2回服用されたことで、今後血圧が下がりすぎて、めまい、ふらつき、立ちくらみなどの症状が現れることがあります。念のため、今夜は外出を控え、安静にして様子を見てください。可能であれば、ご家族にも状況を伝えておくと安心です。また、スーグラについても、2回服用したことで低血糖の症状（めまい、ふらつき、冷や汗、動悸など）が起こる可能性があります。これらの症状が現れた場合は、すぐにブドウ糖や飴などを摂るようにしてください。明日朝の服用については、必ず主治医へご相談ください。

[質問] 左肩の痛みで昨年6月にもらった薬を、痛い時に飲んでいる。一昨年2月に首の神経痛で処方されたプレガバリンも残っているが、飲んで大丈夫か？

[回答] 以前に処方された薬を自己判断で服用することは、お勧めできません。特に、プレガバリンは一昨年の2月に処方された薬ですので、使用期限が切れている可能性が高いと思われます。薬の使用期限は一般的に製造から3～5年程度とされていますが、薬の種類によっては1年など比較的短いものもあります。この期限は、薬が未開封で適切に保管された場合の目安です。ご家庭での保管状態によっては、さらに品質が低下している可能性も考えられます。期限切れの薬を服用すると、期待される効果が得られないだけでなく、薬の品質が変化して思わぬ健康被害につながる恐れがあります。また、以前と現在の症状が同じとは限らないため、改めて医師の診察を受けることを強くお勧めします。

●安全性情報●

[質問] 逆流性食道炎でランソプラゾールとモサプリドを服用中。ランソプラゾールの副作用だと思うが、口渇と苦味が約4ヶ月続いている。また、口の中は常に泡状の唾液がある状態。複数の医療機関や薬局の薬剤師に相談しても「経過を見るしかない」と言うばかりである。病気の症状は良くなっているが、このまま様子を見るしかありませんか？

[回答] ランソプラゾールの服用による口渇は、よく知られている副作用です。口渇が続くと、唾液の量が減ったり、唾液の成分が変わったりすることもあるため、苦味を感じたり、唾液が泡状になった可能性も考えられます。まずは主治医に現状を詳しく伝え、治療法や他の対処法について相談することが大切です。また、歯科口腔外科または耳鼻咽喉科などの専門科で相談してみるのも一つの方法です。

[質問] 咳が続いていて、ツロブテロールテープ2mgを処方された。寝る前に1回使ったが、足がガタガタして、常に手が震えている。止めた方が良いですか？

[回答] ツロブテロールテープを使用により、手足の震えや動悸などの副作用が現れることがあります。こうした症状が出た場合は、テープを剥がすことで体内の薬の濃度が下がり、徐々に症状は治まります。このテープは1日1回貼ることで24時間効果が続きますが、貼ってから8～12時間後に体内の薬の濃度が最も高くなります。つまり、夜寝る前に貼った場合、明け方の時間帯に薬の効果が最も強く出るため、その頃に震えが強く出た可能性が高いと考えられます。テープを剥がしても震えがしばらく治まらないようでしたら、念のため、処方元の医療機関にご相談ください。

[質問] 先日、アーモンドを食べたら急に舌のしびれが起こり、救急でフェキソフェナジンを処方された。1回飲んだところ、動悸がした。病院の血液検査では何らかのアレルギーがあると言われたが、それがアーモンドかはわからないとのことだった。今まで普通に食べていたものに突然アレルギーが出るのでしょうか？また、フェキソフェナジンは途中で服用を中止してもいい薬ですか？

[回答] 日頃からよく食べるものに対しても、大人になってからアレルギーを発症する可能性はあります。長い期間摂り続けることでアレルギー反応が現われることもあります。今回の舌のしびれがアーモンドによるものかどうかは、当相談室では判断できません。また、動悸はフェキソフェナジンの副作用としても報告されています。もし薬の服用後に動悸が気になるのであれば、服用を途中で中止しても問題はないと考えます。しかし、大切なのは、必ず主治医にその旨を伝え、今後の服用について相談することです。自己判断で服用を中止する前に、医師の指示を仰ぐようにしてください。

[質問] 皮膚科を受診し、美容目的で顔にヒアルロン酸を注射した。ヒアルロン酸が目の血管に入ると失明することがあると聞いたが、私もそうなるのでしょうか？

[回答] ヒアルロン酸注射による失明はごく稀に報告されています。こうしたケースでは、通常、症状が注射直後から急激に現れることがほとんどです。もし注射から5日間が経過し、現在特に問題がないようでしたら、失明に至る可能性は非常に低いと考えられます。ただし、今後もし目のかすみ、視力低下、目の痛みなどの異常を感じる事があれば、速やかに注射を受けた医療機関を受診してください。

今月の特集・論文

*薬事情報センターで購読している雑誌の中より特集および文献情報を掲載しました。

【今月の特集】

- ◇ medicina 62 巻 4 号 (増)
- *総合力に対応する Emergency/Intensive Care Medicine
内科医ができる初期治療：応援が来るまでにできること
- ◇ medicina 62 巻 5 号
- *スクリーニング血液検査の素朴な“？”から始める“深み”
のある日常診療
- ◇ medicina 62 巻 6 号
- *抗菌薬の選び方・変え方・やめ方
- ◇ エキスパートナース 41 巻 5 月号
- *カテーテル周りの知識の再点検、病棟でのアラーム対応
まずはこれだけ！
- ◇ エキスパートナース 41 巻 6 月号
- *ファシリテーションのスキル、看護に必要な知識の総復習
- ◇ きょうの健康 4 月号
- *腰痛、糖尿病
- ◇ きょうの健康 5 月号
- *ひざの痛み、動脈硬化
- ◇ きょうの健康 6 月号
- *夜間頻尿・尿もれ、骨折を防ぐ
- ◇ 月刊薬事 67 巻 5 号
- *周術期の薬のトリセツ
- ◇ 月刊薬事 67 巻 6 号 (臨増)
- *抗がん薬治療の recipe
- ◇ 月刊薬事 67 巻 7 号
- *臨床と栄養の新戦略と実践テクニック
- ◇ 月刊薬事 67 巻 8 号
- *デジタル・AI 時代の薬剤師業務
- ◇ 産科と婦人科 92 巻 4 号
- *イラスト・写真でコツがわかる！産婦人科小手術&低侵襲手術
- ◇ 産科と婦人科 92 巻 5 号
- *胎盤を多角的に理解する
- ◇ 産科と婦人科 92 巻 Suppl.
- *産婦人科小手術&低侵襲手術
- ◇ 産科と婦人科 92 巻 6 号
- *新時代の若手キャリアをつくる - 産婦人科教育の最前線 -
- ◇ 総合診療 35 巻 4 号
- *内分泌疾患の常識チェック 40 問
- ◇ 総合診療 35 巻 5 号
- *ウォーター・ウォーズ カラダの中の“水”と病気
- ◇ 総合診療 35 巻 6 号
- *シマから学ぶ、プライマリ・ケアの未来 いざ、素晴らしき離島医療の世界へ
- ◇ 調剤と情報 31 巻 5 号

- *アトピー性皮膚炎の薬物治療
- ◇ 調剤と情報 31 巻 6 号 (臨増)
- *できる薬剤師をつくる現場の教科書 Next
- ◇ 調剤と情報 31 巻 7 号
- *ホルモンの学校
- ◇ 調剤と情報 31 巻 8 号
- *精神科領域における対人業務マニュアル
- ◇ 治療 107 巻 5 号
- *【第1特集】向精神薬処方への勘どころ【第2特集】リウマチ膠原病診断の Clue
- ◇ 治療 107 巻 6 号
- *【第1特集】いつもの発熱診療をすり抜ける重症感染症【第2特集】不登校に対して医師ができること
- ◇ 治療 107 巻 7 号
- *【第1特集】プライマリ・ケア必携漢方 35【第2特集】“長引く咳”診療をアップデートせよ！
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 330 号
- *STOP! カスハラ 薬局を守る患者対応術
- ◇ 日経ドラッグインフォメーション 331 号
- *苦手を克服 小児調剤の“ワザ”25 選
- ◇ 日本医事新報 5264 号
- *めまい診療ポイント解説
- ◇ 日本医事新報 5265 号
- *高齢社会の中の関節リウマチ診療
- ◇ 日本医事新報 5267 号
- *C 型肝炎克服時代の現状との残された課題
- ◇ 日本医事新報 5268 号
- *ちゃんと知りたい感染性心内膜炎
- ◇ 日本医事新報 5273 号
- *アトピー性皮膚炎診療の革新 {新規治療を使いこなす}
- ◇ 薬局 76 巻 4 号 (増刊)
- *みえる！わかる！婦人科・産科・女性医療のくすり
- ◇ 薬局 76 巻 5 号
- *GIP/GLP-1 受容体作動薬
- ◇ 薬局 76 巻 6 号
- *抗アミロイドβ抗体
- ◇ 薬局 76 巻 7 号
- *生成 AI × 薬剤師

【今月の論文等】

■薬物療法■

- ▶ 医師が語る 処方箋の裏側～貨幣状湿疹に処方したミノサイクリン
日経ドラッグインフォメーション (330) p.PE021
- ▶ “ ” CKD 患者にポラプレジックを処方する理由

日経ドラッグインフォメーション (331) p. PE013

- ▶ 社会薬学的観点から GIP/GLP-1 受容体作動薬を考える
- 痩身・ダイエットを目的とした適応外使用
治療 76 (5) p.92
- ▶ 長引く咳と抗菌薬適正使用最前線 [マイコプラズマ、百日咳]
治療 107 (7) p.84
- ▶ えびさんぼ (40) 持続型 GIP/GLP-1 受容体作動薬には、どのような効果が期待できますか?
治療 107 (5) p.6, 124
- ▶ えびさんぼ (41) 抗アミロイドβ抗体薬はアルツハイマー病の認知機能を改善しますか?
治療 107 (6) p.6, 112

■新薬■

- ▶ 添付文書から RMP、審査報告書まで 新薬ななめ読み[54]
ブイタマー[®]クリーム (タピナロフ)
月刊薬事 67 (5) p.181
- ▶ " [55]
フルミスト[®]点鼻液 [経鼻弱毒生インフルエンザワクチン]
月刊薬事 67 (7) p.168
- ▶ " [56]
クービビック[®]錠 25mg、50mg(ダリドレキサント塩酸塩)
月刊薬事 67 (8) p.168
- ▶ 専門医が教えるフォローアップの勤所～抗うつ薬服用開始初期の注意点
日経ドラッグインフォメーション (331) p. PE016

■安全性情報■

- ▶ セファロスポリンと凝固障害
総合診療 35 (4) p.456
- ▶ 医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・2型糖尿病患者は SGLT2 阻害薬で痛風リスクが低下?
・どのような効果が期待できますか?
薬局 76 (5) p.108
- ▶ 医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・降圧薬で高齢者の湿疹性皮膚炎リスクが上昇?
・降圧薬のアドヒアランスが悪い患者の特徴
薬局 76 (6) p.82
- ▶ 医薬品適正使用・育薬フラッシュニュース
・セフトリアキソンとランソプラゾール併用で心室性不整脈 / 心停止のリスク上昇
・体重が増加しやすい SSRI/SNRI は?
薬局 76 (7) p.108
- ▶ 抗アミロイドβ抗体の副作用管理
薬局 76 (6) p.59
- ▶ 薬物 - 栄養素間相互作用
月刊薬事 67 (7) p.66
- 薬剤師業務■
- ▶ 誰でもできる臨床研究 リアルワールドデータで学会発表、論文執筆 [12] 結果の解釈と考察
月刊薬事 67 (5) p.175
- ▶ " [13] 演題登録の仕方、発表スライドの作り方(口頭)、プレゼンの仕方、当日の注意点
月刊薬事 67 (7) p.132

- ▶ " [14] ポスター発表スライドの作り方、プレゼンの仕方、当日の注意点
月刊薬事 67 (8) p.175
- ▶ フォローアップに生かす薬歴の書き方～ステロイドの長期投与による副作用対策の記載
日経ドラッグインフォメーション (330) p. PE028
- ▶ プレガバリンが増量された高齢女性の介入ポイント
日経ドラッグインフォメーション (330) p. PE033
- ▶ 医師が伝えたい周術期に薬剤師に介入してほしいこと
月刊薬事 67 (5) p.17
- ▶ ガイドラインではわからない患者・家族の大切なものための緩和ケア薬の使い方 [7]
一石十五鳥!がん緩和薬の説明技法
月刊薬事 67 (5) p.162
- ▶ " [8]
医療者も患者も誤解の多い余命の話
月刊薬事 67 (7) p.162
- ▶ " [9]
患者が自分のがん治療の立ち位置を簡単に理解できる「おっしー分類」
月刊薬事 67 (8) p.170
- ▶ ステロイド外用薬と患者指導
調剤と情報 31 (5) p.51
- ▶ ポリファーマシーにどう向き合えばいい?～患者中心の処方適正化にチャレンジしよう～
調剤と情報 31 (8) p.85
- 産科・婦人科■
- ▶ 緊急避妊薬を適切に使用するために
調剤と情報 31 (7) p.40
- ▶ 女性アスリート - 摂食障害、無月経、骨粗鬆症
調剤と情報 31 (7) p.51
- ▶ これだけは押さえておきたい妊婦・授乳婦への向精神薬処方
治療 107 (5) p.50
- 漢方療法■
- ▶ ぐっとよくなる! 漢方処方快訣ビフォーアフター
〈第16回〉“病因論”の変換から処方を考え直してみる 漢方医学は「体質」をどのように扱うか
薬局 76 (5) p.135
- ▶ " 〈第17回〉「もう一つの選択肢」としての漢方治療 化膿性疾患に対する戦略を流用する
薬局 76 (6) p.116
- ▶ " 〈第18回〉意外に難しい加味逍遥散の使いどころ 「病名漢方」の一段上を目指す
薬局 76 (7) p.122
- その他■
- ▶ 薬剤師のデジタル革命 -IT に任せて“よいもの”、“わるいもの”
月刊薬事 67 (7) p.21
- ▶ ここまで来た医療 DX、今後はどうなる? - 電子処方箋
月刊薬事 67 (7) p.87

医薬雑誌ひろい読み

Medical Magazines Browsing

漢方薬を併用することによるオーラルフレイル対策 について

日本医事新報 5272月号

オーラルフレイル・口腔機能低下症への対策について解説します。

1. 口腔内環境

(1) 口腔衛生状態不良：舌・口腔・義歯などの十分な清掃とともに、歯周病治療時の排膿散及湯、口内炎時の半夏瀉心湯・黄連湯・平胃散などは、創傷治癒や感染対策も含めて有効です。

(2) 口腔乾燥症と粘膜免疫の低下：投与薬剤による口腔乾燥の確認は重要です。高齢者の陰虚による口渇も考慮し、水分摂取の管理、唾液腺マッサージ指導、口腔保湿剤の使用とともに、五苓散、白虎加人参湯、麦門冬湯、滋陰降火湯、八味地黄丸などの漢方療法も行われます。

2. 口腔運動機能

(1) 口舌口唇運動機能低下・低舌圧・嚥下障害
半夏厚朴湯はサブスタンスPを増加させ、反射（嚥下反射と咳反射）を調節することが知られています。口唇、舌、口蓋の筋力の回復・筋のトーン低下の是正には、舌・口腔の各種運動療法とともに、補中益気湯、十全大補湯など補剤系漢方での栄養状態の改善、筋力の回復が必要です。

筑波大学附属病院総合診療科 加藤士郎
昭和大学医学部生理学講座 山口孝二郎

薬剤性低栄養と臨床推論

月刊薬事 5月号

薬剤が要因となる低栄養のメカニズムは明確ではない。ポリファーマシーと低栄養は、65歳以上高齢者を対象としたシステマティックレビューで、統計学的に優位な関連があることが報告されている。薬剤性低栄養の予防にはポリファーマシーを解消し、適正な薬物療法へと推進する事や食欲低下、消化・吸収障害、栄養素の代謝を変化させる薬剤への考慮が必要になると考えられる。低栄養は、複数の要因が継続する時にリスクになる。薬剤は低栄養を決定する要因に直接および間接的に関連するため、薬剤の情報と生活機能の評価をあわせた上で原因究明することが必要となる。食欲低下を引き起こす間接的な原因として、いくつかの薬の副作用が該当する。栄養素欠乏症が遷延している可能性のある患者では、薬剤と栄養素の相互作用に注意する。薬剤と低栄養との関連を検討・介入していくためにはリハ薬剤の概念が基本となる。リハ薬剤は疾患モデルと生活モデルの双方を評価・推論することが可能になる。非分析的推論と分析的推論による仮説思考と検討を繰り返すことで、効率化と精度の向上が得られる。

社会医療法人 原土井病院薬剤部
中道真理子

男性更年期障害(LOH症候群)

調剤と情報 5月号

LOH症候群は、加齢に伴う性腺機能低下症候群であり、さまざまな身体症状、精神症状、性機能症状を呈する。LOH症候群の治療は、テストステロン補充療法 (TRT) を主軸として、諸症状に対する薬物を用いた対症療法が行われる。TRTの適応は、テストステロン値を参考にしつつ、あくまでLOH症状の有無や程度を考慮して判断する。LOH症候群を発症する中高年男性は、メタボリックシンドロームやうつ病などの好発年齢でもあり、基礎疾患に対する薬剤を内服している人も少なくない。中には、テストステロンの合成を低下させたり、作用を妨げたりするものもある。抗アルドステロン薬、スタチン系薬、フィナステリド、スルピリド、スピロノラクトン等もLOH症候群をきたす原因となり得るため、注意喚起が必要である。運動習慣の確立（筋トレ・有酸素運動）、食事の見直し（タンパク質・ビタミン・亜鉛）、睡眠の質向上（規則正しい生活、寝る前のスマホ操作・カフェイン摂取を控える）、ストレス管理（趣味やリラクゼーション法を取り入れる）などは、症状を改善させるだけでなく、未初の症状の予防にもなり得る。

SRHケアクリニック静岡 今井 伸

市販薬の不適切使用に対して薬局薬剤師にできること

治療 7月号

オーバードーズの対象となる市販薬は、薬局等の実店舗で購入される場合が多い。薬局薬剤師は、市販薬の不適切使用に対するゲートキーパーの役割を担う事が期待されている。薬局薬剤師を対象とした調査によれば、過去6ヶ月以内に顧客あるいは患者の市販薬乱用リスクに気づいた経験のある薬剤師は、全体の約13%と報告されている。特定の市販薬を頻回に購入する様子をきっかけに気付いた薬剤師が最も多かった。また、患者とのコミュニケーションを通じて、気づく場合も少なくない。薬剤師は患者の様子（顔色、服装、表情など）、患者との対話（傾聴や相談）を通じて、乱用のリスクを感じているようだ。「薬剤師がオーバードーズの対応なんてできるの？」-こういった指摘は、メンタルヘルスの支援機関や依存症の専門医療機関から受けることもある。薬剤師が乱用リスクに気付く、患者と関わりながら、より専門的な支援との連携を模索するなかで、こうした指摘は残念なことである。薬剤師1人ひとりがゲートキーパーの役割を意識しながら、支援を始めるきっかけを作ることができると期待している。

国立精神・神経医療研究センター 嶋根 卓也

Book Information

日薬幹旋図書のご注文は事務局(代表:098-963-8930)までお願いします。

※日薬幹旋図書は会員価格で購入できます。

※会員価格のない書籍については定価での購入となります。

★印は事務局カウンターまたは、情報センターに見本があります。

★【日薬幹旋図書】薬事衛生六法 2025

【発行】薬事日報社【発行日】2025年3月【版型/頁】B5判変型/約2,140頁

【定価】6,600円(税込) 【幹旋価格】5,940円(税込)

薬事衛生関連法令集の定番書！医薬品医療機器等法及び関係政省令、告示を中心に薬剤師法、毒劇、麻薬、医療保険、保健医療、食品・家庭用品、など薬事・医療・衛生関係法令を幅広く収載した法令集。

一問一答で確認！ 読んで覚える抗菌薬ベーシック

【監修】関 雅文【発行】じほう 【発行日】2025年2月

【版型/頁】B6変型判/288頁 【定価】3,740円(税込)

医療現場の第一線で活躍する執筆陣による抗菌薬の適正使用のための入門書。全15章で構成され、抗菌薬に関する知識の習得と抗微生物薬全般の使用法を学べる。初心者だけでなく中堅の方の知識のブラッシュアップにも最適。最後に赤シートを使った各章ごとの「一問一答」で理解度を確認しよう。

在宅医療のいろは ストーリーで学ぶ訪問薬剤師業務

【著者】丸一泰雅(タイガー薬剤師)【発行】南山堂【発行日】2025年4月

【版型/頁】A5判/182頁 【定価】3,300円(税込)

薬剤師のための、在宅医療の入門書が登場！

本書は小説パートと解説パートの二部構成。小説パートでは、新人薬剤師いろはが、在宅医療の経験が豊富なタイガー薬剤師とともに、在宅医療に挑戦していくストーリーが展開される。物語を通じて、在宅医療の流れや算定の考え方を楽しく学ぶことができる。解説パートでは、在宅医療に関する制度やサービス、調剤報酬について、基礎からわかりやすく解説。さらに、復習に役立つ章末問題も掲載。在宅医療に興味のあるすべての薬剤師におすすめの一冊！

患者と薬物のデータから考察する 薬効解析で調剤の視点が変わる説

【編著】黒木 央 【発行】じほう 【発行日】2025年5月

【版型/頁】A5判/252頁 【定価】3,850円(税込)

本書は、薬剤師が日々の業務のなかで抱くちょっとした疑問やひらめきを“●●説”として取り上げ、その根拠を患者背景や化学構造式、添付文書、インタビューフォームなどのデータから検討し、結論を導き出すという書籍である。例えば、突然、血圧のコントロールがうまくいかなかった患者に降圧薬が追加処方されていたとする。そのとき、「本当に降圧薬の追加でよいのか？」「他に問題はないのか？」と、頭の中を巡らせる薬剤師は少なくない。その気づきやひらめきを言語化し「降圧薬の追加で本当によいのか？ 説」として深掘りしていく。その他にも「謎の湿疹は日光と服用薬による副作用かも？ 説」や「プラバスタチン服用中なのにクラリスロマイシンはダメじゃない？ 説」など、調剤の現場で一度は経験する“あるある”や、時にはハッとするような気づきまで、新たな視点を得られる1冊。

薬事情報センターの利用のしかた

○業務内容

- (1)医薬品情報の提供 (2)「薬事情報おきなわ」の編集・発行 (3)医薬品に関するお問い合わせ
(4)消費者薬相談業務「おくすり相談室」 (5)ドーピング防止ホットライン業務

○業務時間

- (会員対象) 平日 午前：8時30分～12時 午後：1時～5時30分 (土・日・祝日休業)
(一般対象) 「おくすり相談室」・「薬剤師会ドーピング防止ホットライン」
平日(月～金) 午前：9時～12時 午後：1時～5時

※おくすり相談室及びドーピング防止ホットラインの電話は **098-963-8935** になります。お気軽にご利用ください。

○会員の利用方法

医薬品に関するご質問は、電話、ファクシミリで受付けています。また、情報センター所蔵図書の閲覧、文献調査、オンラインデータベース・インターネット利用等の目的で直接お越しいただく場合は、係の者が対応致しますので、なるべく事前にご連絡下さい。

TEL：098-963-8931 FAX：098-963-8937
沖縄県薬剤師会 薬事情報センター

★アンチ・ドーピング教育・啓発活動にご協力いただける スポーツファーマシストを募集しています！

沖縄県薬剤師会は、平成18年から「ドーピング防止ホットライン」を運営し、クリーンなスポーツを支援しています。このホットラインでは、一般の方々や医療関係者からのドーピングに関するご質問に、薬事情報センターが窓口となって対応しています。私たちがお届けするのは、いつでも信頼できる、正確な情報です。

ホットラインに寄せられた質問には、ご協力くださる複数のスポーツファーマシストで内容を確認し、合意を得た上で回答しています。この活動にご参加いただくことで、県内でのようなドーピングに関する質問があり、それに対してどう対応しているかを知ることができます。

また、当会は沖縄県スポーツ協会のスポーツ医・科学委員会と連携し、競技者向けのアンチ・ドーピング講習会や国体前の関係者への講義など、各競技団体への教育啓発活動も行っています。

沖縄県薬剤師会では、スポーツファーマシスト認定者の皆様のさらなるご活躍を期待しています。当会の薬に関する健康教育などの普及・啓発、そしてスポーツにおけるアンチ・ドーピング活動にご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。



学術研修

会 員
部 会 長 各 位
地区会長

沖縄県薬剤師会 会長 前濱 朋子
沖縄県病院薬剤師会 会長 中村 克徳

第38回沖縄県薬剤師会学術大会の演題募集について

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記学術大会を、令和7年11月16日(日) 沖縄県薬剤師会館およびWEBにて開催することになりました。つきましては、下記により演題を募集しますので、多数のお申し込みを頂きますようお願い申し上げます。ただし、原則として1グループ企業1演題とします。

記

1. 演題募集部門名

- | | | | |
|---------------|-------------|-----------|----------|
| ①保険薬局部門 | ②学校薬剤師部門 | ③女性薬剤師部門 | ④公衆衛生部門 |
| ⑤行政薬剤師部門 | ⑥病院診療所部門 | ⑦卸勤務薬剤師部門 | ⑧青年薬剤師部門 |
| ⑨医薬品情報部門 | ⑩試験検査部門 | ⑪地区・支部部門 | ⑫多職種連携部門 |
| ⑬OTC・健康食品関連部門 | ⑭災害・感染症関連部門 | ⑮その他 | |

2. 発表時間・方法

時間：1演題 10分（発表8分、質疑応答2分）

※演題の応募状況によっては、調整させていただくことがあります。

方法：口頭発表（Power Point）

申込方法と提出データについて

沖縄県薬剤師会ホームページ「お知らせ（薬局・薬剤師の皆様へ）」よりお申し込みください。

<県薬HP → お知らせ（薬局・薬剤師の皆様へ）
→ 第38回沖縄県薬剤師会学術大会の演題募集について>

●申込・講演要旨提出締切●

令和7年9月21日(日)まで

※昨年度より、申し込み時の要旨提出が必須となりました。締切日までに要旨提出が無い場合は申込受付を致しかねますので、ご注意ください。



演題募集申し込み

- ①講演要旨：「講演要旨作成要領」（本同報2枚目）に従って作成し、下記問い合わせ先のアドレスにメールでご提出ください。
- ②発表データ：Power Pointでの作成をお願いいたします。

【お問い合わせ】 沖縄県薬剤師会事務局（川平）

TEL:098-963-8930 E-mail: study@okiyaku.or.jp



「魔法のことば」



サンアイ薬品
知名 博樹

今回バトンを受け取りました沖縄県薬剤師会常務理事の知名と申します。

タイトルにある「魔法のことば」、ことばには勇気をくれたり、愛を感じたり、自分に魔法をかけたり、心を軽くしたり、前向きになれたり、と色々な力が宿っています。

映画の中でのセリフ、著名人の残した言葉や格言、ことわざなど心に刺さる言葉はたくさんありますが、私にとっての「魔法のことば」は大好きなディズニー作品数々に出てきます。

今や世界中の人々がディズニーの世界を楽しんでいます。まさにディズニー作品は名言の宝庫です。産みの親でもあるウォルト・ディズニー自身も、夢をかたちにする数々の言葉を残しています。

その一つに「It all begins with dreams,」(全ては夢みることから始まる)とウォルトは語っていました。彼はミッキーマウスを生み、世界初の長編アニメーション「白雪姫」を作り、ディズニーランドを建設しました。夢を実現した彼自身や彼の作品の言葉はとて心に響きます。

また東京ディズニーランドでは、ワンマンズドリームII-ザ・マジック・リブズ・オンというウォルト・ディズニー自身の夢の軌跡を描いた様々なディズニー映画の世界を紡いでいく壮大なミュージカルショーも開催されていました。(現在は終了しています)

さて本題の私にとっての「魔法のことば」ですが、それは「A very merry unbirthday♪」ということば、直訳すると「お誕生日じゃない日おめでとう」となります(作中では“なんでもない日おめでとう”と訳されます)。

これはディズニー長編アニメの一つ「不思議の国のアリス」の作中、アリスとマッドハッター達のティーパーティー・シーンで出てくる会話の一幕です。

この世に生を受けてちょうど〇年、お誕生

日にはたくさんの人からおめでとうの言葉をかけてもらえる1年の中で誰しもが特別な1日となります。残念な事にそのお誕生日は1年に1回しかありません、ですがお誕生日じゃない日をお祝いすれば365日中364日をお祝いできる、1年のほぼ毎日を特別で楽しい日にしましょう~という訳です。

元気が欲しい時、憂うつな時などにはいつも心の中で「A very merry unbirthday, to me!」とつぶやき、今日も特別な日だから楽しめない!って自分に魔法をかけています。もちろん人から親切にされたり、褒められたり、認められたり、楽しく過ごしている時でもどんな時にもこのことばをつぶやきます。

私にとってこのセリフは所作を正し、毎日をそして心を豊かにしてくれるまさに「魔法のことば」なのです。毎日を豊かに過ごすとなぜか自然と大切な人や周りにも「いつもありがとう」と感謝するようになります。

みなさんもぜひ自分専用の「魔法のことば」を探してみてください。

「魔法のことば」を心の中でつぶやく事で毎日を豊かに、そしてたくさんの人に感謝をしながら過ごしていける生き方ができると信じています、毎日を大切な人と共に楽しく過ごしましょう!

それでは、……、 A very merry unbirthday♪
… to me ?
… for you !



夜のシンデレラ城



ワンマンズドリームIIの一幕

次号には、久手堅 奈央 先生がバトンを受けて下さいました。ご期待下さい!

第70回 暮らしの中の薬草学 身近な薬草を知ろう



女性薬剤師部会
副部長 狩俣 イソ

沖縄コーヒーと銘打ったものを買っていましたが、よく見ると輸入豆を沖縄で焙煎したものでした。沖縄では現在、無農薬による栽培から収穫、乾燥、脱穀、選別、焙煎、出荷、珈琲店の展開までの6次産業化を実践しています。

コーヒー

学名 *Coffea arabica* アラビカ種
Coffea canephora カネフォラ(ロブスタ)種
C. benghalensis、*C. congensis*、その他
科名 アカネ科 Rubiaceae
属名 コーヒーノキ属 *Coffea*
使用部位 果実、茎、葉、
有効成分 カフェイン、クロロゲン酸類
カフェ酸、トリゴネリン、フェニルインダン



【コーヒーの木の特徴】

コーヒーノキ(コーヒーの木)は、アカネ科コーヒーノキ属の植物の総称で、主に栽培種を指す。多数の野生種もある。常緑樹で光沢を帯びた葉と白い花をつけ、鮮やかな赤から紫、または黄色の果実ができる。発芽から3年~5年で、ジャスミンに似た香りの白い花を咲かせる。その後50年~60年に渡り、コーヒーチェリーと呼ばれる果実を付ける。通常、赤又は紫の核果で、黄色の品種もある。果実が成熟するまでに約9か月かかり、熟した果肉は甘く食べられるが、量が非常に僅かである。果実の中には2粒の種子(コーヒー豆)が向かい合わせに入っている。1粒の丸い種子(ピーベリー)が付くものは、同じ樹には5%以下しか出来ない。通常のもの比べると焙煎後の味が微妙に異なる。

樹高は9m~12mに達するが、厳しい剪定に耐えることから、農園では実の採取に適した3m~3.5m程度で管理される。本格的な栽培は17世紀以降に始まり、栽培種の原因はアフリカ大陸中部で、エチオピアのアビシ

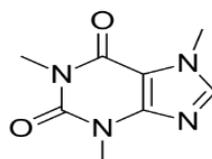
ニア高原やコンゴ、西アフリカが知られている。沖縄に多いアラビカ種の原因はエチオピア南西部の高地である。

生育には、熱帯地方のサバナ気候や熱帯モンスーン気候の雨季と乾季、又は熱帯雨林気候の山岳地帯など、昼夜で寒暖差が大きい気候が適し、多雨も好む。一方、冬霜など寒さに弱い。土壌は有機質に富む肥沃土、火山性土壌を好み、火山帯や高地が適し、特にブラジルのテラローシャは最適とされる。赤道を挟んで北緯・南緯25度に位置するコーヒーベルトと言われる暑い国の、涼しい場所での栽培が多い。沖縄は寒い国というイメージだが、実は夏の気候は他国の栽培環境と比べ過酷である。

【コーヒーの機能性成分】

コーヒーはポリフェノール(クロロゲン酸)が200mg/100ml含まれている。赤ワインに次ぐ量230mg/100mlである。果実はカフェインが多く含まれ、果肉や葉にも若干含まれている。カフェインは焙煎しても変化しないが、ほとんどの成分は焙煎度に応じて大きく変化する。クロロゲン酸類は焙煎により減少する。コーヒーの生豆には各種食品と比較してトリゴネリンが最も多く含まれているが、熱に弱く焙煎によりほとんど失われてしまう。焙煎により生豆には含まれていない褐色色素や活性酸素などが生成される。

【カフェイン】

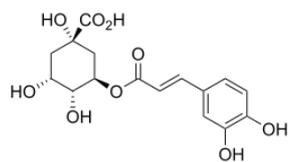


カフェインはアルカロイドの1種であり、プリン環を持ったキサントインと類似した構造を持った有機化合物の1つである。

ヒトなどに対して興奮作用を持ち、世界でも広く使われている**精神刺激薬**である。アデ

ノシン（神経の興奮を抑える作用がある）と構造が似ているカフェインはアデノシン受容体に拮抗することによって**覚醒作用、解熱鎮痛作用、弱い強心作用、利尿作用**を示す。

【クロロゲン】

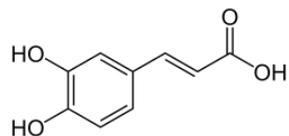


クロロゲン酸は**酸化作用**を持つ。インスリンの分泌細胞を守る働きや、体内で**糖新生（糖の合成を抑える）**ことが示唆されている。

またクロロゲン酸類は内臓脂肪燃焼を促す作用を持つ。動物実験でコレステロール値の改善など**高脂血症の症状が軽減**する可能性が示唆されたとの報告もある。

クロロゲン酸はアミロイドβが脳に蓄積するのを防ぐ作用もある。すでに蓄積したアミロイドβを取り除く作用があるとも指摘されている。脳細胞の保護につながるため、**アルツハイマー型認知症のリスク低下**が期待できる。

【カフェ酸】



コーヒー生豆の焙煎により、クロロゲン酸類は**カフェ酸とキナ酸、フェノール類**に変化する。

カフェ酸は**癌細胞の増殖および血管内皮増殖因子を抑制**する可能性が考えられた。しかし一方、国際がん研究機関はカフェ酸をヒトに対する**発癌性の恐れがある Group2B 扱い**としている。

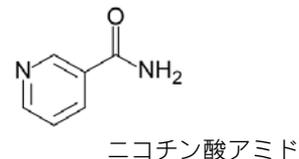
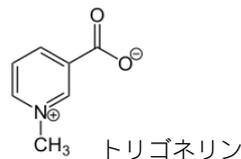
ヒト単球細胞にカフェ酸を添加したところ、**t-ヒドロキシルパーオキシナイトライト誘発の酸化ストレスが緩和**された。カフェ酸はグルタチオンの枯渇や脂質過酸化を抑制すると考えられる。カフェ酸誘導体が**LDL 酸化抑制に役立つ**ことから、カフェ酸が**動脈硬化症の予防**に役立つことも示唆された。

【フェニルインダン】

フェニルインダン類は2分子のカフェ酸が

縮合してできる。コーヒーの苦み成分の1種で、コーヒー豆の焙煎過程が長いほど含有量が増える。フェニルインダンは**アミロイドβ及びタウ凝集を阻害**する。すでに蓄積した**アミロイドβを取り除く作用**があるとも指摘されている。

【トリゴネリンTRG】



トリゴネリンには、**脳の老化やアルツハイマー型認知症を予防**する効果があるという研究成果が出ている。自然発症老化促進モデルマウスを用いて、TRGが記憶と空間学習（空間内での自分の位置の認識）に及ぼす影響を、認知・分子生物学的側面から統合的に検討した。神経系の発達、ミトコンドリア機能、ATP合成、炎症、オートファジー、神経伝達物質の放出に関連するシグナル伝達経路が有意に活性化された。さらに神経炎症を抑制し、神経伝達物質の放出の経路を活性化することを確認した。

またタンパク質定量解析により、海馬領域において、炎症性サイトカイン TNF α、IL-6 が有意に減少し、神経伝達物質であるドーパミン、ノルアドレナリン、セロトニンが有意に増加することが確認されている。コーヒー豆を焙煎することで、TRGの含量は低下する。

一方構造式の類似したニコチン酸アミド含量は焙煎によって増大する。幼若ラットの成長試験で確認すると、コーヒーはNiAの給源として重要な飲料である。TRGは酵素的、熱分解的にNiAに再変換され、ビタミンとして再利用され得る生体成分で、一種の**NiAの貯蔵形**であることが明らかになっている。

参考 健達ネット、TUKUBA JOURNAL、k a u、J-GLOBAL、日本食品科学工学会誌、薬用植物一覧、沖縄コーヒーアイランド、三重大学生物資源学部生物化学分野、ドクター小澤STORE

コーヒー粉末10gを熱湯150mlで浸出

第八訂日本食品標準栄養成分表

エネルギー	蛋白質	炭水化物	灰分	水分	リン	マグネシウム	カリウム
4kcal	0.2g	0.7g	0.2g	98.6g	7mg	6mg	65mg
ナトリウム	カルシウム	ビタミンB2	鉄	ナイアシン	ピオチン	タンニン	脂質
1mg	2mg	0.01mg	ごく微量	0.8mg	1.7μg	0.25g	微量

薬連だより

第27回参議院議員通常選挙結果報告

「本田あきこ」 当選しました！

沖縄県本田あきこ後援会
沖縄県薬剤師連盟
会長 前濱 朋子

会員の皆様には、平素より本連盟活動へのご支援に衷心より厚く御礼申し上げます。

この度、投開票された第27回参議院議員通常選挙において、私たち薬剤師の代表「本田あきこ」が自民党比例区候補者31人中11番目で当選を果たしました。

ここ数ヶ月の間、地区薬剤師会・幹事長はじめ総務役員・関係者と共に、薬剤師職能確立のために政治の必要性のご理解をお願いして参りました。会員の皆様の一票一票の積み上げにより、結果を得ることが出来ました。

今後、国の医療政策において薬剤師職能が十分に発揮できるよう「本田あきこ」と共に頑張っていきましょう。

本田あきこ

比例区自由民主党得票順位 11位

(自由民主党獲得比例議席数 12席)

得票総数 152,518票

(総務省)



薬連だより

本田あきこ街宣車出発式

日時：令和7年7月3日（木）18:00～18:30



令和7年7月3日、第27回参議院議員選挙が公示され、南は沖縄、北は北海道から本田あきこ街宣車が全国へ向け出発した。出発式では、沖縄県薬剤師連盟・沖縄県本田あきこ後援会の代表を務める前濱朋子会長が「我々薬剤師や薬局・薬業界の代表として積極的に国政で活動する本田あきここそ、『現場と政治をつなぐ』現場主義のリーダーとして必要不可欠である。本田あきこを国政へと送り出すため、全力でがんばってまいりましょう。」と挨拶した。

この日のために東京での本田あきこ出陣式を終え来沖した、日本薬剤師連盟・本田あきこ中央後援会の大澤泰輔、浜田嘉則両副会長の挨拶では、「数年前から悲願であった街宣車の沖縄からの出発を実現でき大変感慨深い。」と喜びを語り、参加者の士気もより一層高まった。

石川恵市幹事長による恒例のがんばるぞ！コールを終え、街宣車はすこやか薬局新川店前の交差点での街頭演説に向け出発した。

（報告：事務局 川平真央）

スナップ写真



薬連だより

本田あきこ決起集会

会期：令和7年6月19日（木）19：30～20：30

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

1. 主催者あいさつ

司会 沖縄県薬剤師連盟 組織強化担当 知名 博 樹

沖縄県薬剤師連盟 会長 前濱 朋子

日本病院薬剤師連盟 沖縄支部長 姫野 耕一

日本薬業政治連盟 沖縄県支部長 比嘉 勝也

2. 日本薬剤師連盟会長あいさつ

日本薬剤師連盟 会長 岩月 進

3. 来賓あいさつ

参議院議員 神谷 政幸

自由民主党沖縄県支部連合会 会長 島袋 大

自由民主党 沖縄県参議院議員選挙区 第二支部長 奥間 亮

4. 決意表明

本田 あきこ

5. がんばるぞ！コール

沖縄県薬剤師連盟 幹事長 石川 恵市



本田あきこ氏と共になんぼるぞ！コール

去る6月19日（木）午後7時30分より本会館ホールにて、沖縄県薬剤師連盟・日本病院薬剤師連盟沖縄支部・日本薬業政治連盟沖縄支部の共催で、「本田あきこ決起集会」を開催した。司会進行は、本会連の知名博樹組織強化担当が務めた。

主催者から、本連盟の前濱朋子会長、日本病院薬剤師連盟沖縄支部の姫野耕一支部長、日本薬業政治連盟沖縄支部の比嘉勝也支部長の順で挨拶を頂いた。

次に、Webから出席の日本薬剤師連盟の岩月進会長に挨拶を頂き、来賓挨拶に移った。国会期間中ともあり現地出席ができなかった

神谷政幸参議院議員のビデオメッセージを放映した。ビデオメッセージの内容は以下の通り。

「本年5月14日、我々の業務に大きく関係する薬機法の改正案が成立した。医薬品供給問題対応やいわゆる零売規制については、非常に注目度も高く話題になった。日本のあらゆる地域の医薬品提供をどのようにしていくのか、また、薬学的管理や薬剤師サービスをあらゆる地域で継続していくための対応策が、この改正の中に盛り込まれた。日本薬剤師会が提唱する地域医薬品提供計画につながる内容が、この薬機法改正の中に込

められていたわけである。これからの薬剤師業務をしっかりと継続し、医薬品提供を続けていく上で、非常に重要な計画であると考えている。そのためには今後、医療法の改正が必要となり、それと同時に各地域で行政と薬局、行政と薬剤師が連携していくことが重要になってくる。そのためにも、薬業界の声をしっかりと国政に届けてくれる代弁者が、また各地域の医療と医薬品提供の課題に対する声を未来につなげる代弁者が必要になってくる。我々の同志であり、この六年間しっかりと薬業会のために汗をかいてきた本田あきこ先生が、この志をたててくださっている。沖縄の皆様より、再び国政に押し上げていただくことをお願い申し上げ、この夏の戦い、私も皆様と共に汗をかいて、全力で闘っていくことを誓い、激励の挨拶とさせていただきます。」

続けて自由民主党沖縄県支部連合会の島袋大会長から力強い挨拶を頂いたあと、司会が國場幸之助、宮崎政久、島尻安伊子、西銘恒三郎の地元4衆議院議員から寄せられた激励のメッセージを読み上げ紹介した。

そして、糸満市内の集会から駆け付けた自由民主党 沖縄県参議院議員選挙区の奥間亮第二支部長の挨拶の後、本日の主役である本田あきこ参議院議員の力強い決意表明が行われた。

「本日頂いた激励の言葉の中にも、これから2期目に向けて、医薬品の安定供給や賃上げ、薬剤師確保等、様々な問題がある。国会でも財源論になってしまっていることを、私自身一番危惧している。長寿社会において、国民皆保険制度は日本の誇るべき成果である。しかし、団塊世代が75歳を迎える2025年、どのように医療を継続していくか非常に大きなテーマである。高齢化社会において増え続ける医療費を抑えるために、いかに無駄を削減するか。社会保障も非常に大きなテーマである。社会保障費の中で様々な意見がある時に、我々の業界がここで政治を諦めてしまっただけでは、諦めた人から予算を取ろうと思っている人が多くいる。医薬品の供給不足が4年近く経っても解消していないから政治は諦める、ということではなく、厳しい時でも少し

主催者あいさつ



沖縄県薬剤師連盟
前濱朋子
会長



日本病院薬剤師連盟 沖縄支部
姫野耕一
支部長



日本薬業政治連盟 沖縄県支部
比嘉勝也
支部長



より一層士気を高めた



司会
沖縄県薬剤師連盟
知名博樹
組織強化担当



がんばろぞ！コール
石川恵市
幹事長

ずつ成果を出していくのが次の6年だと思う。粘り強く主張を続けていくことで、地域の思いを要望し続ける。それが肝要である。

私の議席は、本田あきこという一議員の議席ではない。日本薬剤師連盟の組織内候補として、応援していただける皆様の声の代弁者として前回15万9596票という力で送っていただいた。日本薬剤師連盟としてやっと63年かけてできた2人体制である。この2人体制を堅持していくこと。骨太方針に医薬品卸会社における流通の問題を盛り込むことができた。ここから先12月まで骨太方針に入れただけで安心するのではなく、賃上げも含めて皆様の声を届けるためには議席を守って仕事をしていくことが何よりも重要である。

沖縄の声として、離島医療を支える皆様の

ことや、国公立大学の薬学部設置に係る要望を届ける時に、沖縄の一議席だけではなく、私本田あきこも入ることで二議席の力で沖縄の声を届けることができる。そのためにも、私も沖縄の皆様のために精一杯頑張らせていただきたい。次世代の力として沖縄の笑顔のために頑張りたいと思っている。どうか、ご参集の皆様の力を貸していただくことを心よりお願い申し上げ、私本田あきこの決意の挨拶とさせていただきます。」

本決起集会には各地区薬剤師会会員、県病院薬剤師会会員、医薬品卸業関係者が平日にも関わらず多くご参集いただき、本連盟の石川恵市幹事長による力強い「がんばるぞ！コール」で、より一層士気を高め閉会となった。（報告：事務局 川平真央）

お知らせ

沖縄県薬剤師連盟の各SNSをご覧ください！

当連盟の活動をご覧のうえ、ぜひ、いいね、シェアをお願いいたします。

薬連だより

本田あきこ参議院議員との意見交換会

日時：令和7年5月31日（土）10：00～11：00

会場：沖縄県薬剤師会館 研修室



5月31日、沖縄県薬剤師会館にて本田あきこ参議院議員との意見交換会が行われました。今回の意見交換会では、

- ・在宅医療における薬剤業務の報酬の低さ
- ・薬局における不働在庫の問題
- ・抗がん剤などの高額医薬品の処方単位に関する要望（1箱分の倍数での処方）

といった、私たちが日頃から直面している課題について直接お伝えしました。

先生は在宅医療をしていて倒産した薬局があったことを話され、在宅における訪問薬剤指導料の点数の見直しが課題であり、また高額医薬品の処方単位に関しては製薬会社や医師会へ問題提示していくなどのご意見を伺うことができました。

沖縄県薬剤師連盟
総務 草壁 瑞恵



意見交換会を通して本田参議院議員が私たち現場の薬剤師の生の声を国政に届けてくださることで、薬剤師が専門性を存分に発揮し、安心して働き続けられる環境を実現してくれると強く感じました。

薬連だより

令和7年度 沖縄県薬剤師連盟定時評議員会

日時：令和7年6月22日（日）13:00～13:25

会場：沖縄県薬剤師会館 ホール

<式次第>

会長あいさつ

議題

報告 第1号 令和6年度会務並びに会計監査報告の件

議案 第1号 令和6年度会務および事業報告書の件

第2号 令和6年度収支決算書の件

第3号 沖縄県薬剤師連盟監事選出の件

第4号 沖縄県薬剤師連盟役員選出の件

「がんばろぞ！コール」

司会 副幹事長 名 嘉 紀 勝

会 長 前 濱 朋 子

監 事 江 夏 京 子

幹 事 長 石 川 恵 市

会計責任者 川 満 直 紀

会 長 前 濱 朋 子

会 長 前 濱 朋 子

組織強化担当 知 名 博 樹

沖縄県薬剤師会第72回定時総会に先立ち、沖縄県薬剤師連盟定時評議員会が開催された。

司会進行の名嘉紀勝副幹事長より、本評議員会の議長について、本連盟会則第12条第3項に「評議員会の議長は会長とする。ただし、会長は総務の中から議長を委任することができる。」とあることから、先だって、会長から議長を委任されたことが述べられ、議長を務めた。

評議員には事前に、欠席の場合は「予備評議員を出席させる」もしくは「議決権の代理行使」を提出していただくよう案内していた。現地に参加した評議員は30名、「議決権の代理行使」を提出した評議員が5名の計35名であった。本連盟会則第15条に、「評議員会は評議員の過半数の出席をもって成立し、承認および議決は出席者の過半数をもって決するものとする」とあることから、評議員数46名の内、過半数の35名が出席扱いとなり、議長が開会を宣言した。

前濱朋子会長が次のように挨拶した。

「日本薬剤師連盟（本田あきこ中央後援会）では、来月7月に控えた参議院議員選挙にお

ける本田あきこ参議院議員の2期目に向けた選挙への取り組み、政治活動を行っており、これに準じて、各都道府県薬剤師連盟でも活動している所である。沖縄県薬剤師連盟も沖縄県本田あきこ後援会としての活動を行っており、会員の皆様には、すでに紹介者名簿、支援者名簿の提出にご協力頂いているところである。また、地区薬剤師会においては、薬局訪問のスケジュール調整や、役員同行での訪問を実施していただいているところである。ご対応いただいた会員の皆様に改めて感謝申し上げます。さて、我々薬剤師を取り巻く環境は大変厳しくなっており、解決すべき課題が山積している。その課題を、我々の声を国政に届ける、それが本田あきこをはじめとする薬剤師国会議員なのである。本田議員は、我々薬剤師や薬局・薬業界の代表として国政において積極的に活動されている。本田議員がこれまで実現した政策は、本日配布しているので改めて確認いただきたい。先日、沖縄県薬剤師連盟、日本病院薬剤師連盟沖縄支部、日本薬業政治連盟沖縄県支部の共催で開催し

た本田あきこ決起集会での岩月日本薬剤師連盟会長の言葉を借りれば、『投票とは、自分の意見を代弁してくれる者に届ける』ということ。まさに、本田議員は、我々の意見の代弁者なのである。会員の皆様の中には、別の支持政党があつて、という方がいるかもしれない。しかし、自分の生活基盤を守って初めてその政治活動もできるわけだから、参議院議員選挙の全国比例区では、職能団体推薦の候補を応援すべきではないか。3名しかいない薬剤師国会議員を減らすわけにはいかない。我々と課題を共有している本田議員の政治活動は、絶対に必要である。本田議員を支援するため、『我ら薬剤師党』として、全力で応援していこう。」

報告第1号「令和6年度会務並びに会計監査報告の件」は、江夏京子監事が、監査意見について、

- (1) 収支決算書、貸借対照表、財産目録等は、会計帳簿の記載金額と一致し、収支状況及び財政状態を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 役員職務執行に関する不正の行為等の重大な事実はないと認める。

と、報告書を読み上げて監査報告とした。

議案に入り、議案第1号「令和6年度会務および事業報告書の件」を石川恵市幹事長、議案第2号「令和5年度収支決算書の件」を川満直紀会計責任者、第3号「沖縄県薬剤師連盟監事選出の件」と第4号「沖縄県薬剤師連盟役員選出の件」は前濱朋子会長が説明した。

議案事項における主な提案は、次の通りである。

議案第1号「令和6年度会務および事業報告書の件」は、同報告書を作成したことから本連盟会則第13条の規定に基づき承認の決議を求めるものであること、また、去る5月8日に沖縄県薬剤師会館研修室で江夏監事、山里監事の監査を受けていることを説明のうえ、主な事業として「青年薬剤師部会主催中部地区若手薬剤師フォーラム」「青年薬剤師

部会主催北部地区若手薬剤師フォーラム」「沖縄県若手薬剤師フォーラム」「沖縄県薬剤師連盟定時評議員会」「沖縄県薬剤師連盟臨時評議員会」、そして、自由民主党沖縄県支部連合会が開催した沖縄政治大学校講座に「沖縄県における薬学部設置問題について」と題して神谷政幸参議院議員が講義したことを報告した。

議案第1号は、特に質疑もなく、出席評議員の過半数の賛成の挙手により、承認・可決された。

議案第2号「令和7年度収支決算書の件」では、科目ごとの数字を読み上げ、その後詳細について説明した。

収入については、会費収入はほとんど前年度並みだが、日本薬剤師連盟より参議院議員通常選挙活動助成金があつたため、寄付金収入が前年度を大きく上回った。

支出については、管理費の大半は薬剤師会への事務委託費である。また、昨年度より力を入れているSNS活動に必要な物品購入や、事業費については、県外や離島への出張及び議員報告会等の支出がほとんどであり、その他、閉局した会営薬局うえはらの書類等を保管するスペースを確保するため、薬連室に長期保管していた不用書類や資材等を廃棄するための支出もあつた。

令和6年度の収支決算書は、参議院議員通常選挙活動助成金収入もあつて利益を算出したが、今年度は、会費収入以外ほとんど収入が見込めない状況であるため、支出が収入を大きく上回る見込みであることから、経費の節約や今年度以降の支出の見直しが必要であると報告した。

議案第2号は、特に質疑もなく、出席評議員の過半数の賛成の挙手により、承認・可決された。

議案第3号「沖縄県薬剤師連盟監事選出の件」では、令和7年度定時評議員会終結の時をもって沖縄県薬剤師連盟監事の任期が満了することから、この後に開催される沖縄県薬

剤師会定時総会において選任される監事を本連盟の新監事に選出することについて承認の決議を求めた。

議案第3号は、特に質疑もなく、出席評議員の過半数の賛成の挙手により、承認・可決された。

議案第4号「沖縄県薬剤師連盟役員選出の件」は、令和7年度定時評議員会終結の時をもって本連盟役員の任期が満了することから、配布資料のとおり新役員（監事を除く。）を選出することについて承認の決議を求めた。配布資料の新役員一覧の会長欄が空白となっている理由は、本連盟会則第9条第2項に「会長は、沖縄県薬剤師会会長をもってあてる。」と規定されており、この後に開催される新役員による臨時理事会で会長候補者が

正式に会長に選定される予定で、現時点では決定していないため、新役員の名簿の会長の欄は空白としていることの説明等があった。

議案第4号は、特に質疑もなく、出席評議員の過半数の賛成の挙手により、承認・可決された。

閉会前に、知名博樹組織強化担当の音頭で、本定時評議員会参加者全員で「がんばるぞ！コール」を実施し、本田顕子参議院議員への激励を込めると同時に士気を高め、令和7年度沖縄県薬剤師連盟定時評議員会は終了した。

(文責:事務局 大城喜仁・玉寄博之・川平真央)



報告第1号
江夏京子
監事



議案第1号
石川恵市
幹事長



議案第2号
川満直紀
会計責任者



議案第3号・4号
前濱朋子
会長



司会進行・議長
名嘉紀勝
副幹事長



本田あきこ参議院議員への激励と士気を高める
がんばるぞ！コール

薬連だより

オレンジ日記

節目



参議院議員・薬剤師
本田 顕子

例年私たちは幾つかの「節目」の年に当たる出来事に思いを馳せ、その当時を顧みつつその時々、社会、経済または文化的活動の糧にしながら今日の成長、発展、繁栄につなげてきています。

例えば偉人・著名人の生誕や没後の節目においては、当時の功績を讃えつつ、その功績の根底にある努力や苦勞に共感し、それらを教訓というエピソードにして代々語り継いできました。

令和7年も様々な出来事の節目を迎えています。

阪神・淡路大震災は30年前の平成7年に発生しました。

自然災害に対して人類は無力と言われがちですが、自然災害に関しては、節目を迎えるか否かに関わらず、常に防災・減災のための万全の努力と備えを続け、それでも地震、風水害、火山噴火などに見舞われた際は、課題を整理して更なる対策を講じることでより強

固な備えとすることが、人類が生存し続けるために必要なことと思います。

そのほかの今年の節目には、終戦から80年、最初の先進国首脳会議開催から50年、地下鉄サリン事件発生から30年、京都議定書の発効から20年などがあります。

令和元年7月から間もなく丸6年が経ちます。

折しも満25歳以上の男子に選挙権を与える普通選挙法が制定されて100年、そして女性参政権が認められて80年の節目となる今年、国民のいのちと暮らしを守るために、これまで薬剤師および薬業界の声を国政に届け続けてきた6年間に皆さんに顧みていただくこととなります。

政治から薬剤師が忘れられないためにも、これまでの経験と実績を生かして引き続き課題解決と政策実現に力を尽くし、「節目」の年に万全の努力と備えを続けてまいります。



「衆議院議員選挙法中ヲ改正ス」
女性に選挙権および被選挙権を認めたとときの改正法公布時の閣議書
(国立公文書館ホームページより)



令和7年4月7日 参議院決算委員会での質疑

近況

～薬機法改正法案を巡るコラボ～

本年1月24日に開会しました第217回通常国会は、本稿をお読みいただく頃には終盤に差し掛かり、厚生労働委員会をはじめ各常任委員会では、内閣提出の各種法案の会期内成立に向けた審議日程に関する与野党間の調整が激しさを増す時期を迎えていると思います。

今国会に提出され、4月17日に衆議院で可決されました「薬機法」（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）等の一部を改正する法律案については、5月8日の参議院厚生労働委員会で実質的な審議が始まり、与野党全体のトップバッターとして神谷政幸先生が質疑に立ちました。

内容が多岐にわたる今回の改正では、社会問題化している濫用防止対策について、薬機法が“流通規制”として、濫用のおそれのある医薬品の販売にあたり制限的な取扱いを求めています。

加えて特筆すべきは「後発医薬品製造基盤整備基金」の創設です。医療用医薬品の供給を安定化させるため、基金に国費を投じて生産性向上に向けた設備投資や事業再編などを

支援します。基金の法的位置付けはいわゆる「基盤研法」になりますが、平成5年、薬事法（当時）の目的規定に「研究開発の促進」等を加え、希少疾病用医薬品などの研究開発の促進を図った法改正に匹敵する思い切った改正になります。

今国会で私は厚生労働委員会所属ではありませんが、4月7日の決算委員会にて、創薬力強化を念頭に、多様な人材輩出に資する薬学教育コアカリキュラムの改正となるよう求めました。また4月15日の文教科学委員会では、OTC医薬品の過量使用による健康被害が若い世代で増え続けている折、小学校低学年の学習指導要領に「くすりの適正使用」を加えるよう提案しました。

質疑の場は違うものの、厚生労働、文部科学両省で大臣政務官を務めた経験を生かし、薬剤師議員二人体制の強みを最大限発揮して、物価対策・賃上げ対応を含め、これからも薬剤師や薬業界を取り巻く課題を解決していきます。



所属委員会は違えど、常に神谷政幸先生と共に
(2022年11月24日 参議院厚生労働委員会)



2025年4月15日 文教科学委員会での質疑

6月4日 先勝 事務所開き

地域によっては平年並みか又は遅めではあるものの、全国的に梅雨の時期に入りました。蒸し暑さと時折感じる肌寒さに注意を払い、体調の維持・管理に万全を期したいと思います。年々夏の暑さは厳しさを増していますが、特に今年は気象上の「暑さ」以上の「熱い」夏になりますので、皆様と共に頑張ってください。

6月4日の水曜日、新宿区四谷の日本薬剤師連盟内の一室で、来る7月の第27回参議院議員通常選挙の拠点となる選挙事務所の開きの日を迎えました。東京四谷総鎮守 須賀神社のご神職さまから、修祓（しゅばつ）、献饌（けんせん）、祝詞奏上（のりとそうじょう）の神事を賜った後、本田あきこ中央後援会を代表して岩月会長が玉串を捧げ、ご来賓の藤井基之先生、松本純先生、とかしきなお

み先生にも玉串奉奠（たまぐしほうてん）を行っていただきました。当日はご支援いただいている支援団体の皆様にも大勢ご出席いただき、代表して保険薬局政治連盟の三木田慎也会長に玉串を捧げていただいたほか、製薬産業政治連盟の宮島俊彦幹事長、日本薬業政治連盟の鹿目広行会長からお言葉をいただきました。私自身は参議院本会議の日程と重なりましたので、書面によるメッセージをお届けしました。

いよいよ党本部も天王山と位置づけた決戦の時が間近に迫りました。8月以降の「オレンジ日記」も現職議員として引き続きお届けできるよう、しっかりと「思い」と「実績」を伝え、“やれることは全部やる”。そして“成果で応える夏”にしていきたいと思います。

【事務所開きの日のメッセージ全文】

本日の事務所開きの日にあたり、岩月進会長をはじめ中央後援会の皆様、ご参集いただきました皆様に深く御礼申し上げます。

総力を結集する拠点となる事務所開きの神事が行われる大切な日に私自身は参議院本会議に出席しており、神事に参列することができず申し訳ございません。

議席を守る二期目の選挙が如何に難しく大変であるかを強く感じる日々ですが、国民のいのちと暮らしを守るための医薬品・医療機器などを開発・生産し、確実な供給に尽力されている産業界の皆様と、専門性をもって国民一人ひとりに提供いただいている専門家の皆様の声と思いを、「組織候補の私が届けなければ誰が届けるんだ」という強い気持ちで挑み、乗り越えていく所存です。

本日の事務所開きを機に、更に身を引き締めてこの大切な場所から私たちの思いを発信し、多くの声と力が集まる拠点にしていきたいと思います。

皆様、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

参議院議員 本田あきこ



真夏の体調管理

本格的な夏の季節を迎えました、と言いたいところですが、今年は6月下旬頃から既に全国各地で真夏日や猛暑日を記録しています。夏休みシーズンならではの音楽イベントや旅行、花火大会・夏祭り、そして折り返し点を過ぎましたEXPO 2025などを十分楽しむには何よりも体調が大切です。以下ご参考の上、体調を崩すことなく、楽しい夏をお過ごしください。

1 熱中症対策

高温多湿なところで発汗による体温調節がうまくできなくなると、体内に熱がこもった状態になり、めまい、たちくらみ、生あくび、大量の発汗、筋肉痛、筋肉のこむら返りなどの症状が表れます。これらの症状が表れたと感じたときや、これらの症状が疑われる人を見かけたら、涼しい場所に移動して、冷たいものでからだを冷やすようにしてください。熱中症を予防するためには、暑さを避けて、こまめな水分補給を心掛けましょう。

2 夏バテ防止

はっきりとした学問的な定義はありませんが、夏に起こるからだの不調のことで、「だ

るい」、「食欲がない」といった状態を指すと思います。熱中症と同様、発汗による体温調節の不調のほか、屋内外の温度差にからだが付いていけない、睡眠不足、冷たいものの摂り過ぎ等による胃腸の疲れなどが原因と考えられますので、暑さ対策に加え、規則正しい生活や食事の工夫も大切です。夏に不足しがちな塩分やビタミン・ミネラルの補給に良いレシピなども参考にして、厳暑を乗り越えましょう。

3 こむら返り

睡眠時にふくらはぎがつって目が覚めた経験がある方はかなり居ると思います。原因は完全に解明されていませんが、筋肉の伸縮を司る脊髄反射の誤作動や、エアコンなどで足が冷えて血流が低下することが原因と考えられるほか、ミネラルバランスの乱れが関係しているとも言われています。特に筋肉の収縮に関与するカルシウムと神経の伝達に関与するカリウムの働きを調節しているマグネシウムが不足すると、筋肉の異常収縮（痙攣）が起こり易くなります。ミネラルバランスにも気をつけましょう。

熱中症予防のための情報・資料サイト

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/nettyuu/nettyuu_taisaku/

薬連だより

政幸だより

薬機法改正について

参議院議員・薬剤師
神谷 政幸



今国会に薬機法改正案が提出されます。今回の政幸だよりでは、国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化等の必要な措置についてご紹介します。

少子高齢化の進展に伴い医療需要が増大する中で、薬局・薬剤師の対人業務を充実させるとともに、医療安全の確保を前提に専門的知識を有する薬剤師等の人材の有効活用を図るため、以下の法改正が行われます。

遠隔管理下での販売については、委託元の薬剤師等による遠隔での管理の下、あらかじめ登録された薬剤師等が常駐しない店舗（登録受渡店舗）において医薬品を保管し、購入者へ受け渡すことが可能となり、医薬品の販売は委託元の薬局や店舗販売業者が行いますが、販売に関する責任は、原則として委託元の薬局や店舗販売業者が有することとなります。遠隔販売は医療安全の確保を前提に行われることから、施行後の安全確保については注視してまいります。

濫用のおそれのある医薬品については、販売時薬剤師等に、他の薬局等での購入の状況、氏名・年齢、多量購入の場合の購入理由等の必要な事項の確認や、情報提供等が義務付けられます。また、20歳未満の方への大容量製品又は複数個の販売を禁止し、20歳未満の方への小容量製品の販売、又は、20歳以上の方への大容量製品若しくは複数個の販売は、対面又はオンラインでの販売が義務付けられます。陳列については、顧客の手の届かない場所への陳列となりますが、販売又は情報提供を行う場所に継続的に専門家を配置し、購入する医薬品と購入者の状況を適切に確認できる体制の整備が行われる場合は、専門家が配置される場所から目の届く範囲（当該場所から7メートル以内）への陳列も可能となります。

薬機法改正の議論や今後の運用等については、しっかりと対応してまいります。引き続き、ご支援の程、よろしく願いいたします。

紅麹サプリメント問題のその後

令和7年3月25日の「消費者問題に関する特別委員会」において、紅麹関連製品問題のその後の対応について質問しました。昨年発生した紅麹関連製品問題は、令和6年11月30日付けの大阪市による疫学解析結果によると、2782例のうち死亡16人、後遺症90人等の報告がされるなど非常に痛ましい事件であり、いわゆる健康食品全般に対して国民に大きな不安を抱かせることとなりました。昨今、この問題に関する報道も少なくなっているこ

とから、その後の対応や情報提供の状況、今後実施されるGMP基準について消費者庁に対して質問しました。

消費者庁からは、令和6年5月31日に開催された関係閣僚会合により示された対応方針において、機能性表示を行うサプリメントについては、製造工程管理による製品の品質確保を徹底する観点から、GMPに基づく製造管理を食品表示基準における届出者の遵守事項とすることとされ、令和6年8月に食品表示

基準を改正するとともに製造管理の基準が制定され、さらに、菌を培養して作られた製品の製造、品質管理の強化措置として、サプリメントの製造、品質管理に係るガイドラインを改正し、微生物などを原材料とするサプリメントに係る上乘せの指針が新たに策定され、また、国民に対する情報提供については、Q&Aの作成や配布、啓発動画の作成など、情報の提供と理解増進に努めているとの回答を得ました。

過去に発生した製薬企業でのGMP違反事例では、その要因の一つに製造現場の風通しの

悪さがあったことも指摘されており、基準に基づく製造及び品質管理が行われていても、製造現場でおかしいと感じた時に、すぐに対応できる企業の体制は重要であり、査察においてはこの点についても、十分に配慮するよう要望しました。

紅麹関連製品問題の
国会質問のYouTube
動画はこちらです▶



医薬品提供体制の構築と後発医薬品調剤体制加算について

令和7年5月8日と13日の厚生労働委員会
で薬機法改正審議の質問に立ちました。今回は
医薬品提供体制の構築と後発医薬品調剤体制
加算についてお伝えします。

ある地域では無薬局地域にしないため、人口減少下でも赤字店舗を続けている事例を耳にします。在宅患者対応を含む医薬品提供体制の確保は喫緊の課題です。改正案には、薬局開設者の責務として関係行政機関との連携等が盛り込まれました。政府に対し、今後あらゆる地域での医薬品提供体制の構築や多職種連携推進に向けた取り組みを質しました。

厚労省からは、医療ニーズや医療提供体制は地域ごとに大きく状況が異なることから、医薬品提供体制についても、地域の実情に応じた体制を整備することが求められており、行政を含む関係機関や関係団体と連携し、実情に応じた対応を行うことが重要。これを踏まえ、薬局開設者は行政機関との連携の下で

医薬品等の安定的な供給を図ることを明記。厚労省では体制強化のため、地域薬剤師会において、薬局間連携推進等による夜間、休日対応、在宅対応等に係る医薬品提供体制の構築・強化を行うための事業を令和7年度予算事業として実施し、これらの取組を通じて、地域における薬局による医薬品提供体制の構築、強化を推進してまいりたいとの回答を得ました。

また後発医薬品調剤体制加算が果たしている役割について、厚労大臣の認識を質したところ、この加算は先発と後発の両方を取り扱うことに伴い発生する作業等について報酬上の評価を行うものであり、不安定な供給問題に対し複数の医薬品卸への問合せや、融通を依頼する等の業務が追加的に生じていることも承知しており、薬局の負担なども踏まえながら中医協において検討を進めてまいりたいとの回答を得ました。

●国会質問のYouTube動画はこちらです

2025.5.8 「厚生労働委員会」 後発医薬品調剤体制加算について



2025.5.13 「厚生労働委員会」
あらゆる地域での医薬品提供体制の構築に向けた取り組みについて▶



大臣に対し、4月の薬価改定で発生したカットオフ値の激減対応や、高額医薬品の不

動在庫・廃棄の問題についても検討を要望しました。

医療用麻薬の流通と指定濫用防止医薬品の見直しについて

第217回通常国会は6月22日に閉会しました。第27回参議院議員選挙が7月3日に公示され、いよいよ選挙戦がスタートいたしました。一致結束することが、わが国の安定と未来の創造につながると確信しています。皆様と意思を一つにしながらか、この原稿をしたためています。

令和7年5月13日の厚生労働委員会で薬機法改正審議の質問に立ちました。今回の改正には、一部麻薬卸売業者間の譲渡を可能とする内容が盛り込まれました。具体的には、麻薬の出荷停止又は制限等の事由が発生したことにより保健衛生上の危害の発生を防止するための措置を講ずることとした場合等に、麻薬卸売業者が隣接する都道府県の麻薬卸売業者等に対する麻薬譲渡が可能となります。

医療用麻薬は納品に時間がかかる場合があると聞いております。また薬局間譲渡には一定の制限もあり、手続等も煩雑という声も耳にします。隣県卸から薬局への納品や薬局間譲渡改善を要望する声や、卸の方からも過疎地域にある支店から県境を越えた都市部支店への譲渡を望む声をお聞きします。

今後の改善策の検討について、厚労省の見解を質したところ、平時における麻薬卸売業者の都道府県外への譲渡や麻薬小売業者間譲渡の改善など、麻薬の流通に係る更なる制度見直しや運用改善については、医療現場における実態や課題を把握しつつ、引き続き検討を進めてまいりたいとの回答を得ました。流通改善については、将来大きく前進できるよう前向きな検討を要望しました。

現在、指定濫用防止医薬品は6成分が指定されていますが、これ以外の成分を含む製品による濫用実態もあり、特にデキストロメトルファンについては看過できない状況です。対象の見直しについて厚労省の考えを質しました。

政府からは、現在、厚生労働科学研究において濫用実態等について調査を行っており、調査結果を踏まえ専門家の意見も聞きながら、追加の成分指定の要否について検討してまいりたいとの回答を得ました。

●国会質問のYouTube動画はこちらです

20250513 「厚生労働委員会」
医療用麻薬の流通に関連した課題への今後の対応について▶
<https://www.youtube.com/watch?v=dJi38zHM-n4>



20250513 「厚生労働委員会」
実態を踏まえた指定濫用防止医薬品の対象見直しについて▶
<https://www.youtube.com/watch?v=qAgoVt8LhXs>



災害対策

災害時における薬剤師の役割
その3 災害と向き合うきっかけ



早いもので、私の薬剤師人生も30年が経過し、いわゆる「アラ還」に突入した。ここ数年、私は県薬の災害対策委員会や自身の日常業務において、災害医療や災害薬事に向き合うこととなった。なぜ私が「災害医療・薬事」に向き合うようになったのか…。振り返ると、この間に4つの大きな転換点となる出来事を経験し、いろいろなキーワードを得たことが大きいと思う。そこで、この4つの転換点とキーワードを紹介するとともに、薬剤師が災害に対しどのように向き合えばいいのかというきっかけになれば幸いである。

【I】 阪神・淡路大震災と「危機管理」

ニュース映像等で目の当たりにした、まるで戦場のような大都市・神戸の姿。30年前、東京都職員1年生だった私は、建築物衛生を担当していた。もし東京で、同規模の大震災が起こったら、不特定多数の人が出入りする大規模なビルでは、損壊や火災等が起こった際に、想像もつかないほどの様々な被害が起こると予想された。応援に行った先輩方の話や、日常業務を通じて、「危機管理」に対する目を養い、自分たちがどう動くかを考えないといけないということを思い始めた。

【II】 地下鉄サリン事件と「備えよ常に」

阪神・淡路大震災の2ヶ月後に起こった「地下鉄サリン事件」。当時26歳だった私が、短期間で未曾有の「天災」と「人災」に直面するとは、全く想像できなかった。東京都の医療政策担当課職員が、救急標ぼう医療機関に対し、パム®注や硫酸アトロピン注射液の在庫を確保するように、血相を変えて連絡していた様子が今でも忘れられない。

「何が起こっても変じゃない そんな時代さ 覚悟はできてる。」当時大ヒットした「es(エス)」(Mr. children)の歌詞に触れ、災害に向き合うにあたっての基本中の基本である「備えよ常に」のマインドは、この時初めて直面したと思う。

【III】 三宅島噴火と「公衆衛生の保持」

平成12年の夏、三宅島で起こった大噴火。当時、東京都多摩地区のとある保健所に勤務していた私は、1週間ほど応援派遣された。その間、水道施設、旅館業施設、公衆浴場、避難所に対する衛生指導等に従事し、水道設備の管理、適切な換気方法、トイレの衛生、炊き出しに関する衛生指導等について説明していた。現在、災害時避難所等において、公衆衛生の面から、薬剤師はその力を遺憾なく発揮しているが、当時、自分が行っていたことが、「公衆衛生の保持」に繋がる役割を果たしていたというのは、とても嬉しいものである。

【IV】 東日本大震災と「安全・安心の砦づくり」

沖縄に戻って、10年が経過した平成23年3月11日に発災した「東日本大震災」。当時、被災地の応援に行きたい思いが叶わなかった中、自分の目に飛び込んできた、「那覇市保健所職員募集」の案内。平成25年の中核市移行時に、市の保健所をスタートする。準備期間を含め、立ち上げからその業務に関われる。那覇市民の「安全・安心の砦づくり」。「これだ!!」まさに私がやりたいことだった。そして、立ち上げを含め、保健所業務に携わってもうすぐ15年、奮闘の日々は続く。

「災害」と聞いて、「自分に何ができるか?」と悩み悩む方は多いだろう。だが、薬剤師最大の武器は、他の医療職種とは比べ物にならないほどの業務の幅広さである。薬剤師法第1条に通ずるこの最大の武器があれば、災害に関する様々な現場で、薬剤師はキラッと光る存在になることができる。大袈裟かもしれないが、ホントの話。災害現場、後方支援、いずれにおいてもそう。そのような気持ちを持って、災害と向き合うきっかけに触れることができれば幸いである。

(那覇市保健所 生活衛生課 仲地 剛)

転載記事

2025年6月23日月曜日

PHARMACY NEWSBREAK 2871号



薬学新設「財源確保・支援」国に要請へ

沖縄県、琉球大との協議取りまとめを公表

沖縄県は20日までに、県内国公立大への薬学部設置の課題や対応方策などを協議した県と琉球大(西原町)による検討連絡会の取りまとめを公表した。教員・学生定員の確保のほか、ランニングコスト面で国や県による財源確保・支援が必要だと明記。県によると、検討連絡会は昨年度で終了し、現在、関係省庁・機関などへの支援要請に向け調整を進めている。

県内の慢性的な薬剤師不足などの抜本的改善のため、県は2023年2月、県内初となる薬学部の28年度開学を目指す基本方針を示した。23年9月には設置を希望する県内国公立大を募集。応募はなかったが、琉球大から「薬学部設置の可能性を含め、その対応方策について県と緊密に連携しつつ協議を進めたい」との回答があり、24年5月、県と琉球大による検討連絡会を設置。県内国公立大への薬学部設置の課題や対応方策などについて協議してきた。

協議はこれまでに非公開で4回実施し、開催状況や今後の方向性などの取りまとめを25年3月、県ホームページ上に公表した。薬学部設置に向けては、▽教員や学生定員の確保▽イニシャルコストだけでなくランニングコスト面での国や県による財源確保・支援の一の必要性を訴えた。今後は関係省庁・機関などへ支援を要請するなど「県内公立大学や関係団体などの協力も得ながら、薬学部設置を含めた薬剤師の人材確保の課題解決に向けて取り組んでいく」とした。

●費用と収益試算も、支援なければ「設置難しい」

協議の参考とするため、県は、既存大学薬学部の収支実績などを参考に、一定の条件の下、県内に薬学部が設置された場合の費用と収益を試算した。県の「24年度県内国公立大学薬学部設置支援事業報告書」によると、試算の結果、公立大は薬学部開設後6年度目に初めて収益が費用を上回った。運営交付金収益が限定される国立大は、開設6年度目でも収益が費用を約4.6億円下回り赤字になることが見込まれた。

県保健医療介護部薬務生活衛生課は「あくまで一定の条件での試算」と前置きした上で「一定年数は赤字が続くことが見込まれ、国立でも公立でも、安定的な運営ができる財政的な支援がなければ薬学部の設置は難しいことが分かった」と説明。

今回の試算はランニングコストのみで、例えばここに建設費などが加わると、さらに結果は変わるという。

沖縄は文部科学省による薬学部新設規制の例外区域に当たる。基本方針で23年度を目指していた大学の選定はずれ込んでいるが、県薬務生活衛生課は、引き続き「開学を目指して進めていく」とした。県は今年度も薬学部設置支援事業を継続し、県外薬学部の経営状況などについて情報収集を重ねるほか、薬学部設置の必要性に関するシンポジウムも予定している。(吉田 早希)

[許諾番号20250626_01]

株式会社じほうが記事利用を許諾しています。

転載記事

琉球新報 令和7年7月2日(水)掲載

専門家講話 前濱 朋子氏



たばこの煙(主流煙)には約5300種の化学物質が含まれ、その中に約70種の発がん性物質が確認されている。たばこの煙は喫煙者が吸引する「主流煙」、喫煙者が吐き出す「呼出煙」、たばこの先から出る「副流煙」の3種類。非喫煙者が吸い込むのは呼出煙と副流煙で、主流煙より副流煙が多く有害物質を含有している。主流煙はフィルターを通るが、副流煙は直接吸うからだ。

たばこの煙に含まれるタールは発がん性物質の塊で、がんの原因。肺機能低下させる。ニコチンは血管を収縮させ、心拍数の増加や血圧上昇をもたらす。一酸化炭素は息切れ、運動能力の低下、動脈硬化の原因となる。これらの有害物質の含有量は副流煙が主流煙の3〜5倍も多い。

加熱式たばこの受動喫煙は紙巻きより低いときられているが、研究は限られている。日本禁煙学会の加熱式たばこの緊急警告によると、化学物質過敏症の患者には、のどの激しい痛みや呼吸困難が生じた事例が報告されている。蒸気なので煙は見

えにくい、実際は有害物質を発している。

喫煙が招く疾病はがん、心血管疾患、呼吸器疾患がある。がんは肺がんだけでなく、咽頭や消化器系、尿路系のがんも引き起こし、部位によっては、喫煙者は非喫煙者の5倍以上のリスクがあるという。心血管疾患の狭心症、心筋梗塞、脳卒中の発症リスクは、そばで副流煙を吸っている家族、友人でも高まる。

呼吸器疾患の慢性閉塞性肺疾患(COPD)の主な症状は、長く続くせ

2016年の厚労省検

討会の報告書によると、受動喫煙との関連が確実とされた疾患・病名は脳卒中、虚血性心疾患、肺がん、乳幼児突然死症候群、鼻への刺激感、ぜんそくの既往など。関連の可能性あり、とされたのは乳がん、低出生体重胎児、発育遅延など。たばこの煙は身近な人にも大きな影響を与えている。

事業所の禁煙サポート事業は薬局薬剤師が支援する。23年度から県薬剤師会と協会けんぽ沖縄支部、県保健医療福祉事業

人(卒煙者)もいる。

24年度は52社から165人が参加し71人が卒煙できた。卒煙率43%とかなりいい。事業に参加した薬剤師は次のことを意識して支援している。

「できたことを褒める。いきなり0本にせず少しずつ減らす。できたら褒めて次の目標を設定する。0本になった後に再喫煙しても、0本を何日続けられたのか、2回目はその日数を伸ばせるように、と励ましていく。禁煙希望者と薬局薬剤師で信頼関係が築けれ

受動喫煙も疾病リスク

きやたん、息切れ。風邪や年齢のためと思いきま、早めに受診してほしい。ほか、2型糖尿病や歯周病、骨粗しょう症など多くの健康問題のリスクを高めるといわれている。

団で取り組んでいる。薬剤師と面談後、4週目までニコチンパッチを無償提供、2週間ごとに薬局に来てもらい、電話フォローもしながら薬局薬剤師が8週間支援する。4週間で禁煙に成功する

ば成功に近づくと、県内には約550軒の保険薬局がある。かかりつけ薬局や近所の薬局の薬剤師に相談し、あなたとあなたの身近な人の健康のため、薬局薬剤師をサポートし禁煙に取り組んでほしい。

出席者

▽専門家講話

- ・前濱 朋子氏 沖縄県薬剤師会会長

▽事業報告

- ・玉城 雅人氏
協会けんぽ沖縄支部企画総務部アドバイザー

▽発言者

- ・城間 泰氏 琉信ハウジング社長
- ・屋宜 夏杏氏
那覇エアポートエンジニアリング
総務グループ主任

▽司会 与世田兼浩

琉球新報社統合広告事業局



クガニ（黄金）事業所として協会けんぽ沖縄支部から認定された59社のうち交付式に参加した18事業所の代表ら＝6月19日、那覇市泉崎の琉球新報ホール

第9回健康経営 シンポジウム

琉球新報社は6月19日、琉球新報ホールで「第9回健康経営シンポジウム」（協会けんぽ沖縄支部共催）を開催した。従業員の健康管理を経営的な視点から戦略的に推進する「健康経営」の普及を図るのが目的。経営者や総務・人事担当者ら約60人が聴講した。「健康経営の取り組みを本格化させるには」をテーマに2社が実践報告した。冒頭、同沖縄支部が推進するクガニ（黄金）事業所認定証交付式もあり、認定59事業所のうち、18事業所が参加した。

うちなー健康経営宣言クガニ（黄金）認定取得

会員の一般社団法人ぎのわん健康支援センターが認定されました。

おめでとうございます！

転載記事

会員の投稿が掲載されました

沖縄タイムス 令和7年6月26日（木）掲載

論壇

乱用防止教育再考の余地

6月26日は、国連薬物・犯罪事務所が定める「国際薬物乱用・不正取引防止デー」。日本でもこれに賛同して厚生労働省の主催で20日から7月19日までの1カ月間『ダメ。ゼッタイ。』普及運動を展開します。

今年のポスターには「気づいていますか？ あなたの大切な人の小さな変化」という標語で乱用防止を呼びかけています。しかしながら、そのポスターの下段には「薬物乱用はダメ。



糸嶺達

若者に広がる薬物

「ゼッタイ。」の文字が依然として掲載されています。この標語は、元々国連が提唱した「Yes To Life, No To Drugs（人生にイエスと言いつつ、薬物にはノーと言おう）」だったにもかかわらず、厚生労働省は前半をカットし、後半部分のみを抜き出してしまいました。

そのせいで、日本の薬物対策は「モノ」の管理・規制に特化し、人生をイエスと言えない、痛みや生きづらさを抱えて人生を肯定できない「人」の視点が抜けてしまったのです。2025年国際薬物乱用撲滅デーのスローガンは「連鎖を断ち切ろう すべての人に予防、治療、回復を」。このスローガンは、地域社会の支援、医療へのアクセス、そして薬物乱用と不正取引の防止に取り組む上での世界的な連携の必要性を強調しています。

筆者は違法薬物の合法化論者ではありませんが、大麻だけではなく、依存性や有害性がより強いドラッグ類に対しても厳罰と収監ではなく、教育と社会福祉こそが実践的な論点として妥当ではないかと考えています。薬物乱用は近年、アルコールやギャンブルとともに、依存症という病気だとの捉え方が進み、6月1日に施行された改正刑法では、刑務所において薬物依存症の克服に向けたリハビリや教育プログラムが導入され、再犯防止に向けた支援体制が整備されます。

（宜野湾市、薬剤師、62歳）

2025・6・26 沖縄タイムス

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

転載記事

会員の投稿が掲載されました

琉球新報 令和7年6月1日(日)掲載

琉球新報 2025年6月1日

「担任の先生がいない」。衝撃的なニュースとともに、全国で教員不足が大きな話題になったのは2021年ごろからである。しかし、教育以外の仕事に追われる教員の働き方改革についてはそれ以前から課題となっていた。

那覇市においても、2021年度の小中学校教職員のうち、精神疾患で休職した方が37人おり、教員の働き方改革やメンタルヘルス対策は喫緊の課題であった。



こうした状況を踏まえ、23年5月に私から市教育委員会に働きかけて、教育長と共同座長を務める「教員負担軽減タスクフォース」を立ち上げることとなった。タスクフォースでまず取り組

論壇

古謝 玄太

んだのは、現場の先生方へのアンケートの実施による課題の「見える化」である。「働き方改革」と一言でいっても、その対象は広範囲に及び、人によって負担だと感じていることは異なる。これをアンケートによって可視化し、優先順位をつけて取り組むこととした。

タスクフォースでこれらの課題に一つ一つ対応し、人員拡充、イベントの見直しなどに取り組んできたところである。併せて、春休み期間の延長や、国の事業を活用したメンタルヘルス対策なども実施してきた。こうした取り組みに対し、校長研修会のアンケートでは98%

教員働き方改革「那覇市モデル」

課題に対応し休職者減少

その結果、人員としては特別支援教育補助員や教員業務支援員の拡充、イベントでは夜間街頭指導や旗頭フェスタの負担軽減、そのほか保護者や地域からの依頼・相談対応、行政等からの調査依頼・作品募集などの改善がタスクフォースに上がってきた。

の方が負担軽減の効果があると回答しており、また、24年度は精神疾患による休職者は過去最大となった前年度から14人減の32人となった。本年度も新たに、学校問題解決支援員を教育委員会に配置し、保護者・地域等からの要求や苦情に対応する学校をサポート

トするほか、これまで学校によってバラバラであった保護者への連絡手段をデジタルツールに統一した。従来型の紙配布を原則廃止し、教員の負担を軽減するとともに、保護者にとっても手元のスマホで確認することができ、両者にとって利便性の高い連絡手段となると考えている。市長部局が主体的に関わるタスクフォースの仕組みによって、予算や人員などが柔軟かつスピーディーに対応できるようになった。まさに教員の働き方改革の「那覇市モデル」である。タスクフォース立ち上げ時にも申し上げたが、教員の働き方改革は子どもたちの成長、ひいては那覇市の未来につながる問題である。今後もしっかりと取り組んでまいりたい。

(那覇市副市長、41歳)

※発行元が記事の利用・編集を許諾しています。

日薬通達

日薬総発第2号
令和7年4月24日

都道府県薬剤師会担当役員 殿

日本薬剤師会
副会長 渡邊 大記

日本薬剤師会雑誌の完全電子化に向けた対応
紙冊子の郵送希望の受付開始日について

平素より本会会務に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、令和7年2月27日付・日発第304号にてご案内いたしました通り、「日本薬剤師会雑誌」の完全電子化に向け、この4月より本誌のデジタルコンテンツを配信する「日薬雑誌アプリ」の運用を開始いたしました。本会ホームページ（会員向けページ）でこれまで閲覧が可能でありました「日薬雑誌電子書籍」も継続しており、誌面の印刷も可能になりました。

また、紙の冊子については、本年10月号より会員全員の皆さまへの郵送を原則終了し、令和8年3月号の発送をもって完全に終了すること、10月号より翌年3月号まで紙の冊子の郵送を希望する会員からのお申し込みを、7月頃より受け付ける準備を進めていることを併せてお知らせしておりました。

この度、予定を1か月早め、当該お申し込みを6月2日（月）より本会ホームページ（会員向けページ）にて受け付ける準備が整いましたのでお知らせいたします。

会務ご多用の折恐れ入りますが、貴会会員への周知につきましてご高配のほどよろしくお願いいたします。

記

【完全電子化に向けたスケジュール】

令和7年							令和8年						
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～	
「日薬雑誌アプリ」運用開始													
全会員への紙冊子郵送 令和7年9月号まで							原則終了						
			紙冊子郵送の希望受付 令和7年6月2日～令和8年1月まで										
							希望者への紙冊子郵送 令和8年3月号まで						完全終了

【本会ホームページ・申込フォーム掲載場所】

会員向けページ「会員のみなさまへ」へのログインが必要です。



会員向けページ

【10月号以降、各号の申込締切】

お申し込みのタイミングに該当する号から、令和8年3月号までお届けします。

お申し込みは1回のみ、毎号お申し込みいただく必要はございません。

号	申込締切
令和7年10月号	令和7年8月25日
令和7年11月号	令和7年9月25日
令和7年12月号	令和7年10月25日
令和8年1月号	令和7年11月25日
令和8年2月号	令和7年12月25日
令和8年3月号	令和8年1月25日

以上

お知らせ

日本薬剤師会総務部広報課

「日薬雑誌アプリ」の運用開始について

平素より本会の事業へのご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

会員の皆さまにおかれては、「日本薬剤師会雑誌」をご購読いただき、誠にありがとうございます。

おかげさまで、本誌は、昭和24年より発刊を続け、多くの皆さまにご活用いただきながら、現在まで成長してまいりました。そのような中、近年のデジタル社会の進展に鑑み、令和7年4月より、本誌のデジタルコンテンツを配信する「日薬雑誌アプリ」（以下、アプリ）の運用を開始することにいたしました。スマートフォンなどの端末を利用して、手元で手軽に最新号から多くのバックナンバーまでいつでも閲覧ができ、必要な記事を検索することなどが可能になります。本アプリの運用には「Poste（ポステ）」を利用いたします。アプリのインストール方法や具体的な仕様は48～49頁「ご利用ガイド」をご確認ください。

なお、本会ホームページ（会員向けページ）でこれまで閲覧が可能でありました「日薬雑誌電子書籍」も継続いたします。

「日薬雑誌アプリ」ご活用のメリット

- ・日薬雑誌の掲載のお知らせ：「プッシュ通知」で最新号の掲載通知の受信が可能です。
- ・閲覧までのタイムラグ解消：日薬雑誌の発刊後、すぐにお手元のスマートフォンやタブレットなどからご覧いただけます。
- ・検索機能の充実：必要な情報を簡単に、スムーズにお探しいただけます。
- ・保管場所の節約：冊子の保管スペースが不要となり、より便利に管理いただけます。
- ・環境への配慮：紙資源を削減し、地球に優しい取り組みとして、SDGsにも貢献します。

また、昨今の物価高騰や人件費・郵送費の上昇などの影響により、紙の冊子の発行にかかる費用が大幅に増加する状況となっております。

つきましては、本年4月のアプリ稼働後の予定として、9月号まで紙の冊子も発行し、翌10月号より、会員全員の皆さまへの紙の冊子の郵送を原則として終了させていただくこととなりました。10月号以降も紙の冊子を希望される方については、令和7年7月頃より申込みを受け付ける準備を進めておりますが、紙の冊子の郵送は令和8年3月号の発送をもって完全に終了とさせていただきます。受付方法等、詳細は追ってご案内いたします。

【今後の予定】

令和7年												令和8年					
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月～					
「日薬雑誌アプリ」運用開始												→					
全会員への紙冊子郵送 令和7年9月号まで						→						原則終了					
			←									紙冊子郵送の希望受付 令和7年7月～令和8年1月まで					
												→				希望者への紙冊子郵送 令和8年3月号まで	
																完全終了	

今後もさらに、より有用かつ最新の情報をお届けできるよう誌面の充実に努めてまいりますので、この度のアプリの導入、紙の冊子の廃止に向けた対応について何卒ご理解をいただき、4月以降、アプリのインストール、ご活用をお願いいたします。

お知らせ

日薬雑誌アプリのご案内

iPhone ▶



Android ▶



令和7年4月より、日本薬剤師会雑誌のデジタルコンテンツを配信する「[日薬雑誌アプリ](#)」(以下、[アプリ](#))の運用を開始しました。スマートフォンなどの端末を利用して、手元で手軽に最新号から多くのバックナンバーまでいつでも閲覧ができ、必要な記事を検索することなどが可能になります。

「日薬雑誌アプリ」 ご活用のメリット

日薬雑誌の掲載のお知らせ



「プッシュ通知」で最新号の掲載通知の受信が可能です。

閲覧までのタイムラグ解消



日薬雑誌の発刊後、すぐにお手元のスマートフォンやタブレットなどからご覧いただけます。

検索機能の充実



必要な情報を簡単に、スムーズにお探しいただけます。

保管場所の節約



冊子の保管スペースが不要となり、より便利に管理いただけます。

環境への配慮



紙資源を削減し、地球に優しい取り組みとして、SDGsにも貢献します。

日本薬剤師会総務部広報課

日薬雑誌アプリ ご利用ガイド

これまで日薬雑誌は日薬ホームページ（会員向けページ）からパソコンでの閲覧が可能でしたが、アプリでの閲覧も可能となりました。アプリはタブレット、スマートフォンでご利用可能です。閲覧には、必ず個人のID/パスワードの認証が必要になります。



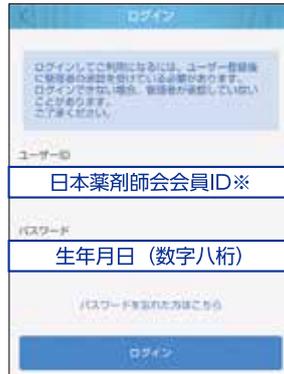
Poste

1 アプリ起動後、QRコードを読み取る

アプリからウェブサイトへアクセスし、ページを表示します。



2 ID/PASSでログイン



※数字7ケタ＋アルファベット2文字
（日本薬剤師会より送付された会員証に記されています）

3 表紙をクリックし、書籍を開く

4 「Posteで開く」をクリック

画面を上スクロールすると「Posteで開く」（緑色）が表示されます。表示まで少し時間差がでることもあります。
※iPadのブラウザ設定は、PC設定ではなくスマホ版の設定にしてください。



アプリの説明

- Ⓐ 「日薬雑誌電子書籍」のタブ（Ⓑ）で閲覧した際に、「本棚」に自動的にダウンロードされます。
- Ⓑ 「日薬雑誌電子書籍」（パソコンと同様の内容）が表示されます。
- Ⓒ 最新号が掲載されるとプッシュ通知を受け取ることができます。
- Ⓓ 今年度以外の書籍はもっと見るを押すと年度ごとに分類されています（2019年より）。
- Ⓔ アプリメイン画面に戻ります。
- Ⓕ 目次：目次から飛ぶことができます。 検索：検索ができます。 ペン：マーカを引いたりできます。 付箋：付箋を貼ることができます。 ペン・付箋は記録されます

注) アカウント情報の変更画面に行くことはできませんが、絶対に編集しないでください（赤枠）。

4月

- 3木○令和7年度第1回医療保険委員会 県薬研修室
- 4金○沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課新任課長来訪 県薬会長室 前濱会長、阿部専務理事、大城事務局長
- 6日○オンライン診療に伴う緊急避妊薬の調剤に関する研修会 県薬研修室・Web 村田理事、長嶺主任
- 7月○令和7年度第1回業務執行理事会 県薬会議室 大城事務局長
- 8火○薬局等の管理者兼務許可に関する審査基準の改正（案）説明のための薬務生活衛生課の来訪 県薬会長室 阿部専務理事、大城事務局長
- 8火○令和7年度第1回災害対策委員会 県薬研修室・Web 長嶺主任
- 9水○令和7年度第1回県民健康フェア実行委員会 沖縄県医師会 保健・福祉委員会：松本委員、長嶺主任
- 10木○薬学生実務実習「学校薬剤師って何?!」 県薬研修室・Web 講師：知名常務理事金城
- 11金○令和7年九州厚生局沖縄事務所・沖縄県との連絡会議 県薬研修室 阿部専務理事、医療保険委員会：宮城常務理事、照屋林一郎、喜屋武芳美、長嶺主任
- 11金○令和7年度第1回学術研修委員会 県薬会議室
- 11金○薬学生実務実習「夜間救急医療について」 会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 12土○ニューレジリエンスフォーラム 沖縄県「呼びかけ人会」 沖縄県立博物館美術館 講師：阿部専務理事
- 12土○令和7年度第1回理事会 県薬研修室
- 14月○薬学部設置に係る琉球大学新担当者訪問 琉球大学 沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課：中村薬務専門監、泉水主幹、阿部専務理事、大城事務局長
- 14月○薬学生実務実習「夜間救急医療について」 会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 15火○介護付有料老人ホームとよさき訪問 介護付有料老人ホームとよさき 喜友名常務理事、会営薬局とよみ：宮里・平良・當山
- 16水○令和7年度第1回沖縄県薬剤師会スポーツファーマシスト担当者連絡会議 県薬研修室 沖縄県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会 スポーツファーマシスト部会：吉田理事、笠原大吾、西平克子、小島進、喜久川有子、南雲翔太、黒島新、白坂亮
- 18金○2025年度病院・薬局実務実習九州・山口地区調整機構総会 オリエンタルホテル福岡 佐藤常任理事
- 18金○令和7年度日本薬剤師会薬局実務実習担当者全国会議 Web 佐藤常任理事、事務局：金城
- 20日○令和7年度第1回学校薬剤師部会役員会 県薬研修室
- 20日○令和7年度学校薬剤師部会新人研修会 県薬ホール
- 21月○自衛隊那覇病院見学 自衛隊那覇基地 前濱会長、中村副会長、古謝副会長、阿部専務理事、喜友名常務理事、名嘉理事、金子智之歯科医師会理事、沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課中村章弘薬務専門監、池間記世、西坂順、事務局：大城事務局長、平安山
- 21月○薬学生実務実習「夜間救急医療について」 会営薬局医療センター前 講師：阿部専務理事
- 22火○薬学生実務実習「災害医療と薬剤師」 県薬研修室・Web 講師：佐久川卓氏
- 22火○公立沖縄北部医療センターの門前薬局について（要請） 沖縄県庁 阿部専務理事
- 23水○令和6年度訪問薬剤管理指導推進事業振り返り会議 県薬研修室・Web
- 24木○令和7年度第1回九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関運営委員会 Web 佐

藤常任理事

26土 ○ 令和7年度青年薬剤師部会総会 県薬研修室

5月

7水 ○ 令和7年度第2回業務執行理事会 県薬会議室

8木 ○ 令和6年度監事監査 県薬研修室

8木 ○ 沖縄県医療事故調査等支援団体連絡協議会・沖縄県医師会医療事故調査支援委員会合同会議 沖縄県医師会館 前濱会長、吉田理事、中尾薬事情報委員会委員長

9金 ○ 令和7年度第1回沖縄県がん診療連携協議会 琉球大学西普天間キャンパス 前濱会長

10土 ○ 令和7年度第2回理事会 県薬研修室

12月 ○ 令和7年度沖縄県「ダメ。ゼッタイ。」普及運動実行委員会 県庁 前濱会長

12月 ○ 令和7年度沖縄県薬物乱用防止協会役員会 県庁 前濱会長

12月 ○ 日本薬剤師会令和7年度地域医薬品提供体制強化に向けた全国説明会 県薬会議室・Web 阿部専務理事、事務局：大城事務局長・比嘉

12月 ○ 令和7年度第1回沖縄県循環器病対策推進協議会 沖縄県医師会館 阿部専務理事

12月 ○ 自衛隊那覇病院等見学の参加者間交流会 居酒屋んかっか（唵呵呵） 前濱会長、中村副会長、古謝副会長、阿部専務理事、喜友名常務理事、名嘉理事、金子智之歯科医師会理事、中村章弘沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課薬務専門監、池間記世広報委員、西坂順、事務局：大城事務局長・平安山

15木 ○ 令和7年度実務実習受入薬局指導薬剤師事前説明会 江川孝氏、薬学生実務実習受入委員会：佐藤常務理事、兼城副委員長、事務局：金城

20火 ○ 令和7年度第Ⅱ期薬学生実務実習オリエンテーション 県薬ホール 佐藤常務理事、宮城常務理事

21水 ○ 令和7年度第1回くすりと健康フェア打ち合わせ 県薬会議室 阿部専務理事、沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課：泉水主幹、米村氏、浦添市：崎原健康対策係長、大城事務局長、長嶺主任

22木 ○ 沖縄県薬業連合会 第70回 理事会・総会及び懇親会 ダブルツリーbyヒルトン那覇首里城 前濱会長、阿部専務理事、中村副会長、川満副会長、大城事務局長、玉寄課長

23金 ○ 令和7年度第1回沖縄県国保ヘルスアップ支援事業運営会議 県薬研修室 阿部専務理事、地域医療提供対策委員会：喜友名常務理事、薬事情報委員会：吉田理事、中尾委員長、白坂亮、沖縄県保健医療介護部国民健康保険課：花岡班長、川上伸一、事務局：長嶺主任・松堂

28水 ○ 日本薬剤師会第1回都道府県会長協議会 日薬 前濱会長

29木 ○ 九州山口地区薬剤師会薬局実務実習受入調整機関評議員会 福岡県薬剤師会館 前濱会長

29木 ○ 2025年度第1回九州山口各県薬代表者会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長、川満副会長

29木 ○ 九州ブロック日薬代議員予備会議 福岡県薬剤師会館 前濱会長、川満副会長

6月

1日 ○ 令和7年度女性薬剤師部会総会・研修会 県薬研修室

2月 ○ 令和7年度第1回沖縄県地域リハビリテーション推進協議会 沖縄県医師会館第4会議室 阿部専務理事

会 務 報 告

- 5木○厚生労働省医薬局総務課との電子処方箋に係る打ち合わせ 県薬会議室・Web 医療保険委員会：川満副会長、宮城常務理事、喜屋武委員、長嶺主任
- 5木○令和7年度第1回会営薬局委員会 県薬会議室
- 6金○琉球大学病院訪問（FAXコーナー設置場所変更の件） 琉球大学病院 前濱会長、阿部専務理事、佐藤常務理事、石川理事、事務局：大城事務局長・玉寄課長・荒殿
- 6金○ドラッグイレブン琉大病院店訪問 ドラッグイレブン琉大病院店 前濱会長、阿部専務理事、佐藤常務理事、石川理事、事務局：大城事務局長・玉寄課長・荒殿
- 7土○令和7年度第1回沖縄県認知症疾患医療連携協議会 P's SQUARE 中尾滋久
- 8日○**令和7年度青年薬剤師部会主催入会促進バーベキュー** うみそら公園（那覇市） 岩月日本薬剤師連盟会長、前濱会長、青年薬剤師部会：喜友名部会長、石井副部会長、事務局：平安山
- 9月○令和7年度第3回業務執行理事会 県薬会議室
- 10火○沖縄県薬物乱用防止協会令和6年度会計監査 沖縄県保健医療介護部薬務生活衛生課 阿部専務理事
- 14土○令和7年度第3回理事会 県薬研修室
- 16月○沖縄県老人クラブ連合会：令和7年度「健康づくり支援事業」第1回推進委員会 沖縄県総合福祉センター 村田理事
- 16月○沖縄県薬物乱用防止協会第1回理事総会 沖縄県市町村自治会館 阿部専務理事
- 16月○令和7年度第2回地域医療提供体制対策委員会小委員会
- 19木○第200回健康とおくすり相談会 琉球新報社
- 19木○うちなー健康経営宣言サポート事業第9回健康経営シンポジウム 琉球新報社 シンポジスト：前濱会長
- 22日○**沖縄県薬剤師会第92回定時総会**
- 24火○令和7年度第1回薬学生実務実習受入委員会
- 25水○令和7年度事業所で取り組む禁煙サポート事業説明会 県薬研修室・Web 長嶺主任
- 27金○令和7年度国民スポーツ大会第45回九州ブロック大会前期競技監督会議 沖縄県体協スポーツ会館 沖縄県スポーツ協会スポーツ医・科学委員会 スポーツファーマシスト部会：吉田理事、笠原大吾、白坂亮
- 28土○日本薬剤師会第106回定時総会（29日まで） ホテルイースト21東京 前濱会長、川満副会長
- 29日○**令和7年度学校薬剤師部会総会・研修会** 県薬研修室

沖縄県薬剤師連盟

4月

- 3木○本田あきこ支援者名簿収集依頼に係る医薬品卸会社訪問 株式会社アトル沖縄営業所、沖縄東邦株式会社、株式会社スズケン沖縄薬品、株式会社琉薬、株式会社ダイコー沖縄 前濱会長、石川幹事長、大城事務局長
- 3木○うるま市長選挙候補者へ推薦状交付 中村まさと後援会事務所 前濱会長、石川幹事長、大城事務局長
- 3木○奥間亮参議院議員選挙予定候補への推薦状と政策協定書の交付 自民党沖縄県連 前濱会長、石川幹事長、大城事務局長

- 10木○令和7年度第1回九州JPLブロック会議 県薬研修室・Web 与儀和子総務、事務局：金城
 12土○第54回自由民主党沖縄県支部連合会大会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長、亀谷相談
 役、中村副会長、川満副会長、石川幹事長
 12土○岡田直樹自民党参議院幹事長代行との意見交換会 パシフィックホテル沖縄 前濱会長
 17木○日本薬剤師連盟令和7年度選挙活動マニュアル説明会 Web 前濱会長、知名組織強化担
 当、事務局：大城事務局長・玉寄課長・長嶺主任・平安山・比嘉
 19土○宮崎政久西海クラブ4月定例会 ラグナガーデンホテル 前濱会長
 23水○日本薬剤師連盟令和7年度第1回全国会長・幹事長拡大会議 AP日本橋 前濱会長、石川
 幹事長
 23水○本田あきこ中央後援会総会 AP日本橋 前濱会長、石川幹事長
 24木○浦添市長松本哲治四期目就任激励会 マリエールオークパイン那覇 前濱会長
 30水○自由民主党沖縄県支部連合会選挙対策委員会職域支部・経済団体合同選挙対策会議 パシ
 フィックホテル沖縄 前濱会長
 30水○おくま亮出馬会見 パシフィックホテル沖縄 前濱会長

5月

- 12月○自由民主党沖縄県支部連合会 令和7年度一日政調会 那覇商工会議所 前濱会長、阿部
 専務理事、大城事務局長
 13火○知念さとる那覇市長「市民と未来を語る会」 パシフィックホテル沖縄 前濱会長、姫野
 副幹事長、阿部常任総務、姫野さやか氏、大城事務局長、玉寄課長
 14水○日本薬剤師連盟令和7年度薬剤師首長・地方議員意見交換会 AP日本橋 前濱会長、黒島
 新糸満市議会議員
 17土○宮崎政久 西海クラブ5月定例会 ラグナガーデンホテル 前濱会長
 18日○本田あきこ総決起集会 熊本市民会館シアーズホーム 前濱会長、石川幹事長、知名組織
 強化担当、新垣副幹事長、阿部常任総務、佐藤常任総務、与儀総務、石井総務、大城事
 務局長
 20火○沖縄県薬剤師連盟令和7年度第1回総務会 県薬ホール
 28水○本田あきこ支援者名簿収集依頼に係る薬局訪問 南部地区内薬局 石川幹事長、名嘉副幹
 事長、事務局：大城事務局長・比嘉
 29木○古謝玄太第10回元気会 ロワジールホテル那覇 阿部常任総務
 30金○本田あきこ支援者名簿収集依頼に係る薬局訪問 那覇地区内薬局 知名組織強化担当、事
 務局：大城事務局長・平安山
 31土○沖縄県本田あきこ後援会「本田あきこ参議院議員との意見交換会」 県薬研修室 本田顕
 子参議院議員、前濱会長、石川幹事長、新垣副幹事長、知名組織強化担当、阿部常任総
 務、喜友名常任総務、村田理事、草壁総務、与儀総務、鈴鹿総務、神村顧問、城間相談役、
 事務局：大城事務局長・金城・川平
 31土○自民党沖縄県連女性局「いどぼたキャラバン」（車座女性対話集会） MEGAドン・キホーテ
 豊見城店5FレンタルスペースTABETECO 前濱会長、新垣副幹事長、与儀総務、鈴鹿総務

6月

- 2月○本田あきこ支援者名簿収集依頼に係る薬局訪問 那覇地区内薬局 渡嘉敷奈緒美元衆議

会 務 報 告

- 院議員、知名組織強化担当、事務局：大城事務局長・平安山
- 3火○本田あきこ支援者名簿収集依頼に係る薬局訪問 那覇地区内薬局 知名組織強化担当、事務局：大城事務局長・平安山
- 7土○令和7年度沖縄県若手指導者育成フォーラム 県薬ホール 岩月日本薬剤師連盟会長、前濱会長、青年薬剤師部会：喜友名部会長、石井副部会長、事務局：平安山
- 14土○コクバ幸之助を励ます会 ザ・ナハテラス 神村相談役
- 19木○チームチャレンジ沖縄設立総会 ホークシティ那覇ビル 前濱会長
- 19木○沖縄県本田あきこ後援会「本田あきこ決起集会」 県薬ホール
- 20金○第27回参議院選挙推薦団体参院対策会議第1回会議 おくま亮後援会事務所 大城事務局長
- 22日○沖縄県薬剤師連盟定時評議員会
- 28土○はなしろ典史活動報告並びに激励会 JA小禄支店 神村相談役、大城事務局長

会 報 原 稿 募 集 の ご 案 内

広 報 委 員 会



おきなわ薬剤師会報は皆様の会報です。広報委員会では、会員の皆様からの原稿や作品を多方面にわたり募集致します。活発な御投稿をお待ち致しておりますので、是非、御協力下さいませようお願い致します。

【会報表紙及びカット写真】

写真にタイトルを付けて奮ってご応募願います。写真の採否、掲載月については広報委員会に一任頂きますのでご了承下さい。表紙写真はカラー、カットについては白黒印刷となります。

【会員からの意見箱】

皆様の質問、意見、主張を掲載します（薬剤師会活動や社会に対する本音など何でも結構です）。日常業務の中での疑問、薬剤師会活動、賠償責任保険、医薬分業、一般薬販売等について質問を受け付けます。

- ・誌上匿名は可能です。
- ・回答者を指名されても結構です。

【寄稿コーナー】

勤務薬剤師としての立場から見られた日常業務、過去、現在の職場に対する長短所・要望等。若い先生方からの御意見、御投稿をお待ちしております。

同時にベテランの先生方からの店舗経営に関する事、開業顛末記等、今後の進路を決める若い先生方へのアドバイス等についても募集します。

【会員作品・趣味のコーナー】

会員からの作品・趣味等を随時募集しております（手記、随筆、紀行文、詩、短歌、俳句、川柳、写真、絵画、毛筆等の作品、スポーツ同好会や趣味の集い等の紹介や活動状況報告など何でも歓迎します）。

☆原稿送付先（会報に関する問い合わせ）

沖縄県薬剤師会事務局 大城まで 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川 218-10
TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 e-mail: kouhou@okiyaku.or.jp



誌上ギャラリー（裏表紙）について

上：「沖縄県久高島ロマンスロード」 photo by 飯塚 雄矢（会営薬局とよみ）

左下：撮影地：高千穂峡（2024年6月） photo by 入月 健（中部協同病院）

右中：「フヨウカタバミ」 photo by 伊集 智英（くはら薬局）

右下：撮影地：カーミージー海浜公園（浦添市港川） photo by 宮本 直樹（ゆんたく薬局 おもろまち店）

編 集 後 記

ついに！大阪関西万博に行ってきました。

お目当ては大阪ヘルスケアパビリオン。未来の（25年後）の自分の姿を体験できるAI技術がすごい。私の面影がある（笑）元気なお婆ちゃん姿をモチベーションに健康的な生活を心がけようと思います。未来の姿はしっかりスマホに保存しています。実は大学時代の友人とプチ同期会という名目で大阪万博に乗り込んだのでした。気持ちは女子大生ですよ、うふっ。（怖いですね～年を忘れるって・・・） 妙齢の我々女子大生（5人）は現実から時空を超えること12時間余り。ここ、夢洲（ゆめしま）で夢現（ゆめうつ）を体現した貴重な1日でした。（クララ）

私ごとですが6月に入籍しました！ちょっと前まで1人が大好きで結婚するとは思っていませんでしたが、人生って何かあるかわからないものですね。友人の紹介で意気投合した彼とはいわゆるスピード婚でゴールイン。そして、年齢もあって不妊治療をすぐにスタートさせました。月経周期に合わせて毎週のように通院し、わからないことだらけで不安な毎日ですが、保険適応であることに感謝。通院している院内薬局では以前職場が一緒だった先輩がおり、婦人科領域のお薬の知識が不十分な私ですが、先輩が丁寧に説明してくださり、とても安心しました。薬剤師が与える安心感も、医療における大切な役割の一つだと改めて感じました。私もそんな薬剤師になるぞ。

最後に、通院のために薬局のお休みを快諾してくださるボス、ありがとうございます！

（アリゴリ）

今年は統計史上最も早い梅雨明けとなり、沖縄には早くも本格的な夏の暑さが訪れました。照りつける日差しに夏の厳しさを感じる毎日ですが、会員の皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

私事で大変恐縮ですが、実は来月、我が家に第一子が誕生する予定です。初めての経験ということもあり、ベビー用品の準備に奔走しているのですが、その種類の多さに圧倒される毎日です。哺乳瓶ひとつとっても素材や乳首の形状が様々で、チャイルドシートの安全基準に至っては、添付文書を読み解くよりも難解に感じてしまうほどです。

正直に白状しますと、膨大な情報の比較検討や購入の最終判断は、いつの間にか妻の役割に…。その的確な判断力と行動力には頭が上がりず、私はただただ感心するばかりです。せめてもの償いと、父親としての役割を果たすべく、現在は「家の中の環境整備担当」として、赤ちゃんが安心して過ごせる空間づくりに励んでおります。普段は見て見ぬふりをしていた換気扇の油污れや、水回りの汚れと格闘する日々です。

まもなく父親になるという実感は、まだフワフワとしていますが、期待と不安が入り混じった不思議な気持ちでその日を待っています。これからは仕事と家庭の両立という新たなテーマに向き合い、気持ちを新たに邁進していく所存です。

まだまだ未熟な父親一年生ですので、会員の諸先輩方には、温かく見守っていただけますと幸いです。（ちゃげ）

初めて施設訪問記の執筆を担当させていただいた。これまで訪問記を書いてきた前任者は皆優秀な方々なので私で大丈夫だろうかと思いましたが、「何でも挑戦!!」の気持ちで引き受けた。

沖縄を「平和な島」にしたいと願う県民の一人として「駐留米軍」や「自衛隊」に対して、いろいろな思いがあるが、しかし今回取材に当たって、先入観を持たずに白紙の状態取材しようと決めた。お会いした自衛官は皆さん礼儀正しく親切であった。そしてお堅い印象とは異なってユーモアもあり取材中笑いが絶えなかった。朝9:30～16:10まで、長い取材時間ではあったが、各部署の皆さんが懇切丁寧に説明して下さるので、あっという間に時間が過ぎたような気がした。このような機会がなければ一生自衛隊基地に入る事などなかったと思うので、良い経験をさせていただいたと感謝しています。

最後に一言。薬剤師免許を持ちながら、薬剤師にはならなかった航空自衛隊のパイロット氏のことがなぜか記憶に残っている。(ピアナ)

訃報

生前のご功績を偲び、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



- 田場 節子 先生 (享年73歳) 令和7年4月25日ご逝去
- 神山 康喜 先生 (享年83歳) 令和7年7月3日ご逝去
- 嘉陽 孝雄 先生 (享年71歳) 令和7年7月9日ご逝去
- 新城 光枝 先生 (享年81歳) 令和7年7月26日ご逝去

会員にかかる弔事に関する薬剤師会への連絡について

会員及び一親等の親族のご不幸は、沖縄県薬剤師会へ御一報下さい。
(香典・生花等の手配があります)

※各地区、各支部及び、友人、知人の方、御一報よろしく申し上げます。

【連絡先】 沖縄県薬剤師会事務局 (上原・大城) : 098-963-8930

沖縄県薬剤師会

〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町字新川218-10 <http://www.okiyaku.or.jp> e-mail: kawahira@okiyaku.or.jp
 ■事務局 TEL 098-963-8930 FAX 098-963-8932 ■薬事情報センター TEL 098-963-8931 FAX 098-963-8937
 ■会営薬局医療センター前 TEL 098-963-8940 FAX 098-963-8946 ■試験検査センター TEL 098-963-8934 FAX 098-963-8932
 ■会営薬局とよみ 〒901-0244 沖縄県豊見城市字宜保271-1 TEL 098-856-4160 FAX 098-856-6026

おきなわ薬剤師会報 第328号 令和7年7月29日発行

◇次号は、令和7年10月中旬頃発行予定です。

発行人：沖縄県薬剤師会 会長 前濱朋子
 編集：広報委員会 委員長／宮城敦子 委員／池間記世・運天芳生・宮本直樹・古謝有沙
 久米島通信員／山城晶 宮古地区通信員／前里由紀子
 八重山地区通信員／波多江直也 事務局／大城喜仁・川平真央 印刷：株式会社 東洋企画印刷



誌上ギャラリー
(会員作品)

お気軽にご投稿下さい。

